EPSON

マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-7350/7250/5350

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

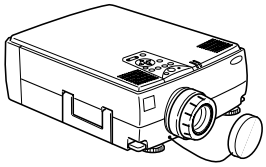
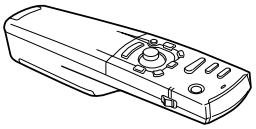
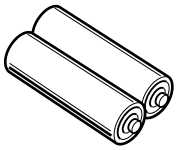
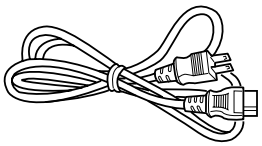
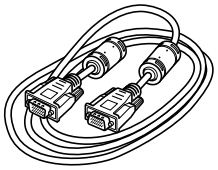
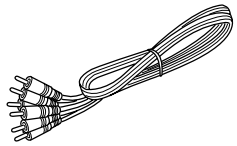
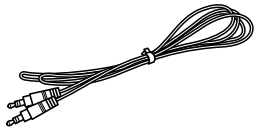
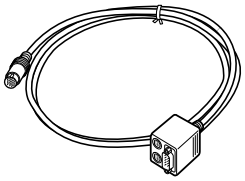
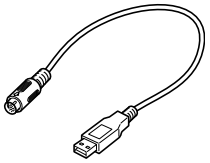
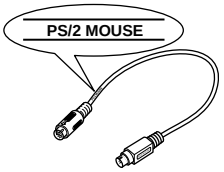
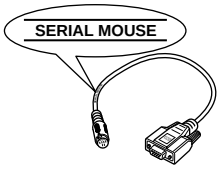
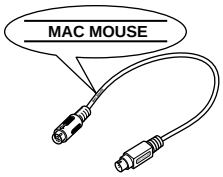
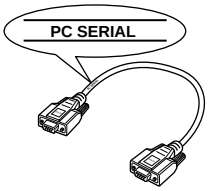
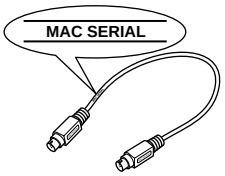
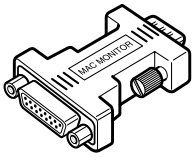
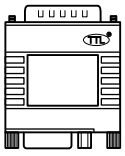
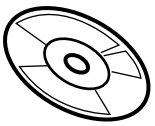
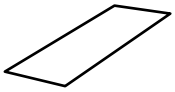
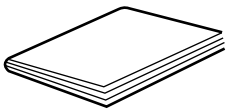
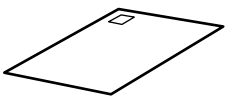
保証書別添

お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

同梱品の確認

プロジェクターと付属品を箱から取り出し、次のものが同梱されていることを確認してください。万一、不足しているものがあった場合、お手数ですがお買い上げの販売店または「エプソンサービスセンター」までご連絡ください。

<table>
<tr>
<td colspan="2">・プロジェクター本体
・ひも付きレンズカバー
  </td>
<td>・リモコン
  </td>
<td>・リモコン用乾電池
（単3形アルカリマンガン乾電池LR6）
  </td>
</tr>
<tr>
<td>・電源ケーブル
  </td>
<td>・コンピュータケーブル
  </td>
<td>・A/V ケーブル
赤 / 白 / 黄色
  </td>
<td>・オーディオケーブル
  </td>
</tr>
<tr>
<td>・メインケーブル
  </td>
<td>・USB マウスケーブル
  </td>
<td>・PS/2 マウスケーブル
 
</td>
<td>・シリアルマウスケーブル
 
</td>
</tr>
<tr>
<td>・MAC マウスケーブル
 
</td>
<td>・PC シリアルケーブル
 
</td>
<td>・MAC シリアルケーブル
 
</td>
<td>・MAC モニタアダプタ
 
</td>
</tr>
<tr>
<td>・MAC デスクトップアダプタ
  </td>
<td>・Projector Software CD-ROM
  </td>
<td>・クイックリファレンスラベル
  </td>
<td>・取扱説明書（本書）
  </td>
</tr>
<tr>
<td>・お客様情報 +
正式保証書発行カード
  </td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</table>

本書の構成

安全上のご注意、各部の名称と働き	ご使用になる前に
設置方法、スクリーンサイズと投写距離	設置
コンピュータとの接続、投写のしかた、調整のしかた	コンピュータ映像を写す
ビデオ機器との接続、投写のしかた、投写位置の調整	ビデオ機器映像を写す
プレゼンテーション時の便利な使いかた	プレゼンテーションを演出する
基本的なメニュー画面、メニューの基本操作	その他の設定
メニュー画面を使った調整や設定方法	メニュー画面の操作
付属されている「Projector Software」の機能や使いかた	Projector Software を使う
投写されない、映像が乱れるなどのトラブルや、困ったときの対処方法	困ったときに
日常のお手入れや保守のしかた、ランプの交換のしかた	メンテナンス
オプション品、運搬方法、用語解説、索引、仕様、保証とアフターサービス	その他

目次

本書の構成 i
目 次 ii
特 長 v
本書の見かた vii

ご使用になる前に 1

安全上のご注意 2
各部の名前と働き 6

設 置 13

設 置 14

コンピュータ映像を写す 19

接続できるコンピュータ 20
コンピュータとの接続 23
外部オーディオ機器で音を出す 27
投写する 28
調整する 32
終了する 56

ビデオ機器映像を写す 59

ビデオ機器との接続 60
外部オーディオ機器で音を出す 62
投写する 63
調整する 66
終了する 75

プレゼンテーションを演出する 77

ワイヤレスマウスを使う 78
映像を部分拡大する 81
エフェクト機能を使う 82
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う 93
フリーズ機能を使う 95
ユーザーロゴを投写する 96
ヘルプ機能を使う 103

その他の設定 105

設定メニュー 106
高度な設定メニュー 111
情報メニュー 115
全初期化 117

メニュー画面の操作 119

メニューを使う 120

Projector Software を使う 127

はじめに 128
コンピュータとの接続 130
インストール 131

困ったときに 143

故障かなと思ったら 144
インジケータを見てもわからないとき 146

メンテナンス 155

本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除 156
ランプの交換 158
エアーフィルタの交換 161

その他 163

オプション品 164
輸送方法について 166
用語解説 167
索引 169
仕様 173
保証とアフターサービス 174

特長

●くっきり鮮やかな画面

明るさを当社従来製品と比較して大幅にアップしました。
明るいところでも、くっきり鮮やかなプレゼンテーションが可能です。

●UXGA対応

新開発の高精細液晶パネルを採用し、VGA ～ UXGA（ELP-7350/ELP-7250）までの解像度に対応しています。（ELP-5350 は VGA ～ SXGA に対応します。）
BNC 入力を装備し、ワークステーション画面も忠実に投写できます。（ELP-5350 はワークステーションには対応しません。）

●小型で軽量

小型（13 リットル）、軽量（6.2kg）のコンパクトボディーで、持ち運びが簡単にできます。

●解像度の自動変換が可能 参照38～41ページ

エプソンオリジナル画像圧縮技術 DAR（Digital Active Resizing）を採用し、VGA ～ UXGA までのコンピュータ信号を、画面いっぱいに投写することができます。
（ELP-5350 は VGA ～ SXGA に対応します。）

●全世界のビデオ信号に対応

NTSC、NTSC4.43、M-PAL、N-PAL、PAL（60Hz）、SECAM と全世界で使われているほとんどのビデオ信号を投写することができます。

●ビデオ映像の鮮明さを追求

新クロマ回路の採用により、コンポジットビデオ、S ビデオ入力はもとより、コンポーネントビデオ（色差）や、RGB ビデオ入力にも対応し、鮮明なビデオ映像が投写できます。

●3Dサウンド*機能搭載 参照54ページ

広がりのある 3 次元ステレオ音声で、プレゼンテーションが可能です。

●キーストーン補正機能 参照34、35ページ

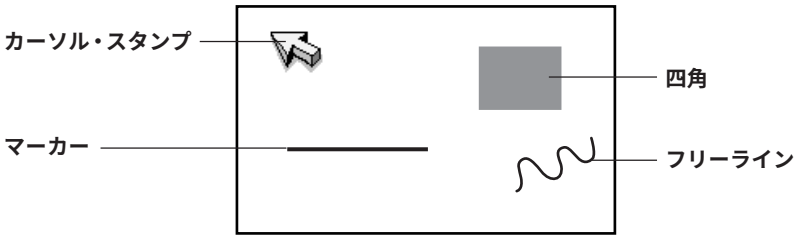
簡単な操作で、投写角度による台形歪みを補正する機能を内蔵しました。

●ワイヤレスマウスリモコン装備 参照78ページ

プロジェクターの操作はもちろん、画面のページめくりや映像を拡大するなど、さまざまな機能をワイヤレス操作できます。

●プレゼンテーション装飾機能（リモコンのEffectボタン）参照82ページ

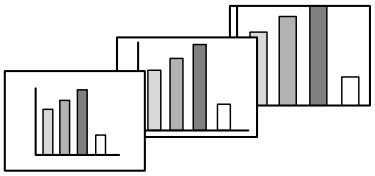
プレゼンテーションを効果的に演出できます。



もっと高度な装飾機能を使いたいときは、付属の「Projector Software」をお使いください。（参照127 ページ）

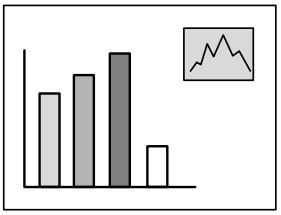
● Eズーム機能（リモコンのE-Zoomボタン）参照81ページ

映像の拡大ができます。（標準⇔たて、横のサイズで４倍）



●ピクチャー・イン・ピクチャー機能参照93ページ

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像を子画面として表示することができます。



●ユーザーロゴ設定機能参照96ページ

企業ロゴなどを画像から取り込み、スタートアップ時やプレゼンテーションの準備中に写し出すことができます。

本書の見かた

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

制限 ポイント　説明の追加・覚えていると便利な内容などを記載しています。

説明文が次ページに続くことを示します。

参照　参照ページを示します。

1　操作手順です。

*　用語解説をご覧ください。（167 ページ～ 168 ページ）

「本機」または「本プロジェクター」という表記について
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-7350/7250/5350

ご使用になる前に

安全上のご注意 2

各部の名前と働き 6

安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告

●次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

・煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
・投写されない、音がでない、などの故障状態になった。
・本機内部に水や異物が入った。
・本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

●サービスマン以外の方は、本機のキャビネットを開けたりしないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

●表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。

●電源ケーブルは付属品を使用してください。

付属品以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

●破損した電源ケーブルは、使用しないでください。

火災・感電の原因となります。
また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

・電源ケーブルを加工しない。
・電源ケーブルの上に重いものを乗せない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターに相談してください。

●電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。

強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。

●電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。
取り扱いの際には、つぎの点を守ってください。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
- 電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。

●本体内部には、レンズやランプなどのガラス部品を数多く使用しています。

万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンターに修理を依頼してください。

●本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

●本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

●本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠注意

●本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

●ぐらついた台の上・傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。
・押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
・じゅうたん・布団・毛布などの上。
・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。
また、壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の隙間を開けてください。

●連休や旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

●本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してからおこなってください。
火災・感電の原因となることがあります。

●使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切ってから約60分間経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。
・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

●乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
・長期間使用しないときは、電池を取り出す。
・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
・極性（＋、－）を正しく入れる。
・もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。

乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。

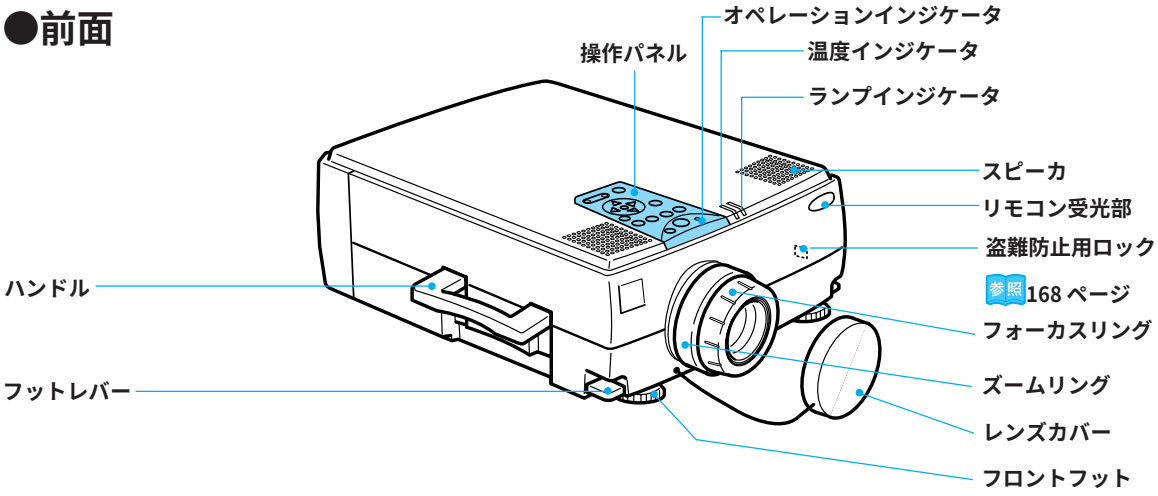
●お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。

感電の原因となることがあります。

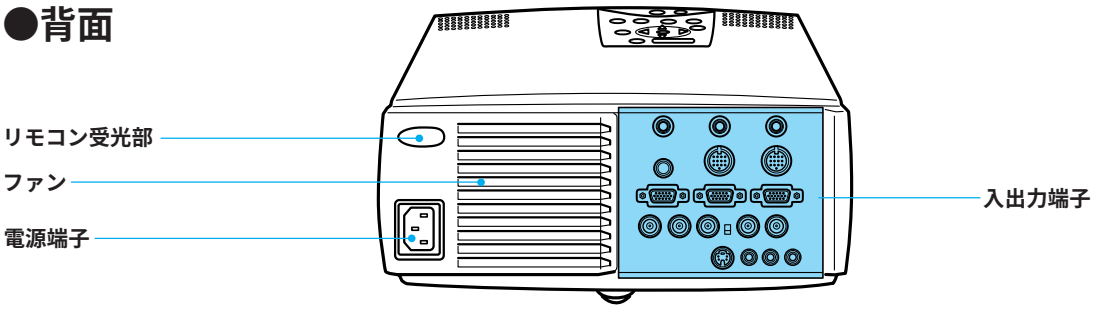
各部の名前と働き

プロジェクター本体

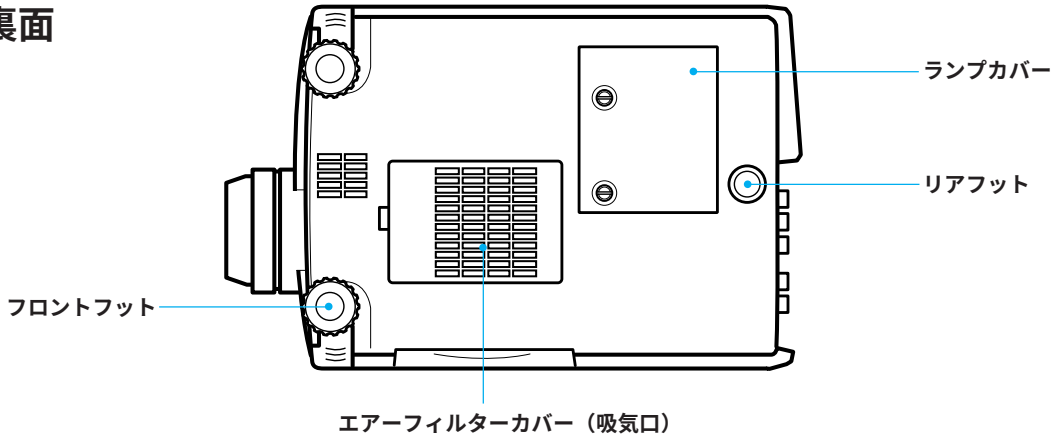
●前面



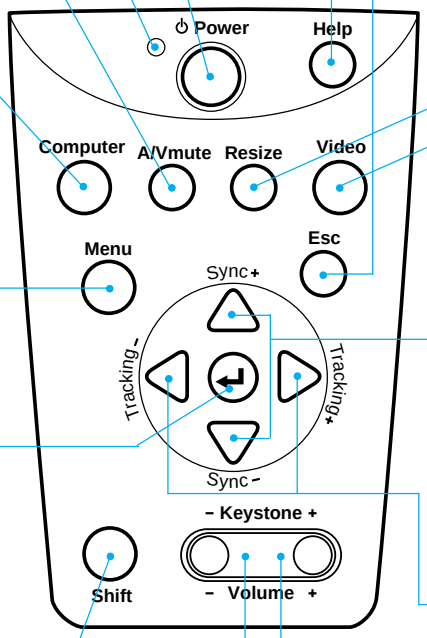
●背面



●裏面



●操作パネル



Power ボタン
参照 29, 56, 63 ページ
電源の ON/OFF を切り替えます。

Help ボタン
参照 103 ページ
トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

オペレーションインジケータ
参照 144 ページ
本機の状態を表示します。

Esc ボタン
現在実行中の機能を終了します。メニューやヘルプが表示されている場合は、現在の階層から 1 つ上の階層に戻ります。

A/V Mute ボタン
参照 96 ページ
映像と音声を一時的に消します。このときユーザーロゴを投写することもできます。もう一度押すか、音量調整すると解除されます。

Resize ボタン
参照 38, 40, 66 ページ
ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像入力時はアスペクト比 4:3 と 16:9 を切り替えます。

Computer ボタン
参照 30 ページ
Computer1 の映像、Computer2 の映像、BNC（RGB）の映像を切り替えます。

Video ボタン
参照 64 ページ
ビデオの映像（Video）、S ビデオ（S-Video）、コンポーネントビデオ（BNC（YCrCb））の映像を切り替えます。

Menu ボタン
参照 124 ページ
メニューを表示または終了します。

Sync ボタン
参照 36, 124 ページ
画面全体がぼやけていたり、ちらついているとき調整します。メニューやヘルプが表示されている場合は、上下方向キーとして動作します。

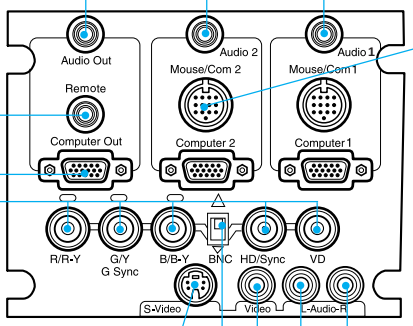
↵（Enter）ボタン
- **メニューの項目を決定します。下に階層がある場合は、現在の階層から 1 つ下の階層に進みます。**
- **メニューやヘルプが表示されていない場合は、コンピュータの映像の最適化を行います。**
- **入力解像度を Manual に設定しているときは Auto に切り替わります。**

Tracking ボタン
参照 36, 125 ページ
画面に縦の縞模様が出たとき調整します。
メニューやヘルプが表示されている場合は、左右方向キーとして動作します。

Keystoneボタン
参照 34, 35 ページ
画面が台形に歪んだ時に調整します。

Shiftボタン
参照 51 ページ
Volume ボタンと同時に押すと音量を調整します。

入出力端子



Audio Out 端子
プロジェクターの音声信号を出力します。

Audio1 /2 端子
コンピュータコンポーネントビデオからの音声信号を、ステレオミニジャックで入力します。

Remote 端子 *
オプションのリモコンレシーバー（ELPST02）が接続できます。

Mouse/Com1/2 端子
ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときや、付属の Projector Software を使うときにコンピュータと接続します。

BNC 端子
- R/R-Y
- G/Y
  G Sync
- B/B-Y
- HD/Sync
- VD

ワークステーションのBNC映像信号、またはビデオのコンポーネント映像信号（色差信号*）を入力します。この端子からの映像を使用するには、「BNC」スイッチを「BNC」側に切り替えて使用します。

Computer1/2 端子
コンピュータからの映像信号を入力します。または、RGBビデオ信号を入力します。

L-Audio -R 端子
A/V 機器からの音声信号を入力します。

Video 端子
A/V 機器の映像信号を入力します。

S-Video 端子
A/V機器のS映像信号を入力します。

BNC スイッチ
Computer2とBNCの入力を切り替えます。

Computer Out端子
コンピュータからの信号が出力されます。

リモコン

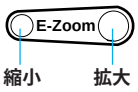
●表側

インジケータ
リモコン信号を出力しているときに発光します。

Freeze ボタン
参照95 ページ
動いている映像を一時停止します。もう一度押すと解除します。

A/V Mute ボタン
参照96 ページ
映像と音声を一時的に消します。そのときユーザーロゴを投写することもできます。もう一度押すか、音量を調整すると解除します。

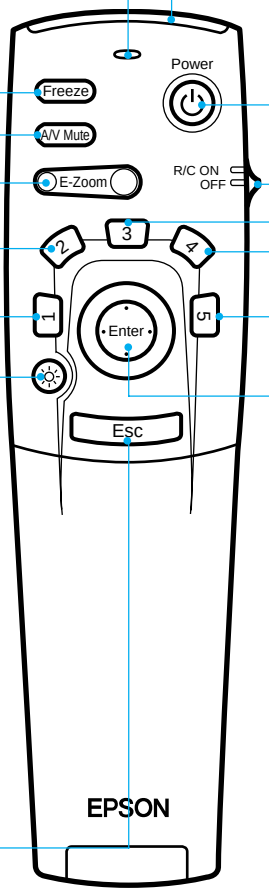
E-Zoom ボタン
参照81 ページ
E ズーム機能を実行します。ピクチャーインピクチャーの映像を拡大します。[ESC] ボタンを押すと解除します。



Effect ボタン
割り当てられた装飾機能を実行します。

☼（照光）ボタン
参照31, 65 ページ
リモコンの全ボタンを約 10 秒間イルミネーション表示します。

Esc ボタン
- **現在実行中の機能を終了します。**
- **メニューやヘルプが表示されている場合は、現在の階層から1つ上の階層に戻ります。**
- **映像がコンピュータの場合、マウスの右クリックとして動作します。**



リモコンの発光部
リモコン信号を出力します

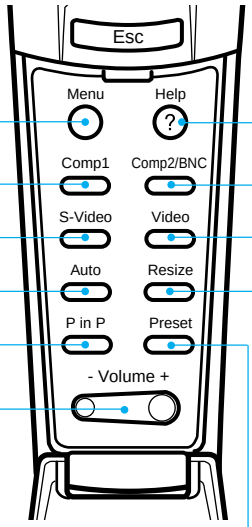
Power ボタン
参照29, 56, 63 ページ
本体電源の ON/OFF を切り替えます。

R/C ON OFF スイッチ
参照29, 57, 63 ページ
リモコン電源のON/OFFを切り替えます。
このスイッチが「ON」になっていないとリモコンの各操作ができません。

Effect ボタン
参照82 ページ
割り当てた装飾機能を実行します。

Enter ボタン
- **押した場合メニューの項目を決定します。下に階層がある場合は、現在の階層から1つ下の階層に進みます。**
- **映像がコンピュータの場合、マウスの左クリックとして動作します。**
- **Enterボタンの上下、左右を倒すとワイヤレスマウスとして倒した方向にポインタが移動します。**
- **メニューが表示されている場合、調整項目の選択をします。Enterボタンの上下、左右を倒すと倒した方向にバーが移動します。**

●カバー内部



Menu ボタン参照124 ページ
メニューを表示または終了します。

Comp 1 ボタン参照30 ページ
Computer 1からの映像に切り替えます。

S-Video ボタン参照64 ページ
S-Video からの映像に切り替えます。

Auto ボタン参照36 ページ
コンピュータ映像の最適化を行います。

P in P ボタン参照93 ページ
コンピュータ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。もう一度押すか、[ESC] ボタンを押すと解除します。

Volume ボタン参照51 ページ
音量を調整します。

Help ボタン参照103 ページ
トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

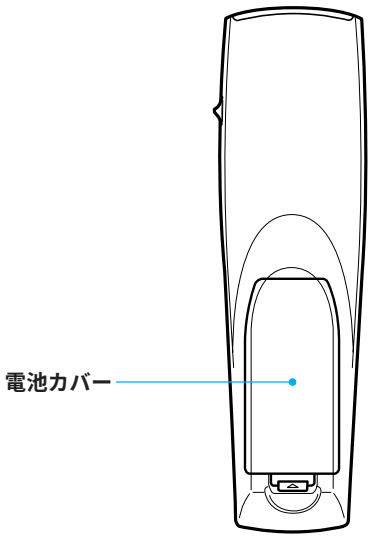
Comp2/BNCボタン参照30ページ
Computer2 と BNC 端子からの映像に切り替えます。
BNC 映像に切り替えたい場合は、本体の入出力端子の「BNC」スイッチを「BNC」側に切り替える必要があります。

Video ボタン参照64 ページ
Video 端子からの映像に切り替えます。

Resizeボタン参照38, 40, 66ページ
コンピュータ映像入力時は、ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像入力時はアスペクト比 4：3 と 16：9 を切り替えます。

Preset ボタン参照37 ページ
プリセットされているコンピュータ入力信号値を呼び出して簡単に画面調整をします。

●裏面

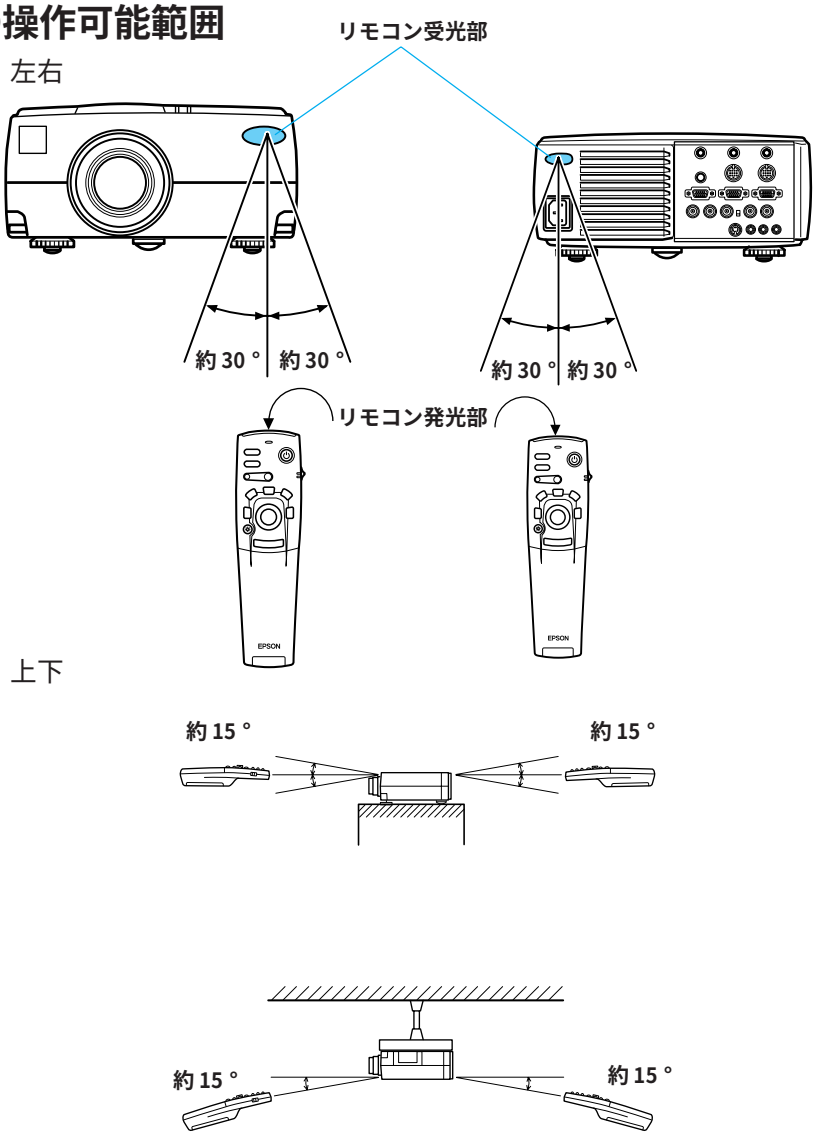


リモコンで操作できる範囲

本体受光部との距離角度によっては、リモコンで操作できない場合があります。以下の条件で使用してください。

●操作可能距離:約10m

●操作可能範囲



ポイント

- リモコンをご使用になる場合は、リモコンのR/C ON OFFスイッチを「ON」にする必要があります。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。
- リモコンをスクリーンに向けて、信号を反射させてお使いのときは、スクリーンの種類により操作可能距離（約10m）が短くなるときがあります。
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンが誤動作することがあります。
- リモコンが操作できなかったり、誤動作するときは、電池の交換時期と考えられます。電池を新しいものに交換してください。

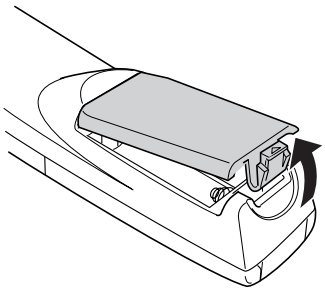
リモコンへの電池の入れかた

リモコンに電池を入れる方法について説明します。

> ⚠注意
> **種類が同じで新しい乾電池を入れてください。**

1 電池カバーを外します。

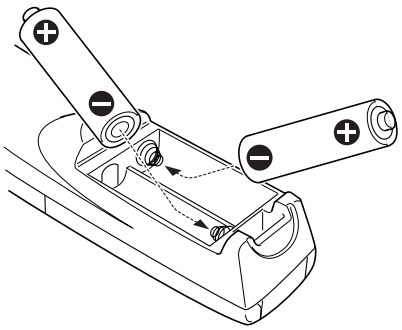
電池カバーのひっかけ部を、矢印の方向へスライドさせます。



> ポイント
> - **指定乾電池**
>   **単3形アルカリマンガン乾電池（LR6）2本**
> - **電池の交換時期は 1 日 30 分使用した場合で約 3ヶ月後です。**

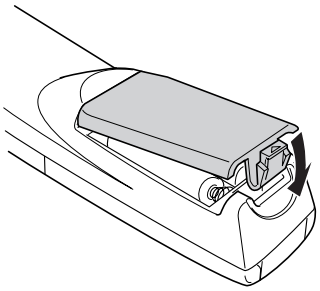
2 電池を入れます。

必ずリモコンの⊕⊖の表示に合わせてください。



3 電池カバーを収納します。

カチッと音がするまで、電池カバーを本体に押し付けます。



マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-7350/7250/5350

設置

設置 14

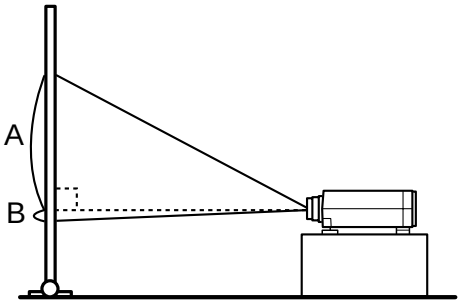
設置時の注意

プロジェクターとスクリーンを下図のように直角に設置したときに、最適な画面になります。このように本体とスクリーンを設置してください。

⚠注意

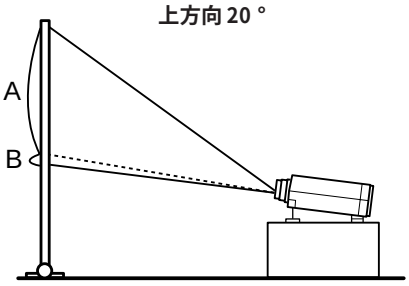
- **本体後方の排気口や、本体裏側のエアーフィルタ（吸気口）をふさがないようにしてください。**
- **本体裏側のエアーフィルタに、布や紙などが吸着されることもありますので、投写中確認してください。**
- **本体に、エアコンやヒーターなどの風が直接当たらないようにしてください。**
- **壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をあけてください。**
- **本機の上には毛布・カーテン・テーブルクロスなどの布をかけないでください。**

左または右から見たとき

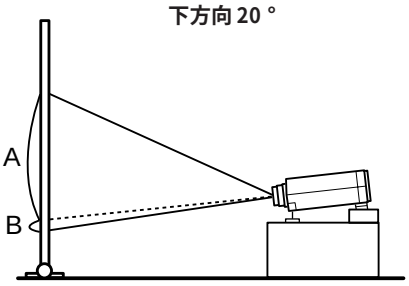


＊ A:B=19:1 になります。

上方向 20 °



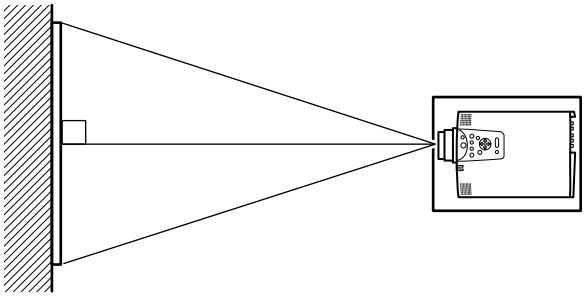
下方向 20 °



キーストーン補正により台形歪みを補正できます。

参照 34 ページ

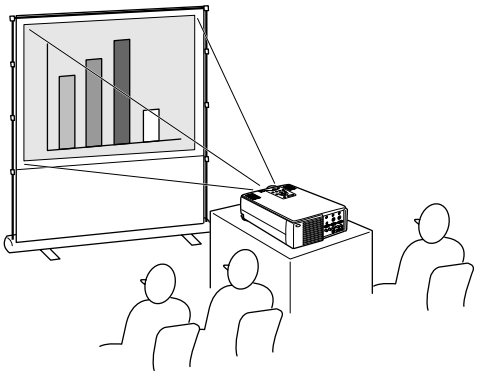
上または下から見たとき

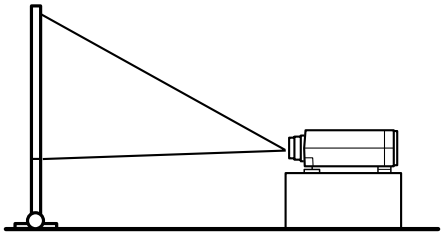


設置方法

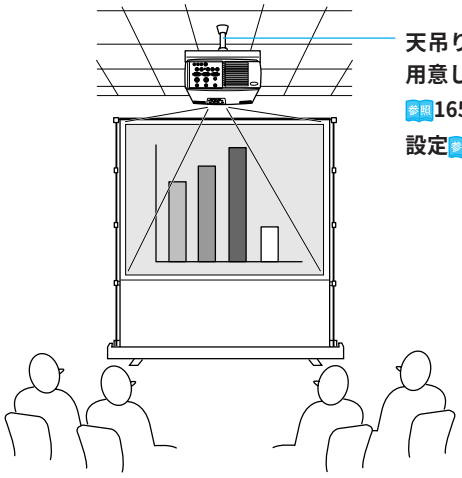
本機の投写方法は、次の 4 種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

●正面から映像を見るとき





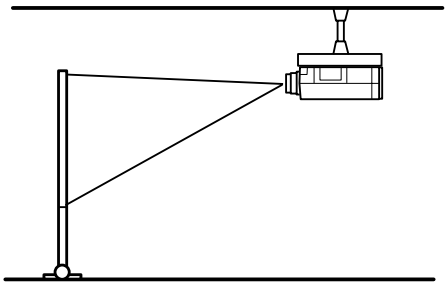
●天吊りして正面から映像を見るとき



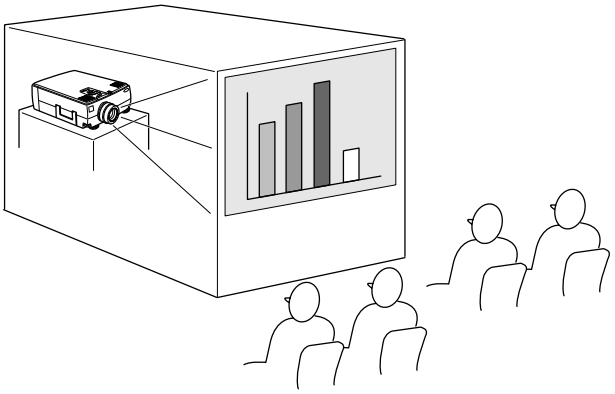
天吊り用のオプション品を用意しています。

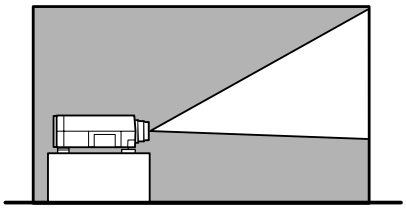
参照 165 ページ

設定参照 113 ページ

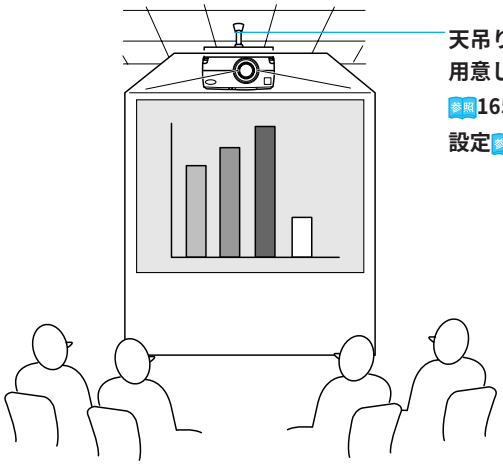


●半透過性のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見るとき

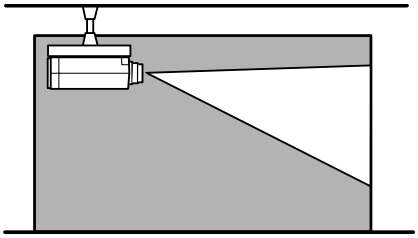




●天吊りして半透過性のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見るとき



天吊り用のオプション品を
用意しています。
参照165 ページ
設定参照113 ページ



●スクリーンサイズと投写距離について

お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
プロジェクターの投写レンズはおおよそ 1.3 倍ズームですので、最大拡大時は、最小時の約 1.3 倍のサイズで投写できます。
推奨範囲は 1.2m－16.4m（ELP-7350/7250）、1.2m－16.7m（ELP-5350）です。下の表を参考に設置してください。

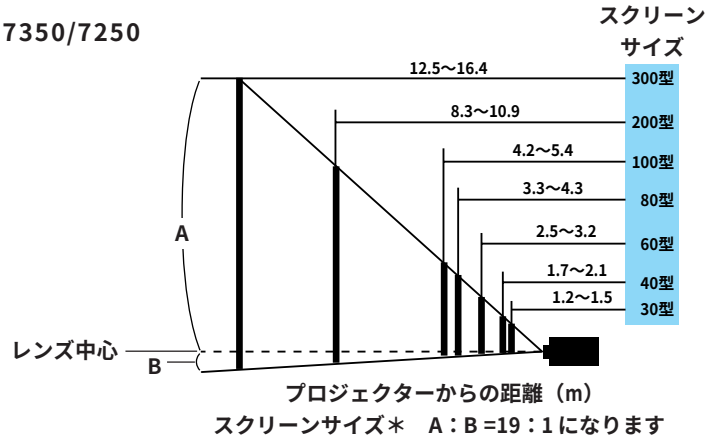
スクリーンサイズ(cm)	おおよその投写距離(m)		下図Aの寸法(cm)	下図Bの寸法(cm)
	7350/7250	5350		
300型（610 x 460）	12.5 －16.4	12.4 －16.7	437.0	23.0
200型（410 x 300）	8.3 －10.9	8.3 －11.1	285.0	15.0
100型（200 x 150）	4.2 － 5.4	4.1 － 5.5	142.5	7.5
80型（160 x 120）	3.3 － 4.3	3.3 － 4.4	114.0	6.0
60型（120 x 90）	2.5 － 3.2	2.5 － 3.2	85.5	4.5
40型（81 x 61）	1.7 － 2.1	1.6 － 2.1	58.0	3.1
30型（61 x 46）	1.2 － 1.5	1.2 － 1.6	43.7	2.3

*「おおよその投写距離」は設置のめやすにしてください。投写条件などで変わる場合があります。

ポイント

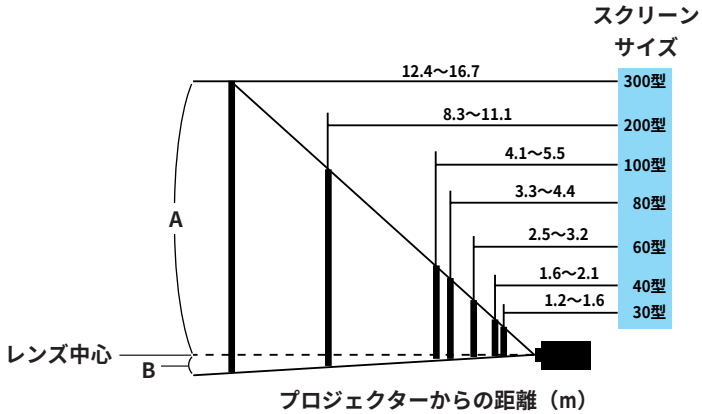
- オプションレンズ使用の場合には、オプションレンズに付属の取扱説明書を参照してください。
- キーストーン補正をすると画面が小さくなります。

ELP-7350/7250



スクリーンサイズ＊　A：B =19：1 になります

ELP-5350



スクリーンサイズ＊　A：B =19：1 になります

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

コンピュータ映像を写す

接続できるコンピュータ 20
コンピュータとの接続 23
外部オーディオ機器で音を出す 27
投写する 28
調整する 32
終了する 56

接続できるコンピュータ

コンピュータのモデルによっては、接続できないものや接続はできても投写できないものがあります。接続するコンピュータの仕様が、下の 2 条件にあてはまるか確認してください。

条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力ポートがあること

コンピュータに、映像信号を出力させるポートが付いているか確認してください。映像信号を出力させるポートは、「RGBポート」「モニタポート」「ビデオポート」などと呼ばれています。接続するコンピュータの取扱説明書「外付けのモニタを接続する」などをご覧になり、映像信号の出力ポートがあるか確認してください。

コンピュータとモニターが一体型のタイプや、ノートパソコンによっては外部出力ポートを別途購入していただかなければならない場合があります。また、外部出力ポートが取り付けられない場合があります。

条件2：コンピュータの解像度と周波数が21ページの記載仕様範囲内であること

コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が、本プロジェクターで対応できないものは投写ができません。（一部投写できるものもありますが、鮮明な投写はできません。）

接続するコンピュータの取扱説明書で、映像信号の解像度と周波数を確認してください。

ポイント

21～22 ページ記載の一覧表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。

接続できるコンピュータの対応モード表

	モード	水平表示解像度 Hor[Pixels]	垂直表示解像度 Ver[Lines]	水平走査周波数 H[KHz]	垂直走査周波数 V[Hz]	7350/ 7250/	5350
PC98	PC98	640	400	24.82	56.42	◎	◎
PC/AT	VGACGA	↑	↑	31.46	70.00	◎	◎
DOS/V	VGAEGA	↑	350	31.46	↑	◎	◎
	VGA60	↑	480	31.47	59.94	◎	◎
	VESA72	↑	↑	37.86	72.81	◎	◎
	VESA75	↑	↑	37.50	75.00	◎	◎
	VESA85	↑	↑	43.27	85.01	◎	◎
	SVGA56	800	600	35.16	56.25	◎	◎
	SVGA60	↑	↑	37.88	60.32	◎	◎
	SVGA72	↑	↑	48.08	72.19	◎	◎
	SVGA75	↑	↑	46.88	75.00	◎	◎
	SVGA85	↑	↑	53.67	85.06	◎	◎
	XGA43I	1024	768	35.52	43.48	◎	○
	XGA60	↑	↑	48.36	60.00	◎	○
	XGA70	↑	↑	56.48	70.07	◎	○
	XGA75	↑	↑	60.02	75.03	◎	○
	XGA85	↑	↑	68.68	85.00	◎	○
	SXGA1_70	1152	864	63.85	70.01	○	○
	SXGA1_75	↑	↑	67.50	75.00	○	○
	SXGA1_85	↑	↑	77.09	85.00	○	○
	SXGA2-60	1280	960	60.00	60.00	○	○
	SXGA2-75	↑	↑	75.00	75.00	○	○
	SXGA2-85	↑	↑	85.94	85.00	○	○
	SXGA3_43i	↑	1024	46.43	43.44	○	○
	SXGA3_60	↑	↑	63.98	60.02	○	○
	SXGA3_75	↑	↑	79.98	75.03	○	○
	SXGA3_85	↑	↑	91.15	85.02	○	○
	UXGA48I	1600	1200	62.50	48.04	○	-
	UXGA60	↑	↑	75.00	60.00	○	-
	UXGA65	↑	↑	81.25	65.00	○	-
	UXGA70	↑	↑	87.50	70.00	○	-
	UXGA75	↑	↑	93.75	75.00	○	-
	UXGA80	↑	↑	100.00	80.00	○	-
	UXGA85	↑	↑	106.25	85.00	○	-

◎フル対応　○ELP による圧縮表示

	モード	水平表示解像度 Hor[Pixels]	垂直表示解像度 Ver[Lines]	水平走査周波数 H[KHz]	垂直走査周波数 V[Hz]	7350/ 7250/	5350
Mac	MAC13	640	480	35.00	66.67	◎	◎
	MAC16	832	624	49.73	74.55	◎	◎
	MAC19-60	1024	768	48.19	59.28	◎	○
	MAC19	↑	↑	60.24	74.93	◎	○
	MAC21	1152	870	68.68	75.06	○	○
Video	SDTV480P (ANSI/SMPTE)	720	483	31.47	59.94	◎	◎
	SDTV480P (ATSC)	704	480	↑	↑	◎	◎
	SDTV480I (ANSI/SMPTE)	720	487	15.73	↑	◎	◎
	SDTV480I (ATSC)	704	480	↑	↑	◎	◎
	HDTV720P (SMPTE)	1280	720	44.96	↑	○	○
	HDTV1080P (ANSI/SMPTE)	1920	1080	67.43	↑	○	○
	HDTV1080I (ANSI/SMPTE)	↑	↑	33.72	↑	○	○
	NTSC	1024	480	15.734	60	◎	◎
	PAL	↑	576	15.625	50	◎	◎
	SECAM	↑	↑	↑	↑	◎	◎

◎フル対応　○ELP による圧縮表示

コンピュータとの接続

パーソナルコンピュータとの接続

⚠注意

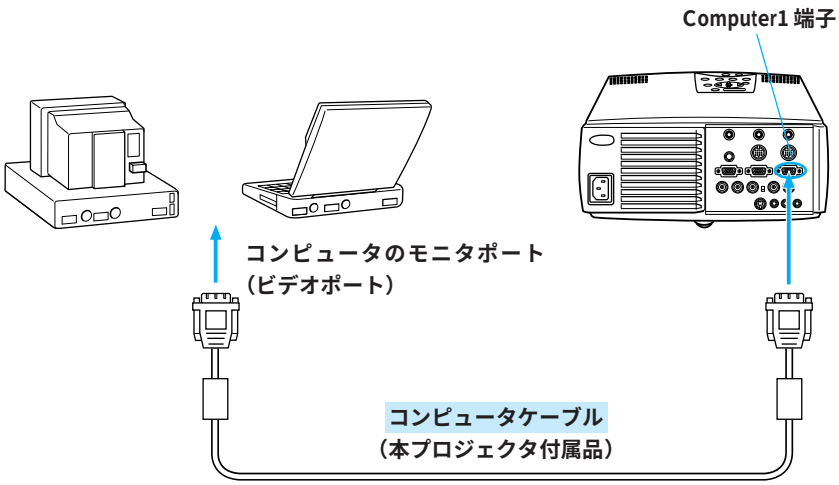
- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子形状を確認して接続してください。形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損につながります。

ポイント

- 本プロジェクターを使用するときは、電源ケーブルとコンピュータケーブルは、一緒にに結束しないでください。誤動作の原因になります。
- 接続の際、コンピュータのモデルによっては、コンピュータに付属または市販のアダプタ類が必要になる場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コンピュータをもう1台接続するときは、Computer 2またはComputer2/BNC端子を使い接続します。

●コンピュータ映像を写す

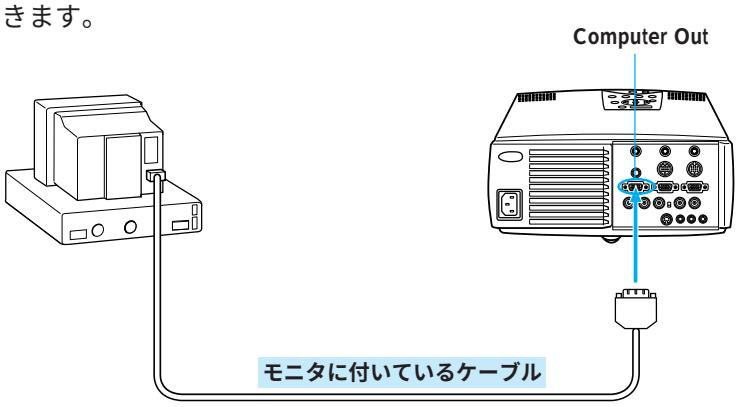
コンピュータの映像をプロジェクターから投写すると大画面でプレゼンテーションすることができます。



※ポートの形状が(ミニ D-Sub 15 pin)以外のときは、コンピュータに付属または市販のアダプタ等を使い、ポートの形状を(ミニ D-Sub 15 pin)に変換してください。
Macintoshと接続するときは、本プロジェクタ付属品のMACデスクトップアダプタおよび、MACモニタアダプタが必要になる場合があります。

●プロジェクターの投写画像をモニタで見る

プロジェクターの投写画像をコンピュータのモニタに写すことができます。



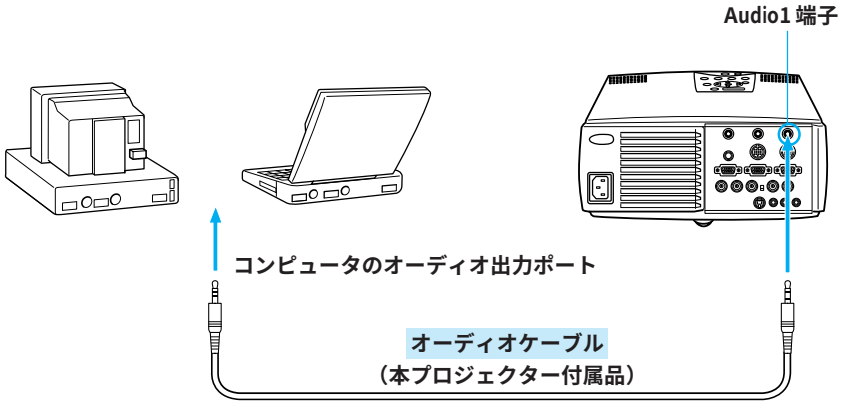
※ポートの形状が(ミニ D-Sub 15 pin)以外のときは、コンピュータに付属または市販のアダプタ等を使い、ポートの形状を(ミニ D-Sub 15 pin)に変換してください。
Macintoshと接続するときは、本プロジェクタ付属品のMACデスクトップアダプタおよびMACモニタアダプタが必要になる場合があります。

ポイント

オーディオ信号は、選択されている映像の音声を出力します。

●コンピュータの音声をプロジェクターから出す

コンピュータの音声をプロジェクター内蔵のスピーカから出力することができます。本プロジェクターでは、2個のスピーカから最大3Wで出力することができます。



ワークステーションとの接続(ELP-7350/7250 のみ)

接続方法、接続するケーブル類など、必ずお買い上げの販売店またはワークステーションのメーカーに確認してください。

接続の一例

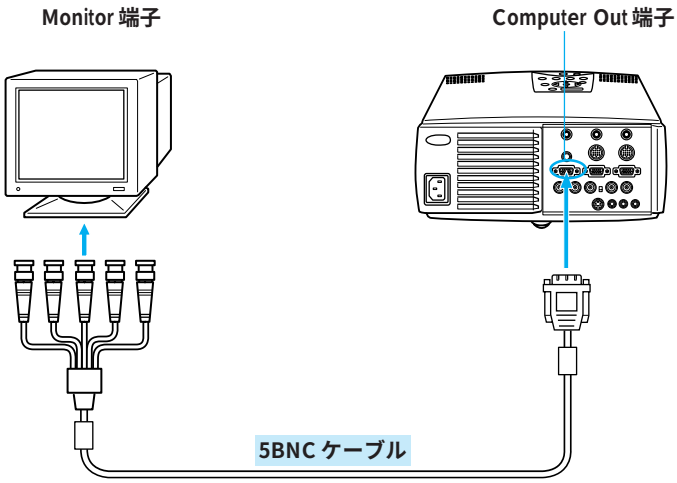
ポイント

- **5BNC 端子からの映像を投写するときは必ず次ページの操作で「RGB」を選択してください。**
- **ワークステーション機能を持ったパソコンの場合は、「コンピュータとの接続」を参照して接続してください。**

参照 23 ページ

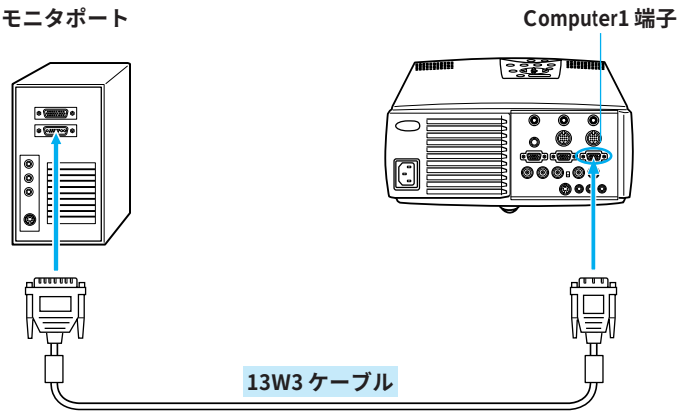
●モニタのポートが5BNC端子のとき

5BNC［オス］←→ミニ D-Sub15 ピン［オス］ケーブルを使い接続します。



●ワークステーションのモニタポートが13w3のとき

13w3［オス］←→ミニ D-Sub 15 ピン［オス］ケーブルを使い接続します。



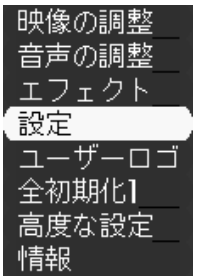
●BNC端子の入力モード設定(BNC)

BNC 端子を使うときの入力映像信号のモードを設定します。

ポイント

BNC スイッチ
参照 8 ページ
BNC ケーブルの接続
参照 25 ページ

1 Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューからの本体の Sync+、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで「設定」を選択します。



2 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

3 本体の Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで「BNC」を選択します。

ポイント

設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− (リモコンの場合は Enter) ボタンでサブメニューを選択します。

4 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで、「RGB」を選択します。

RGB ：コンピュータ信号を使うとき
YCrCb ：ビデオ信号を使うとき

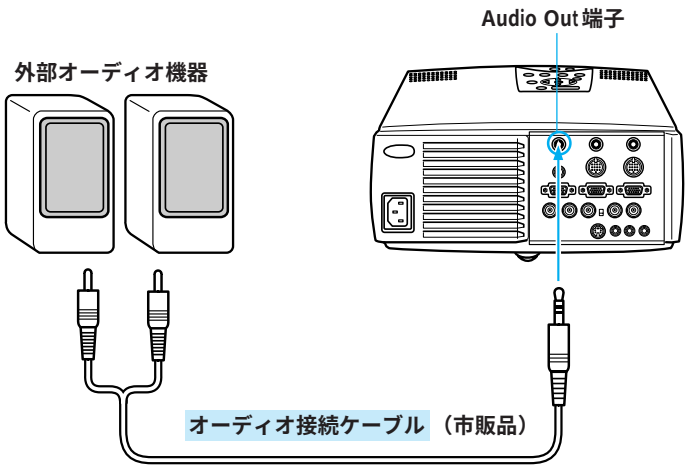
5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

外部オーディオ機器で音を出す

本機の「Audio Out」端子とPAシステムやアクティブスピーカシステムなどのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
市販の オーディオ接続ケーブル（ピンプラグ）←→3.5mm（ステレオミニジャックプラグ） などを使用します。

ポイント

- 音声出力端子へピンプラグを入れると、音声は外部へ自動的に出力されます。このとき本体のスピーカから音声は出力されません。
- 投写されている映像の音声が出力されます。
- オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部形状をよく確認してからお買い求めください。



投写する

それでは、コンピュータからの映像を写してみましょう。

準備

⚠警告

- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- 電源ケーブルは、付属品を使用してください。付属品以外を使用すると火災・感電の原因となります。

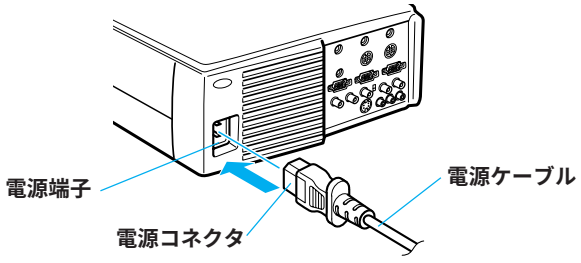
⚠注意

- レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

1. **プロジェクターとコンピュータが接続されていることを確認します。**

2. **レンズカバーをはずします。**

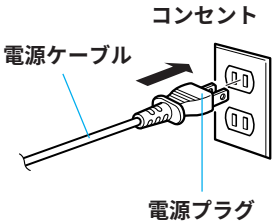
3. **プロジェクターに「電源ケーブル（本プロジェクター付属品）」を取り付けます。**
   プロジェクターの電源端子と、電源コネクタの形状に合わせて、しっかりと奥まで差し込んでください。

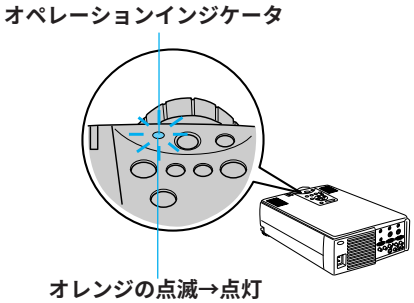


ポイント

「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅中はボタン操作ができません。

4. **「電源プラグ」をコンセントに差し込みます。**
   「オペレーションインジケータ」が 2 ～ 3 秒オレンジに点滅した後、点灯に変わります。

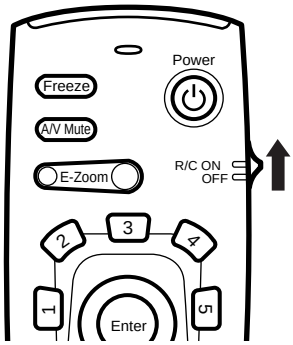




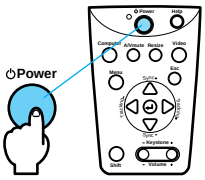
投写

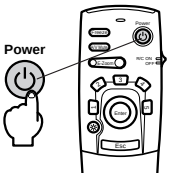
準備ができたら実際に投写してみましょう。

1 **リモコンのR/C ON OFFスイッチを「ON」にします。**



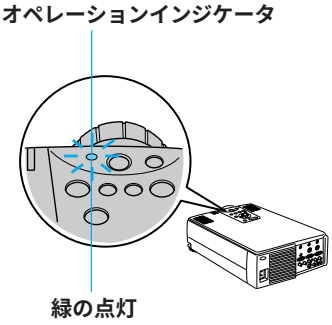
2 **Power ボタンを押し電源を入れます。**
「オペレーションインジケータ」が緑の点滅に変わり、投写が始まります。





約30秒後「オペレーションインジケータ」が緑色の点滅から点灯に変ります。

「映像信号が入力されていません」と表示されます。設定により表示されない場合があります。

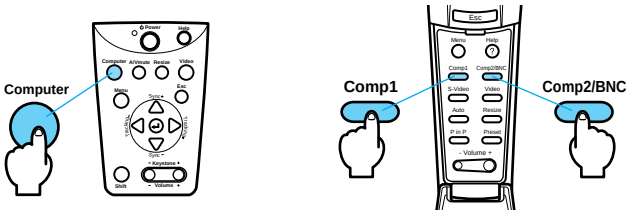


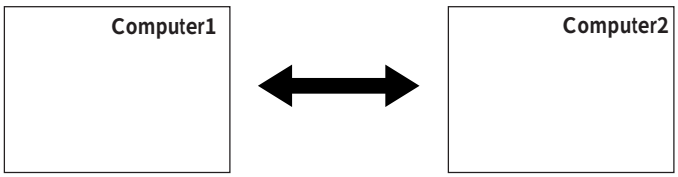
ポイント

- 入力がＢＮＣの場合、BNCスイッチを「BNC」側に切り替え、設定メニューのＢＮＣで「RGB」に設定する必要があります。

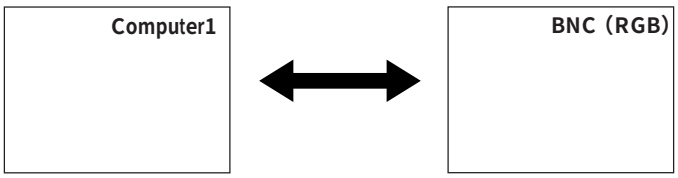
③ Computer ボタンを押し、投写するコンピュータが接続されている端子を選びます。(リモコンのときは、Comp1 または Comp2/BNC ボタン)

Computer ボタンは一回押すごとに Computer1、Computer2、BNC（RGB）の映像を切り替えます。





＊ BNC 入力を RGB に設定した場合



ポイント

- 「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- 同一の静止画像を長時間投写していると、投写映像に残像が残る場合があります。

④ コンピュータの電源を入れ、投写を開始します。

「映像信号が入力されていません」の表示が消え、コンピュータからの映像信号が投写されます。

●ノートタイプや液晶一体型タイプの設定

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。

コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、それぞれのコンピュータにより異なりますので、接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外部モニタへの出力」などをご覧ください。

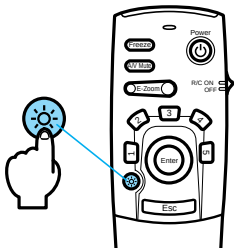
なお、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなうと、ＬＣＤ画面に映像が出なくなるものがあります。

コンピュータの信号を外部に出力させる設定の詳細は、コンピュータ付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンのボタンを光らせる ☼（リモコンのみ）

リモコンのボタンを約 10 秒間光らせます。

1. **☼ボタンを押すとリモコンのイルミネーションが点灯します。**
（約 10 秒間、何も操作しないと消灯します。）



調整する

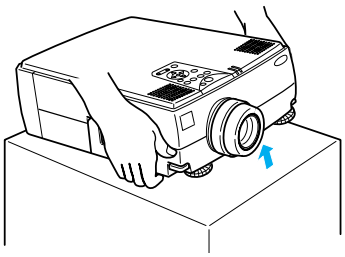
映像の調整

映像を最適な状態にする方法です。

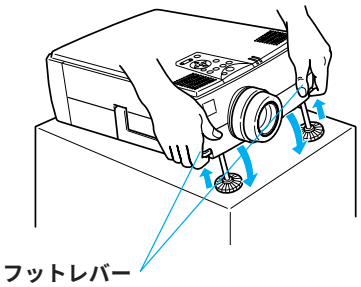
●投写位置の調整

プロジェクターの投写角度を修正します。
投写ができるだけスクリーンと直角になるように調整してください。

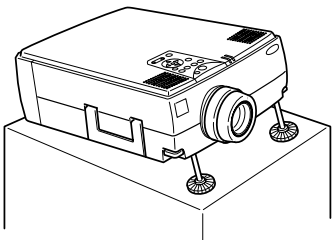
1 プロジェクターを投写したい角度に持ち上げます。



2 フットレバーを指で引き上げます。
フロントフットが出てきます。

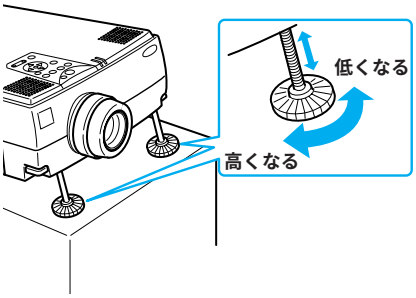


3 フットレバーから指を離した後、本体から手を離します。



ポイント
収納のしかた
参照 58 ページ

4 高さを微調整します。
フロントフット下部を回して、高さを微調整します。

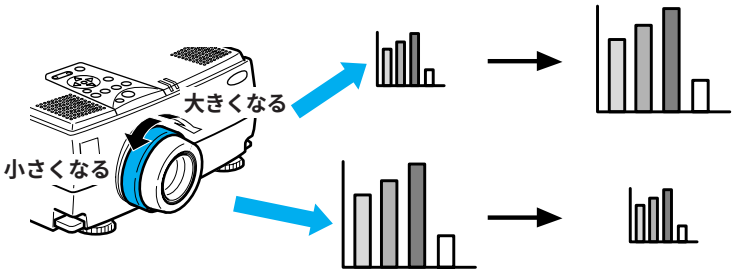


スクリーンサイズ（ズーム）の調整

スクリーンに合わせてスクリーンサイズを調整します。

●本体のズームリングでの調整

1 プロジェクターの「ズームリング」を回して調整します。（1.3倍までズームで拡大できます。）



さらに大きく（小さく）したいときは、設置距離で調整してください。
参照17 ページ

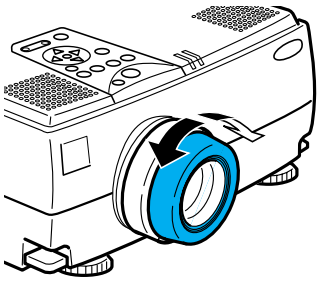
フォーカス（ピント）の調整

映像のピントを合わせます。

ポイント

- レンズが汚れていたり、結露しているときはフォーカス（ピント）が合いませんので、汚れや結露を取り除いてください。参照156ページ
- 調整できないときは、設置距離が1.2m－16.4m（ELP-7350/7250）、1.2m－16.7m（ELP-5350）の範囲にあるか確認してください。

1 プロジェクターの「フォーカスリング」を回してピントを合わせます。



キーストーン補正（本体のボタンによる補正）

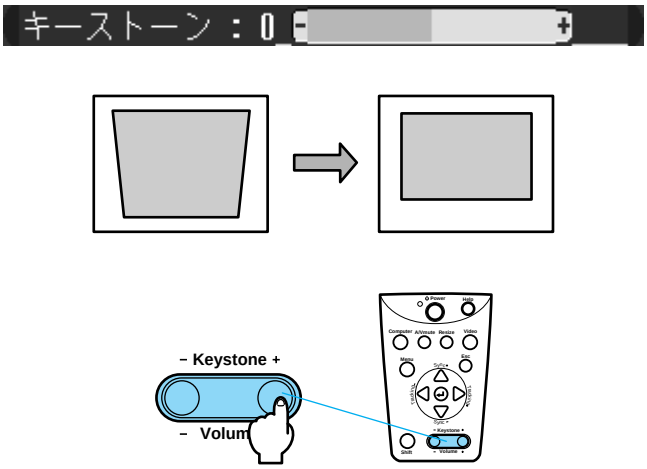
フットレバーにより投写角度を変えたとき、キーストーン補正機能を使って、台形歪みを上下約20°補正することができます。

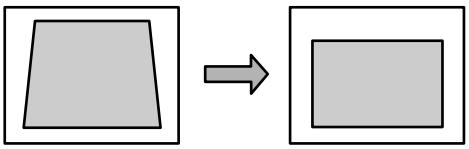
ポイント

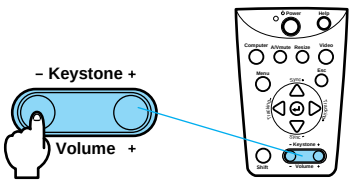
- キーストーン補正をすると画面が小さくなります。
- キーストーン補正した状態は記憶されています。次回投写位置や角度を変えたときは再調整してください。
- キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像の調整」-「シャープネス」で、シャープネスを下げて使用してください。

●Keystoneボタンによるキーストーン補正

1 Keystone ボタンを押し、台形歪みが少なくなるようにします。





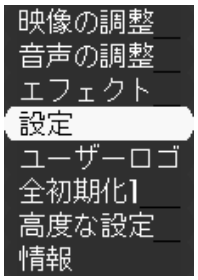


キーストーン補正（メニュー画面による補正）

ポイント

- 本体の Keystone ボタンでも調整できます。
- キーストーン補正をすると画面が小さくなります。
- キーストーン補正した状態は記憶されています。次回投写位置や角度を変えたときは再調整してください。
- キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像の調整」-「シャープネス」で、シャープネスを下げて使用してください。

1. Menu ボタンを押し、表示されたメインメニューから本体の Sync ＋、－ （リモコンの場合は Enter ）ボタンで「設定」を選択します。



2. 本体の Enter （リモコンの場合は Enter ）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync ＋、－ （リモコンの場合は Enter ボタンで「キーストーン」を選択します。

4. 本体の Tracking＋、－ （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、正常に表示されるように調整します。

ポイント

設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync ＋、－ （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

5. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

画像の調整（本体およびリモコンのボタンでの調整）

ポイント

E-Zoom、A/V MuteやP in Pなどを実行しているときに、↵(Enter)またはAutoボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。

●コンピュータ映像を最適化する ↵Enter（リモコン Auto）

コンピュータ入力信号を自動的に最適な調整値に設定します。
入力がビデオ信号のときは、機能しません。
自動設定される調整値は以下のとおりです。

- トラッキング
- 表示位置（上下 / 左右）
- 同期

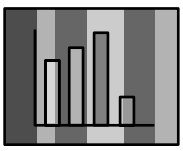
1 **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は、Auto）ボタンを押します。**

信号の種類によっては、最適な状態に設定されない場合があります。そのときは、以下に従って調整してください。

ポイント

- 映像の乱れの調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更（出力モードの変更や表示色の変更など）により映像の乱れが再発生したり、調整値が変化するときがあります。
- 「ちらつき」や「ぼやけ」は、明るさやコントラスト*の調整で起こることもあります。
- トラッキング調整をしてから同期を調整したほうが、鮮明に調整できます。
- コンピュータからの映像信号が入っていないときは、映像の調整ができません。
- ビデオ映像を投写しているときは「トラッキング」、「同期」の調整ができません。

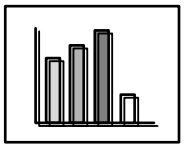
●映像に縦の縞模様が出るとき



「トラッキング*」を調整します

1 **本体の Tracking+、− ボタンを押します。**
※メニューを開いているときは調整できません。

●映像にちらつき、ぼやけ、横のノイズなどが発生するとき



「同期*」を調整します

1 **本体の Sync+、− ボタンを押します。**

●プリセットされている調整値を呼び出すPreset（リモコンのみ）

コンピュータ入力信号の調整値（入力解像度、トラッキング、同期信号、表示位置など）を呼び出して画面調整を簡単にします。

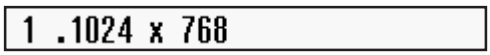
ポイント

- 1 回押すごとに「プリセット 2」→「プリセット 3」→「プリセット 4」→「プリセット 5」→「プリセット 1」のように切り替わります。ただし、プリセットされていない番号は表示されません。
- 登録されていない場合は、「登録されていません」と画面の右上に表示されます。
- プリセット機能を設定するには
  「メニュー」→「映像の調整」→「プリセット登録」で5つまで登録できます。

参照48 ページ

1 **リモコンの Preset ボタンを押します。**

プリセット 1 の選択画面が表示されます。



●入力映像をそのまま見たいとき

Resize（ELP-7350/7250の場合）

リサイジング表示とウィンドウ表示を、Resizeボタンで切り替えることができます。

リサイジング表示とは

本機対応解像度と入力信号が違っていても、解像度を自動処理してスクリーンサイズいっぱいに投写します。通常のプレゼンテーションのとき使います。（標準設定）

ウインドウ表示とは

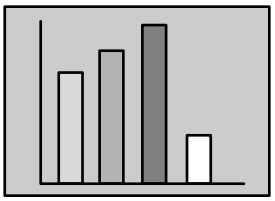
入力解像度のまま投写します。コンピュータ解像度のまま投写したいときに使います。

ポイント
Resizeボタンを１回押すごとに切り替わります。

リサイジング表示とウィンドウ表示の切り替え

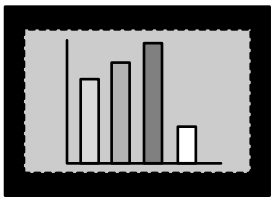
・入力解像度が 1,024 × 768（XGA*）より低い場合…800 × 600（SVGA*）など

リサイジング表示



800×600の映像を1,024×768（本機の投写サイズ）に拡大して投写します。

ウィンドウ表示

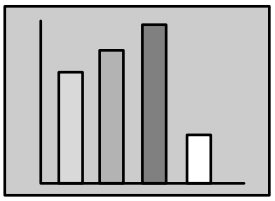


800×600の映像のまま投写します。1,024 × 768（本機の投写サイズ）より映像は小さくなります。

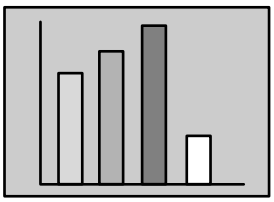
ポイント
Resizeボタンを押しても表示は替わりません。

・入力解像度が 1,024 × 768（XGA）の場合…本機の対応解像度 1,024 × 768（XGA）と同じため、リサイジング表示、ウィンドウ表示、共にスクリーンサイズいっぱいに投写します。

リサイジング表示



ウィンドウ表示

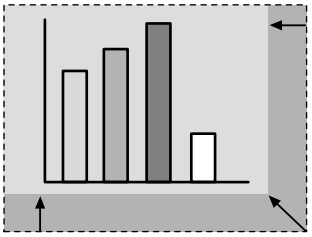


ポイント

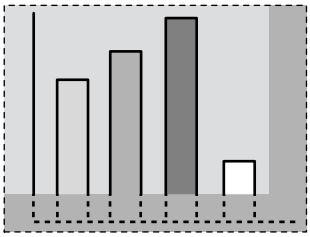
Resize ボタンを 1 回押すごとに切り替わります。

・入力解像度が 1,024 × 768（XGA）より高い場合…
1,280 × 1,024（SXGA）など

リサイジング表示
1,280×1,024の映像を1,024×768（本機の投写サイズ）に縮小して投写します。

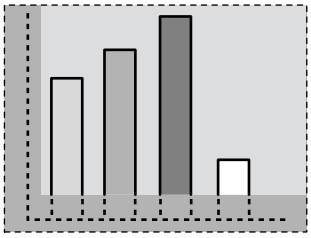


ウィンドウ表示 1
1,280 × 1,024 の映像のまま投写します。
1,024×768（本機の投写サイズ）以上の映像部分は写らなくなります。



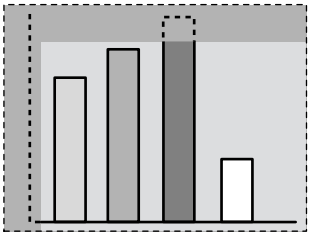
左上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 2



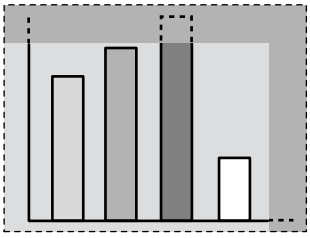
右上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 3



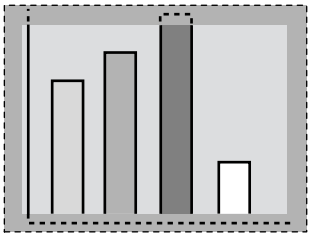
右下部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 4



左下部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 5



中央部分の映像を投写します

●入力映像をそのまま見たいとき

Resize（ELP-5350の場合）

リサイジング表示とウィンドウ表示を、Resizeボタンで切り替えることができます。

リサイジング表示とは

本機対応解像度と入力信号が違っていても、解像度を自動処理してスクリーンサイズいっぱいに投写します。通常のプレゼンテーションのとき使います。（標準設定）

ウインドウ表示とは

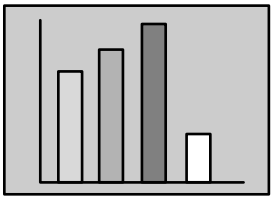
入力解像度のまま投写します。コンピュータの解像度のまま投写したいときに使います。

ポイント
Resizeボタンを１回押すごとに切り替わります。

リサイジング表示とウィンドウ表示の切り替え

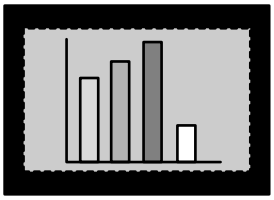
- 入力解像度が 800 × 600（SVGA*）より低い場合…640 × 480（VGA*）など

リサイジング表示



640 × 480 の映像を 800 × 600（本機の投写サイズ）に拡大して投写します。

ウィンドウ表示



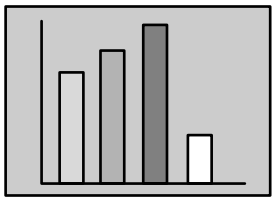
640×480の映像のまま投写します。800 × 600（本機の投写サイズ）より映像は小さくなります。

ポイント
Resizeボタンを押しても表示は替わりません。

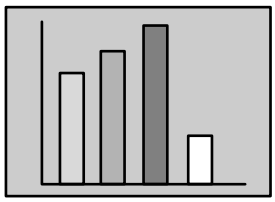
本機の対応解像度

- 入力解像度が800×600（SVGA）の場合…本機の対応解像度800 x 600（SVGA）と同じため、リサイジング表示、ウィンドウ表示、共にスクリーンサイズいっぱいに投写します。

リサイジング表示



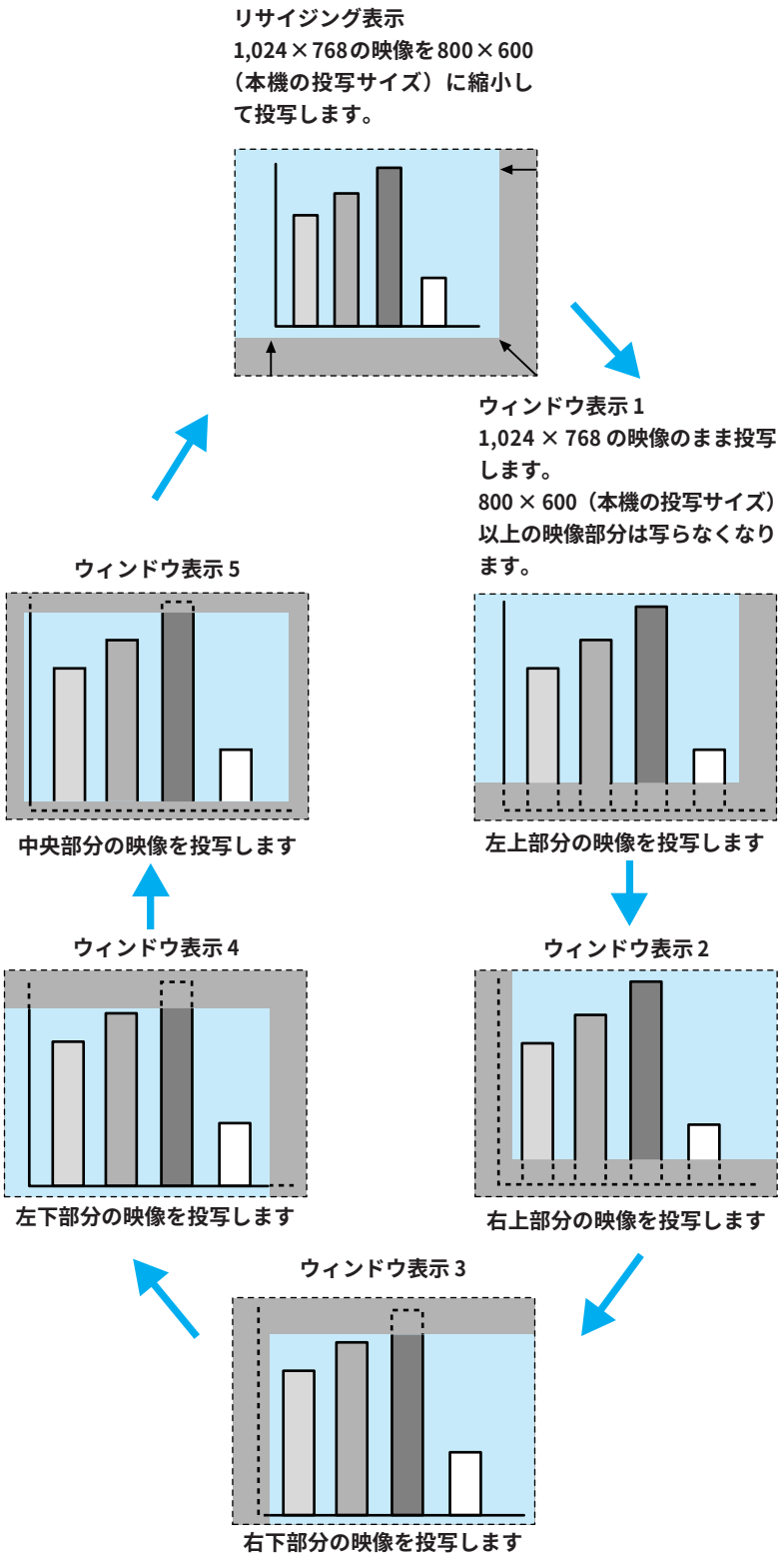
ウィンドウ表示



ポイント

Resizeボタンを1回押すごとに切り替ります。

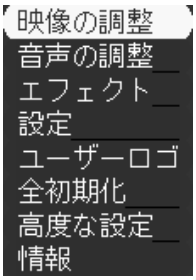
- 入力解像度が800 × 600（SVGA）より高い場合…1,024 x 768（XGA）など



画像の調整（メニュー画面での調整）

メニューを画面に表示することで、各種調整をおこなうことができます。

1 Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「映像の調整」を選択します。



2 本体の Enter（リモコンの場合は Enter ボタンを押して決定します。

3 本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter ボタンで調整する項目を選択します。

ポイント

BNC 入力がコンポーネント（色差）映像信号のときは「トラッキング」、「同期」、「入力解像度」、「プリセット登録」の選択はできません。

これ以降の調整は、以下の操作をおこなってください。

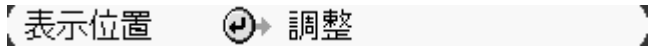
・表示位置の調整（表示位置） 参照43 ページ
・映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整（トラッキング） 参照43 ページ
・映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整（同期） 参照44 ページ
・明るさの調整（明るさ） 参照44 ページ
・色の明暗の差を調整（コントラスト） 参照45 ページ
・色の強さ調整（RGB 調整） 参照45 ページ
・映像のシャープ感を調整（シャープネス） 参照46 ページ
・入力解像度の設定（入力解像度） 参照46 ページ
・調整した映像を登録（プリセット） 参照48 ページ
・出荷時の初期値に戻す（初期化） 参照49 ページ

●表示位置の調整

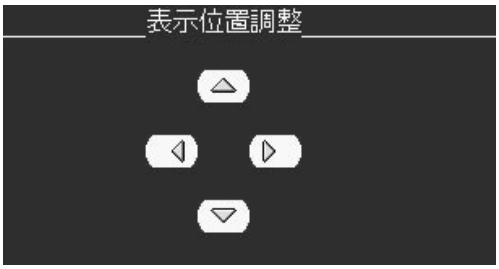
映像の表示位置を上下、左右に移動します。

ポイント
- 表示位置の調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更（出力モードの変更や表示色の変更など）により調整値が変化するときがあります。
- コンピュータからの映像信号が入っていないときは、映像の調整ができません。

1 本体の Enter（リモコンの場合は Enter ボタンで押してサブメニューを表示します。



2 本体の Sync＋、－、Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで映像位置を調整します。



ポイント
ESC ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

3 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整（トラッキング）

ポイント
- トラッキングの調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみ行えます。
- トラッキングはメニューを使わなくても、本体の操作パネルでもおこなえます。参照36ページ

1 映像を見ながら、縦の縞模様が無くなるように本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整（同期）

ポイント

- 同期の調整は、コンピュータの映像を投写しているときのみおこなえます。
- 同期の調整は、メニューを使わなくても、本体の操作パネルでもおこなえます。
- トラッキングが合っていないと、同期の調整をしてもちらつきがなくなりません。必ず、トラッキングを合わせてから、同期の調整をおこなってください。

参照 36ページ

1. 映像を見ながら、ちらつきや、ぼやけが無くなるように本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

ポイント

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

2. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●明るさの調整（明るさ）

1. 映像を見ながら、本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

＋：映像が明るくなります。
－：映像が暗くなります。

ポイント

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

2. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●色の明暗の差を調整（コントラスト）

1 映像を見ながら、本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

＋：明暗の差が大きくなります。
－：明暗の差が小さくなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

● 色の強さ調整（RGB調整）

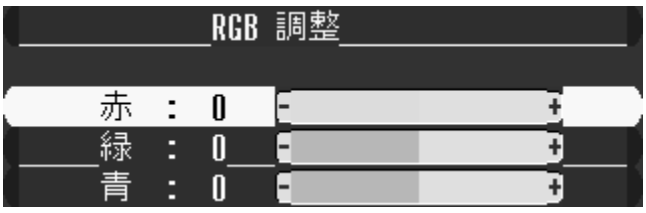
ポイント
カラー調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

1 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2 調整する色を Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで選択します。

3 映像を見ながら、本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

ポイント
他の色も調整するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで選択し、手順3と同じように調整します。



赤＋：赤色を強くします。
赤－：赤色を弱くします。
緑＋：緑色を強くします。
緑－：緑色を弱くします。
青＋：青色を強くします。
青－：青色を弱くします。

ポイント
Esc ボタンを押すと映像の調整サブメニューに戻ります。

4 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
キーストーン補正により、ムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。

●映像のシャープ感を調整（シャープネス）

1 映像を見ながら、シャープ感を本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整します。

＋：シャープ感が強くなり、映像がはっきりします。
－：シャープ感が弱くなり、映像がソフトになります。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
入力解像度の設定は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

ポイント
ここでは、例として「640 x 480/MAC13」選択したときの画面で説明しています。

● 入力解像度の設定（入力解像度）

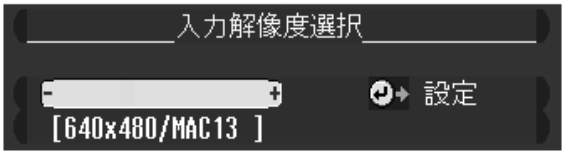
1 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「Auto」または「Manual」を選択します。

- 「Auto」を選択すると、入力されている信号を自動的に検出します。手順5に進みます。
- 「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

現在選択されている解像度を表示
*「Auto」になっている場合は表示されません。

2 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

3 入力解像度を本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで選択します。



現在選択されている解像度が表示されます。

ポイント
Tracking +、− ボタンを 1 回押すごとに解像度の表示が切り替ります。

4 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
Esc ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

ポイント

- プリセット登録は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。
- プリセットの使いかたは、37 ページを参照してください。

●調整した映像を登録(プリセット)

コンピュータ入力信号の調整値を保存することができます。保存した調整値は、呼び出して使うことができます。
保存する調整値は、次のとおりです。

入力解像度
トラッキング
同期信号
表示位置　　など

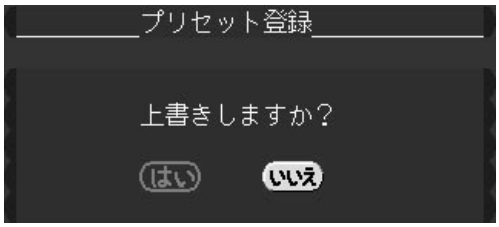
1 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2 登録するプリセット番号を本体の [Sync+、−]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで選択します。

3 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押して設定します。

すでに登録済みのプリセット番号を選択したときは、「上書きしますか」とメッセージが表示されます。

- 「はい」を選択すると、上書きします。
- 「いいえ」を選択すると、登録しないで手順1の画面に戻ります。



ポイント

Esc ボタンを押すと映像の調整サブメニューに戻ります。

4 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

- 出荷時の初期設定は、118 ページを参照してください。
- 映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

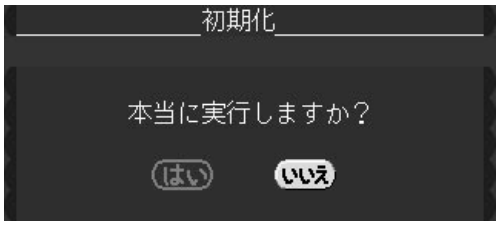
●出荷時の初期値に戻す（初期化）

映像の調整値を初期値に戻します。

1 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。

- 「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
- 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



3 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して実行します。

ポイント

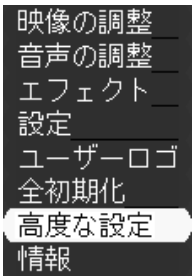
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

4 Menu ボタンを押してメニューを閉じます。

●カラー設定の自動/手動調整（カラー設定）

映像の色温度 * を調整するときに使います。

1. **Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合が Enter ボタンで「高度な設定」を選択します。**



2. **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）を押して決定します。**

3. **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「カラー設定」を選択します。**

4. **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「Auto」または「Manual」を選択します。**
   - 「Auto」を選択すると、自動的にカラーを調整します。手順7に進みます。
   - 「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

5. **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）を押して決定します。**

6 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで設定します。

押したボタンに合わせてバーが動き、数値が変化します。
＋：色温度が高くなります。(青が強くなります。)
−：色温度が低くなります。(赤が強くなります。)

ポイント
Esc ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

7 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

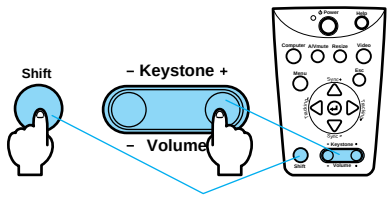
音声の調整(本体およびリモコンボタンでの調整)

音声を聞きやすい音量に調整します。

ポイント
音声信号が入っていないときは調整できません。

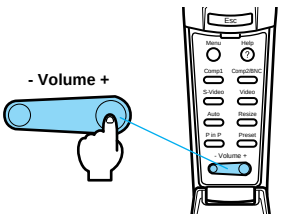
●本体のボタンでの調整

Shift + Volume ボタンで調整します。



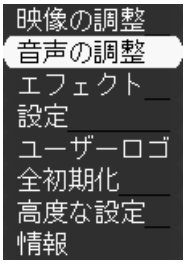
●リモコンのボタンでの調整

Volume ＋、− ボタンで調整します。



音声の調整（メニューでの調整）

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、「音声の調整」を選択します。



2. 本体の ↵(Enter) （リモコンの場合は Enter ）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- 音量の調整（音量） 参照53 ページ
- 高音の調整（高音） 参照53 ページ
- 低音の調整（低音） 参照53 ページ
- 音の広がり調整（3D サウンド） 参照54 ページ
- 出荷時の初期設定に戻す（初期化） 参照54 ページ

●音量の調整（音量）

1 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、音を聞きながら音量を調整します。

＋：音量が大きくなります。
－：音量が小さくなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

●高音の調整（高音）

1 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、音を聞きながら高音を調整します。

＋：高音が強くなります。
－：高音が弱くなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

●低音の調整（低音）

1 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、音を聞きながら低音を調整します。

＋：低音が強くなります。
－：低音が弱くなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

●音の広がり調整（3Dサウンド）

1 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、音を聞きながら音声の広がりを調整します。

＋：音声の広がりが大きくなります。
－：音声の広がりが小さくなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

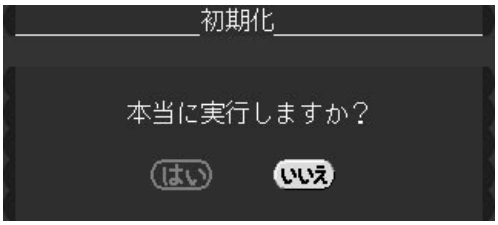
ポイント
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

●出荷時の初期値に戻す（初期化）

音声の調整値を初期値に戻します。

1 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
- 「はい」を実行すると、初期化を実行して初期値に戻ります。
- 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



ポイント
- 出荷時の初期値は、118ページを参照してください。
- 映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

3 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して実行します。

4 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

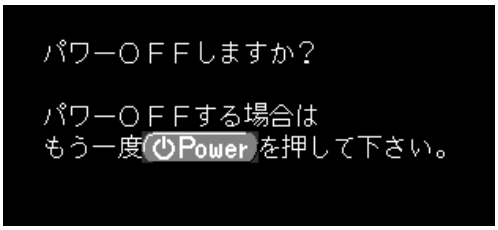
ポイント

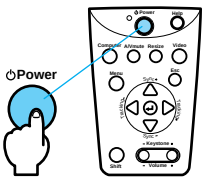
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync ＋、－ （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

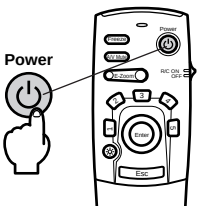
終了する

1 **Power ボタンを押します。**

パワー OFF 確認のメッセージが表示されます。







2 **もう一度 Power ボタンを押します。**

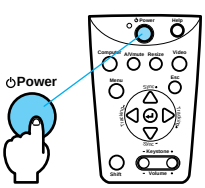
ランプが消灯し「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅します。

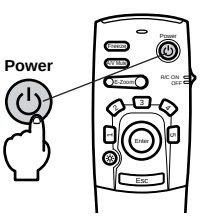
「オペレーションインジケータ」はクールダウン終了後にオレンジの点灯に変わります。（スタンバイ状態）

※クールダウンにかかる時間は外気温等によって変わります。

ポイント

電源を切りたくないときは他のボタンを押してください。またそのまま何もしないと 7 秒後にメッセージが消えます。





ポイント

- 「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅している時は、クールダウン*（ランプを冷やす動作）中です。クールダウン中はボタン操作ができません。クールダウンが終了し、「オペレーションインジケータ」がオレンジの点灯になってから、ボタン操作ができるようになります。
- コンセントから電源プラグを抜かないと、オペレーションインジケータは消灯しません。

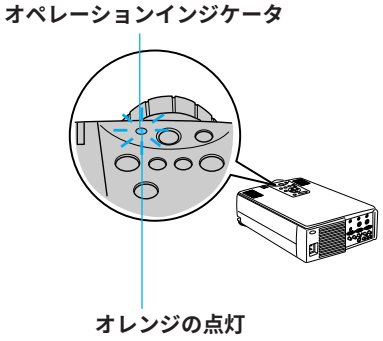
⚠注意

「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅しているときは、「電源プラグ」をコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

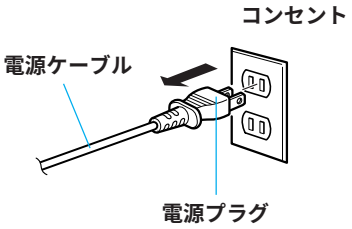
ポイント

リモコンのR/C ON OFFスイッチを「OFF」にしないと少量の電流がリモコンに供給され電池が消耗します。長時間リモコンを使わないときや移動の際にはR/C ON OFFスイッチを「OFF」にしてください。

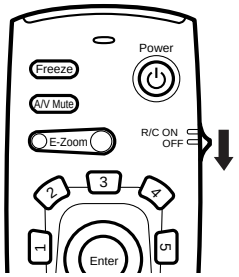
3 「オペレーションインジケータ」がオレンジの点灯になっていることを確認します。



4 「電源プラグ」をコンセントから抜きます。



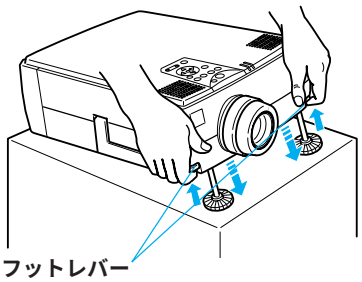
5 リモコンのR/C ON OFFスイッチを「OFF」にします。



収納のしかた

投写が終ったら、フットレバーを本体に収納してください。

1. 本体を手で支えながらフットレバーを指で引き上げ、ゆっくり本体を下に降ろします。



2. レンズカバーを取り付けてください。

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

ビデオ機器映像を写す

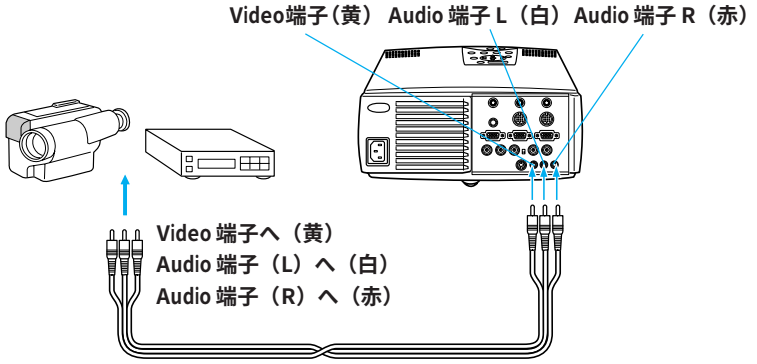
ビデオ機器との接続 60
外部オーディオ機器で音を出す 62
投写する 63
調整する 66
終了する 75

ビデオ機器との接続

ポイント

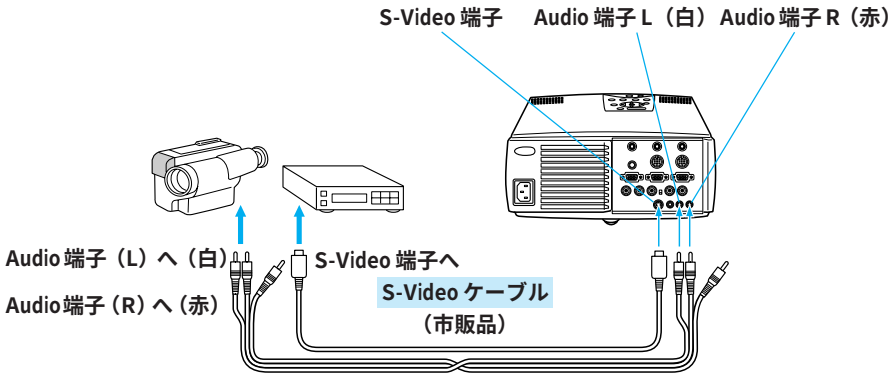
オーディオ入力について
- オーディオ信号は、選択された映像の音声が出力されます。

コンポジット映像信号を入力するとき



A/V ケーブル （本プロジェクター付属品）

S映像信号を入力するとき



A/V ケーブル （本プロジェクター付属品）

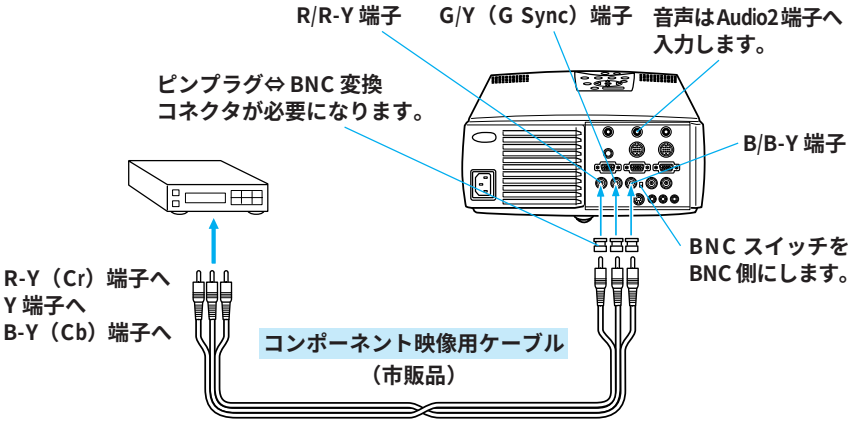
ポイント

- コンポーネント映像ケーブルは、市販品をご購入ください。プロジェクター側のコネクタはBNCタイプ、ビデオ機器側は、お使いのビデオ機器に合わせてください。
- ビデオ機器とプロジェクターは、次のように接続してください。

ビデオ機器	プロジェクター
R-Y（Cr）	R/R-Y
Y	G-RCG
B-Y（Cb）	B/B-Y

コンポーネント（色差*）映像信号を入力するとき

コンポーネント（色差）映像を投写するときは必ず、次ページの操作で「YCrCb」を選択してください。



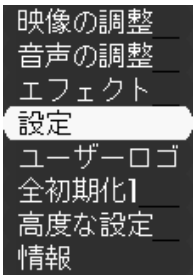
●BNC端子の入力モード設定(BNC)

BNC 端子を使うときの入力映像信号のモードを設定します。

ポイント

BNC スイッチ
参照8 ページ
ＢＮＣ ケーブルの接続
参照60 ページ

1 Menu ボタンを押し、表示されたメインメニューから本体の Sync＋、－ (リモコンの場合は Enter)ボタンで「設定」を選択します。



2 本体の Enter (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

3 本体の Sync＋、－ (リモコンの場合は Enter)ボタンで「BNC」を選択します。

4 本体の Tracking＋、－ (リモコンの場合は Enter)ボタンで、「YCrCb」を選択します。

RGB ：コンピュータ信号を使うとき
YCrCb ：ビデオ信号を使うときは

5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

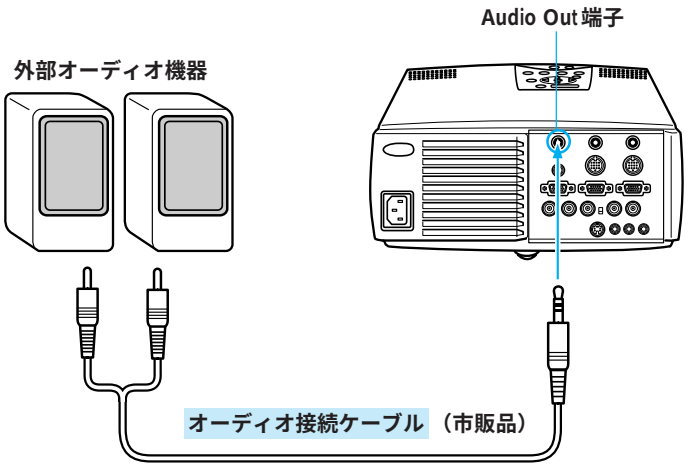
設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－ (リモコンの場合はEnter) ボタンでサブメニューを選択します。

外部オーディオ機器で音を出す

本機の「Audio Out」端子と PA システムやアクティブスピーカシステムなどのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
市販の オーディオ接続ケーブル（ピンプラグ）←→3.5mm（ステレオミニジャックプラグ） などを使用します。

ポイント

- 音声出力端子へピンプラグを入れると、音声は外部へ自動的に出力されます。このとき本体のスピーカから音声は出力されません。
- オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部形状をよく確認してからお買い求めください。
- 投写されている映像の音声が出力されます。



投写する

それでは、ビデオ機器からの映像を写してみましょう。

投写

電源ケーブルの接続は「コンピュータ映像を写す」→「投写する」をご覧ください。参照28 ページ

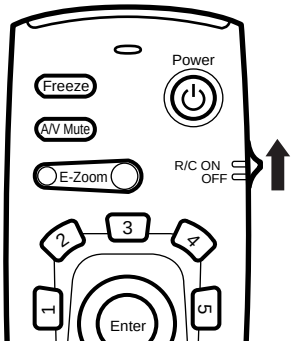
⚠警告

- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- 電源ケーブルは、付属品をご使用ください。付属品以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

1 リモコンのR/C ON OFFスイッチを「ON」にします。

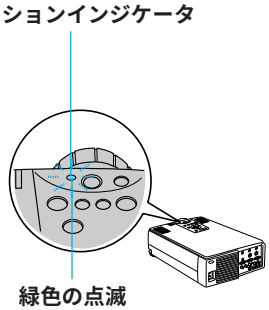


ポイント

約30秒後「オペレーションインジケータ」が緑の点滅から点灯に変ります。

2 **Power** ボタンを押し電源を入れます。

「オペレーションインジケータ」が緑に点滅し、投写が始まります。



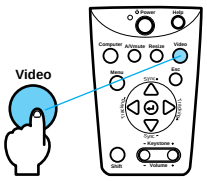
設定によっては「映像信号が入力されていません」と表示されます。

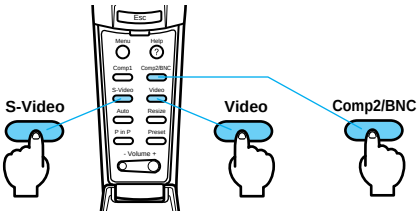
ポイント

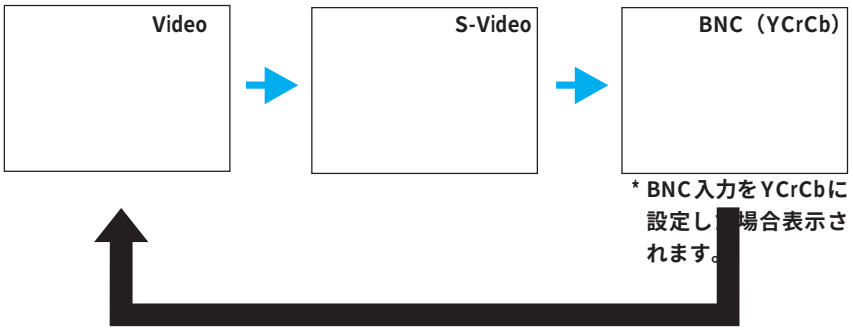
接続機器がビデオ機器だけの場合は、Videoボタンを押さなくても、ビデオ機器映像が投写されます。

3 Videoボタンを押し接続されている端子を選びます。

Videoボタンは1回押すごとにビデオ、Sビデオ, コンポーネントビデオ（BNC入力をYCrCbに設定した場合）の映像を切り替えます。（リモコンの場合は、Video S-Video またはComp2/BNCボタンで切り替えます。）







4 ビデオ機器の電源を入れ、投写を開始します。

ポイント

- 「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- DVDプレーヤーなどからワイドテレビ対応（16：9の映像）の信号を入力したときは、Resizeボタンを押してください。（Resizeボタンを1回押すごとに、4：3へ圧縮した映像と16:9のワイド映像が切り替わります。）

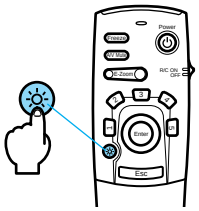
5 ビデオ機器の再生ボタンやPLAYボタンを押します。

「映像信号が入力されていません」の表示が消え、ビデオからの映像信号が投写されます。

リモコンのボタンを光らせる ☼（リモコンのみ）

リモコンのボタンを約 10 秒間光らせます。

1. **☼ボタンを押すとリモコンのイルミネーションが点灯します。**
（約 10 秒間、何も操作しないと消灯します。）



調整する

映像の調整

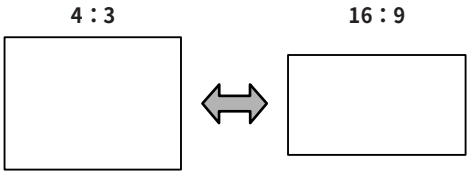
以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

・投写位置の調整　参照32 ページ
・スクリーンサイズ（ズーム）の調整　参照33 ページ
・フォーカス（ピント）の調整　参照33 ページ
・キーストーン補正　参照34, 35 ページ

画像の調整（本体およびリモコンのボタンでの調整）

●4:3の映像と16:9の映像を切り替える Resize

デジタルビデオで録画した映像や DVD 映像を 16：9 のワイド画面で投写できます。

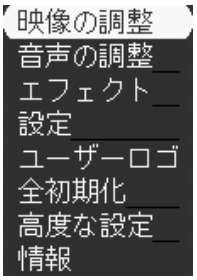


1回押すごとに切り替わります。

画像の調整（メニュー画面での調整）

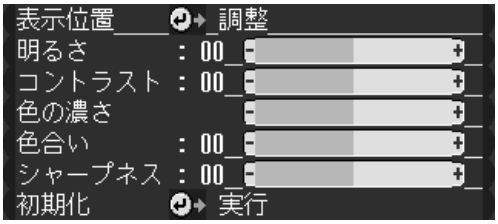
メニューを画面に表示することで、各種調整をおこなうことができます。

1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync+、−**（リモコンの場合は **Enter**）ボタンで「映像の調整」を選択します。



2 **本体の Enter（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。**

3 **本体の Sync+、−（リモコンの場合は Enter）ボタンで調整する項目を選択します。**



これ以降の調整は、

- 表示位置の調整（表示位置） 参照68 ページ
- 明るさの調整（明るさ） 参照68 ページ
- 色の明暗の差を調整（コントラスト） 参照69 ページ
- 色の濃さ調整（色の濃さ） 参照69 ページ
- 色合いの調整（色合い） 参照69 ページ
- 映像のシャープ感を調整（シャープネス） 参照70 ページ
- 出荷時の初期値に戻す（初期化） 参照71 ページ

を参照してください。

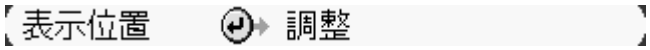
ポイント

コンポーネント（色差）映像信号のときはコンピュータ映像の調整メニューになります。
参照42 ページ

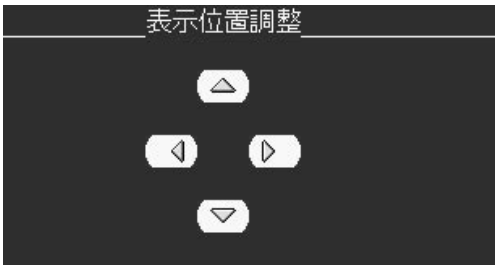
●表示位置の調整(表示位置)

映像の表示位置を上下、左右に移動します。

1. 本体の Enter (リモコンの場合は Enter ボタンで押してサブメニューを表示します。



2. 本体の Sync+、−、Tracking+、− (リモコンの場合は Enter) ボタンで映像の位置を調整します。



3. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

Esc ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

●明るさの調整(明るさ)

1. 映像を見ながら、本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter) ボタンで調整します。

＋：映像が明るくなります。
−：映像が暗くなります。

2. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、− (リモコンの場合は Enter) ボタンでサブメニューを選択します。

●色の明暗の差を調整（コントラスト）

1 映像を見ながら、本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで調整します。

＋：明暗の差が大きくなります。
−：明暗の差が小さくなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

●色の濃さ調整（色の濃さ）

ポイント
色の濃さ調整は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。

1 映像を見ながら、映像色を本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで調整します。

＋：色が濃くなります。
−：色が薄くなります。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

●色合いの調整（色合い）

ポイント
色合い調整は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。

1 映像を見ながら、色合いを本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで調整します。

−：緑色が強くなります。
＋：赤色が強くなります。

ポイント

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合はEnter）ボタンでサブメニューを選択します。

2 Menuボタンを押し、メニューを閉じます。

●映像のシャープ感を調整（シャープネス）

1 映像を見ながら、シャープ感を本体のTracking＋、－（リモコンの場合はEnter）ボタンで調整します。

＋：シャープ感が強くなり、映像がはっきりします。
－：シャープ感が弱くなり、映像がソフトになります。

ポイント

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合はEnter）ボタンでサブメニューを選択します。

2 Menuボタンを押し、メニューを閉じます。

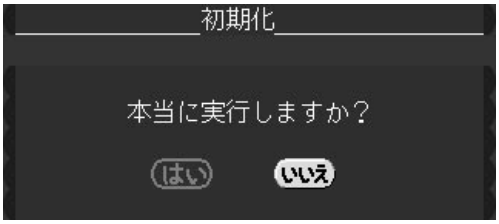
ポイント
- 出荷時の初期値は、118ページを参照してください。
- 映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

●出荷時の初期値に戻す（初期化）

映像の調整値を初期値に戻します。

1. 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2. 本体の [Tracking+、−]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
   - 「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
   - 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



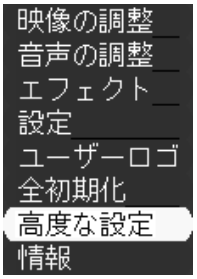
3. 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押して実行します。

4. [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync＋、−]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンでサブメニューを選択します。

●使用するビデオ信号方式設定（ビデオ信号方式）

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「高度な設定」を選択します。



2. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「ビデオ信号方式」を選択します。

4. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押しでサブメニューを表示します。

5. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、使用するビデオ信号方式選択します。

ポイント

Auto：自動的にビデオ信号を設定します。
（Autoを選択するとビデオ信号を自動判別しますが。PAL(60Hz)方式の場合は、Manualで設定してください。）

ポイント

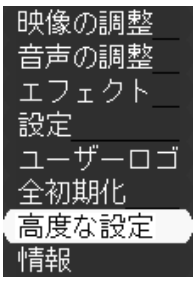
Esc ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

6 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●カラー設定の自動/手動調整（カラー設定）

映像の色温度 * を調整するときに使います。

1 Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「高度な設定」を選択します。



2 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）を押して決定します。

3 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「カラー設定」を選択します。

4 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、選択します。

- 「Auto」を選択」すると、自動的にカラーを調整します。手順7に進みます。
- 「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

5 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）を押して決定します。

ポイント

Esc ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

6 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで設定します。

押したボタンに合わせて黄色のバーが動き、数値が変化します。
＋：色温度が高くなります。（青が強くなります。）
－：色温度が低くなります。（赤が強くなります。

ポイント

Esc ボタンを押すと設定のサブメニューに戻ります。

7 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

音声の調整

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

・本体のボタンでの調整 参照51 ページ
・リモコンのボタンでの調整 参照51 ページ
・メニュー画面での調整 参照52 ページ

終了する

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

・終了する　参照56 ページ
・収納のしかた　参照58 ページ

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

プレゼンテーションを演出する

ワイヤレスマウスを使う 78
映像を部分拡大する 81
エフェクト機能を使う 82
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う 93
フリーズ機能を使う 95
ユーザーロゴを投写する 96
ヘルプ機能を使う 103

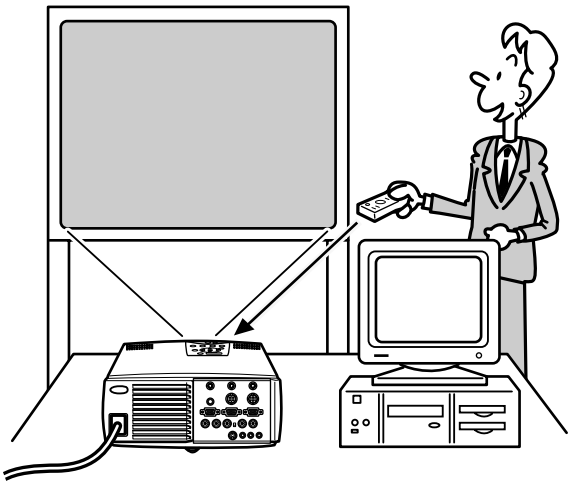
ワイヤレスマウスを使う

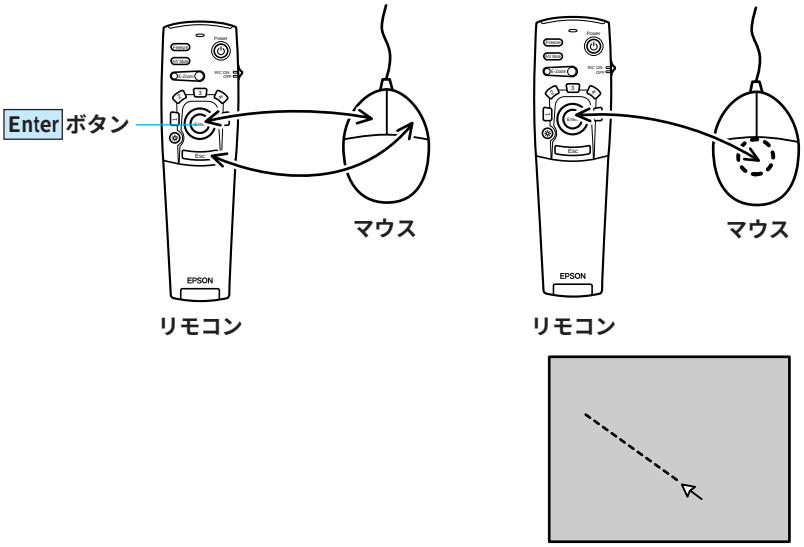
付属のリモコンで、離れた場所にあるコンピュータを操作できます。

- リモコンの Esc ボタンがマウスの右クリックボタンと、リモコンの Enter ボタンがマウスの左クリックと同じ働きをします。
- リモコンでマウス操作ができるため、スクリーン付近でのプレゼンテーションが一人でできます。

プレゼンター

一人でのプレゼンテーションが可能です





ポイント

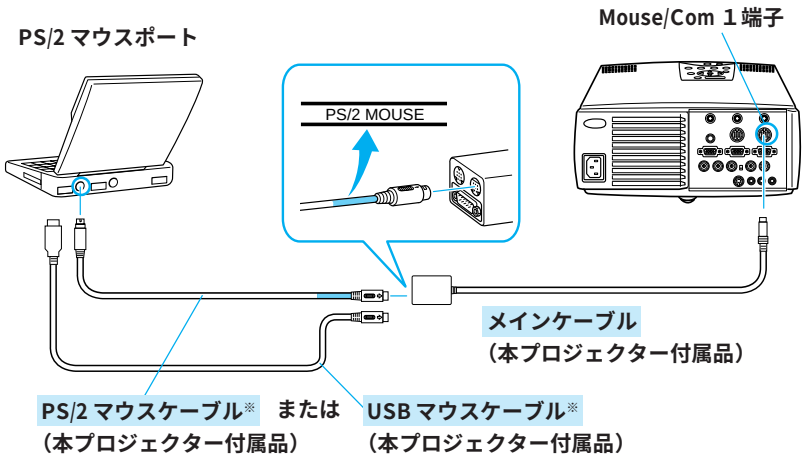
- コンピュータでマウスボタンの左右を変更したときは、右の図と操作が逆になります。
- エフェクト・PinP・Eズーム機能使用中はこの機能は使えません。
- ポインタの移動速度を変えることができます。

参照 91ページ

接続のしかた

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

⚠注意
電源が入ったまま接続すると、誤動作や故障の原因になります。



※ パソコンの USB* ポートが使えるときは、USB マウスケーブルを使用することができます。

Windows： USBインターフェイス標準搭載のWindows98プリインストールモデルのみ対応します。Windows3.1/95 から Windows98 へのアップグレード環境では、動作を保証いたしません。

Macintosh：USB インターフェイス標準搭載モデルのみ対応します。

* USBインターフェイスは、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

※ 接続しているコンピュータによりマウスケーブルを変えてください。

IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）のとき

・PS/2 マウスのとき ..... PS/2 マウスケーブルを使用

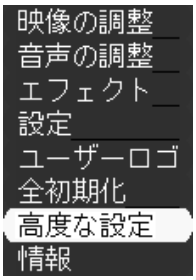
・シリアルマウスのとき ..... シリアルマウスケーブルを使用

Macintosh のとき ..... MAC マウスケーブルを使用

●コンピュータ制御端子設定(Mouse/Com)

Mouse/Com端子へ接続した2台のコンピュータでプロジェクターの制御をするとき、どちらのコンピュータで制御するかを選択できます。

1 Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体のSync+、−(リモコンの場合はEnter)ボタンで「高度な設定」を選択します。



2 本体のEnter(リモコンの場合はEnter)ボタンを押して決定します。

3 本体のSync+、−(リモコンの場合はEnter)ボタンで「Mouse/Com」を選択します。

ポイント
初期設定は1⇔2に設定されています。

4 本体のTracking+、−(リモコンの場合はEnter)ボタンで、選択します。

1 : Mouse/Com1に接続したコンピュータで制御できます。
2 : Mouse/Com2に接続したコンピュータで制御できます。
1⇔2 : 映像が選択されているコンピュータで制御できます。

5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync+、−(リモコンの場合はEnter)ボタンでサブメニューを選択します。

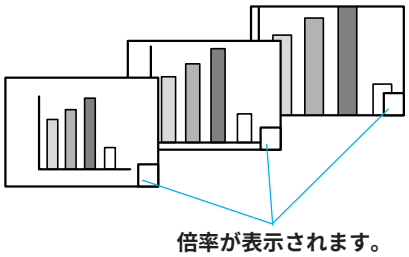
映像を部分拡大する

リモコンの E-Zoom ボタンでの拡大と縮小

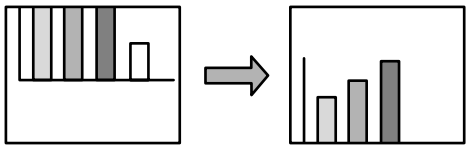
ポイント

1～4倍まで32段階の部分拡大/縮小ができます。

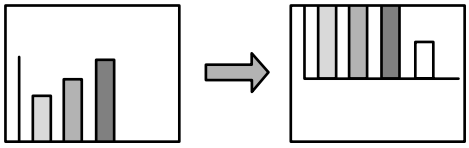
1 E-Zoom ボタンを押すと画面が拡大表示または縮小表示されます。
（ESC ボタンを押すと解除されます。）



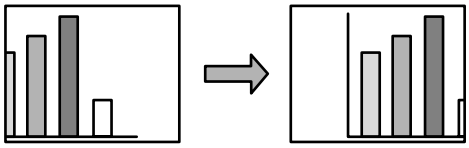
- Enter ボタンを上に倒すと、上方向にスクロールされます。



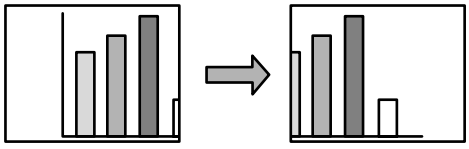
- Enter ボタンを下に倒すと、下方向にスクロールされます。



- Enter ボタンを左に倒すと、左方向にスクロールされます。



- Enter ボタンを右に倒すと、右方向にスクロールされます。



エフェクト機能を使う

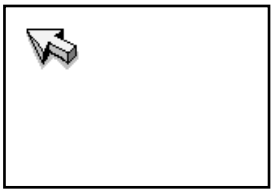
映像に装飾を付ける Effect（リモコンのみ）

リモコンの Effect1 ～ Effect4 ボタンを押すことにより、プレゼンテーション中の映像に装飾を付けることができます。（Esc ボタンを押すと、エフェクト機能は解除されます。）
装飾の設定は「エフェクト機能の詳細を設定する（エフェクトメニュー）」をご覧ください。
参照86ページ（もっと高度な装飾をしたいときは、付属の Projector Software をお使いください。）

ポイント
- Esc ボタンを押すとカーソルが消えます。
- Effect5 ボタンを押すと、装飾されたものが消えます。

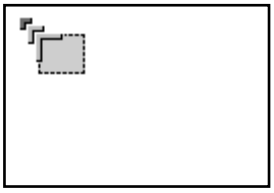
● Effect1 ボタン（カーソル/スタンプ）

1. Effect1 ボタンを押します。
2. リモコンの Enter ボタンで、カーソル/スタンプの位置を移動します。
3. Enter ボタンを押すと、カーソル位置にスタンプとして表示されます。



● Effect2 ボタン（四角）

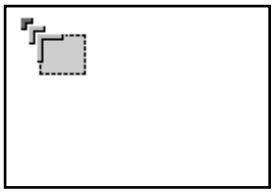
1. Effect2 ボタンを押します。
2. カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



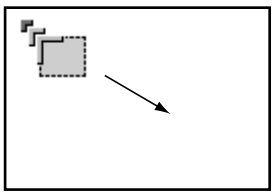
ポイント

Escボタンを押すと、始点の決定をキャンセルできます。

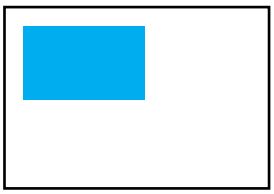
3 Enterボタンを押して始点を決定します。



4 カーソルをEnterボタンで終点まで移動します。

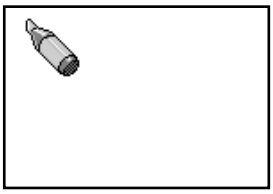


5 Enterボタンを押して終点を決定します。

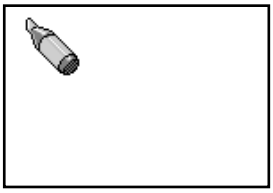


● Effect3 ボタン（マーカー）

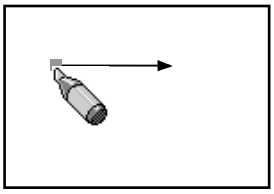
1. Effect3 ボタンを押します。
2. カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



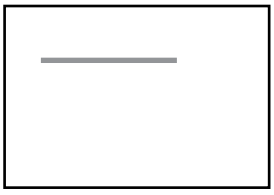
3. Enter ボタンを押して始点を決定します。



4. カーソルを Enter ボタンで終点まで移動します。



5. Enter ボタンを押して終点を決定します。

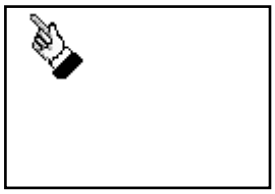


ポイント

Esc ボタンを押すと、始点の決定をキャンセルできます。

● Effect4 ボタン（フリーライン）

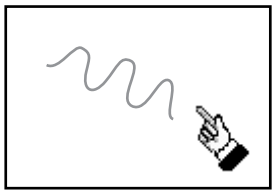
1. Effect4 ボタンを押します。
2. カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



ポイント

Esc ボタンを押すと、始点の決定をキャンセルできます。

3. Enter ボタンを押して決定し、押したまま Enter ボタンを倒すと、倒した方向にラインを描いていきます。



4. Enter ボタンを離すと描画は終了します。

● Effect5 ボタン（クリア）

1. Effect5 ボタンを押します。
   装飾された四角、マーカーなどが消えます。

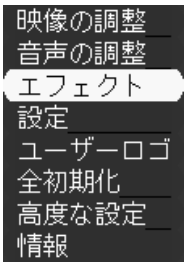
エフェクト機能の詳細を設定する（エフェクトメニュー）

リモコンの Effect 1 ～ Effect 4 ボタンに割り当てられている機能の詳細設定をすることができます。また、リモコンのポインタ移動速度を変えることができます。

ポイント

Effect1 と Effect4 ボタンには、最大 3 種類の機能を設定することができます。

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「エフェクト」を選択します。



2. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント

「ポインタ移動速度の設定」の場合は、手順 4 をおこなう必要はありません。

4. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押します。

これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- カーソル / スタンプの設定（カーソル / スタンプ） 参照 87ページ
- 四角の設定（四角） 参照 88ページ
- マーカーの設定（マーカー） 参照 89ページ
- フリーラインの設定（フリーライン） 参照 90ページ
- ポインタ移動速度の設定（ポインタ移動速度） 参照 91ページ
- 出荷時の初期値に戻す（初期化） 参照 92ページ

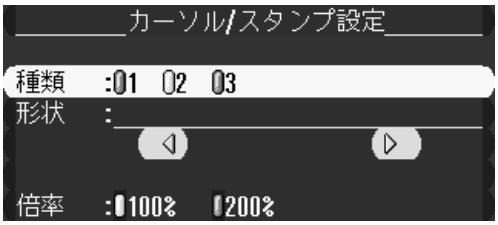
●カーソル/スタンプの設定(カーソル/スタンプ)

リモコンの Effect1 ボタンに割り当てられているカーソルスタンプ機能の詳細設定をします。

ポイント

Effect1 ボタンを押すごとに種類1→2→3→1の順に設定されたカーソル/スタンプを表示します。

❶ 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで、割り当てるカーソル/スタンプの種類を選択します。



❷ 本体の Sync+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで、バーを「形状」に移動します。

❸ Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンでカーソル/スタンプの形状を選択します。

❹ 本体の Sync+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで、バーを「倍率」に移動します。

ポイント

続けて Effect1 ボタンの設定をするときは、バーを「種類」に移動し手順❶からの操作をおこないます。

❺ 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンでカーソル/スタンプの表示倍率を選択します。

ポイント

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

❻ Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●四角の設定（四角）

リモコンの Effect2 ボタンに割り当てられている四角の色とトラック型の設定をします。

1. **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、バーを「色」に移動します。**

2. **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで色を選択します。**

3. **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、バーを「トラック型」に移動します。**

4. **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで選択します。**
   - ON ：カドを丸くします。
   - OFF：カドを丸くしません。

5. **Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。**

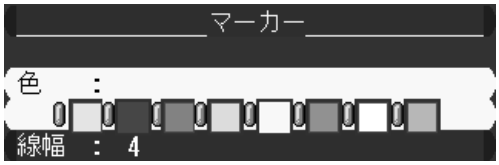
ポイント

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

●マーカーの設定（マーカー）

リモコンの Effect3 ボタンに割り当てられているマーカーの色と線幅の設定をします。

1. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、バーを「色」に移動します。



2. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで色を選択します。
3. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、バーを「線幅」に移動します。
4. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで線幅を2～32ドット（2ドットステップ）で選択します。
5. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

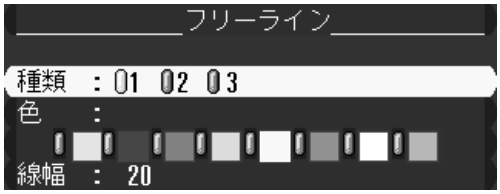
●フリーラインの設定（フリーライン）

リモコンの Effect4 ボタンに割り当てられているフリーライン描画機能の詳細設定をします。

ポイント

Effect4 ボタンを押すごとに種類1→2→3→1の順に設定されたカーソル/スタンプを表示します。

❶ 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで割り当てるフリーラインの種類を選択します。



❷ 本体の Sync+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、バーを「色」に移動します。

❸ 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで色を選択します。

❹ 本体の Sync+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、バーを「線幅」に移動します。

ポイント

続けて Effect4 ボタンに機能を割り当てるときは、バーを「種類に」移動し手順❶からの操作をおこないます。

❺ 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで線幅を2〜32ドット（2ドットステップ）で選択します。

ポイント

Esc ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

❻ Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

リモコンの Effect1 ボタンを押してポインタを表示させ、リモコンの Enter ボタンを動かして移動速度を確認してください。

●ポインタ移動速度の設定（ポインタ移動速度）

ポインタの移動速度を設定をします。

1. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、ポインタ移動速度設定します。

L：遅い
M：中間
H：速い

2. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

エフェクトの他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

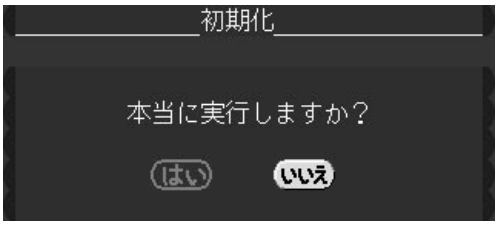
ポイント
- 出荷時の初期値は118ページを参照してください。
- 映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

●出荷時の初期値に戻す（初期化）

エフェクト機能の調整値を初期値に戻します。

1 **本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。**

2 **本体の [Tracking+、−]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。**
- 「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
- 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



3 **本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押して実行します。**

4 **[Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。**

ポイント
エフェクトの他のサブメニューを設定するときは、[Sync+、−]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンでサブメニューを選択します。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う

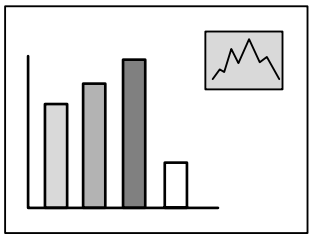
映像に子画面を表示する P in P（リモコンのみ）

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像を子画面として表示することができます。

ポイント

初期設定（初期化）時の表示は、次のようになります。
- 子画面のサイズ：320 × 240 ドット
- 親画面の入力映像：Computer
- 子画面の入力映像：Video

1 P in P ボタンを押します。
（もう一度 P in P ボタンを押すか、Esc ボタンを押すと解除されます。）

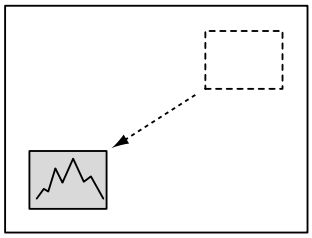


ポイント

子画面の位置変更とサイズ変更は、Enter ボタンを押す前におこないます。

●子画面の位置を変更する場合

1 Enter ボタンを倒すと、子画面が倒した方向に移動します。



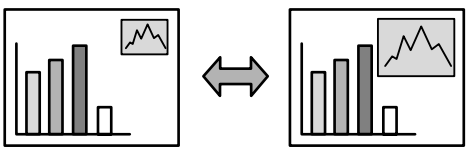
ポイント

子画面の大きさは、入力されているコンピュータ映像の解像度により異なります。
表示されるドット数は以下の通りです。

-1	240 × 180
0	320 × 240
+1	400 × 300
+2	480 × 360
+3	560 × 420

●子画面の表示サイズを変更する場合

1 E-Zoom ボタンを押すと、子画面が拡大または縮小されます。



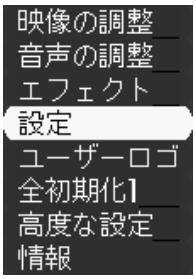
●子画面を決定する

1 Enter ボタンを押します。

●子画面の映像を変更する場合

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で表示する子画面の映像ソースを設定します。

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter ボタンで「設定」を選択します。



2. 本体の Enter（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter ボタンで「P in P」を選択します。

4. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter ボタンで子画面として使用する映像ソースを選択します。

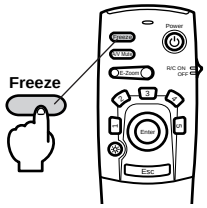
5. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

フリーズ機能を使う

動いている映像を一時的に停止する Freeze（リモコンのみ）

動いている映像（ビデオなどの映像）を一時的に停止させることができます。

1. **Freeze ボタンを押します。**
   （もう一度 Freeze ボタンを押すと解除されます。）



ユーザーロゴを投写する

A/V Mute* 時およびスタートアップ時に、ユーザーロゴを投写することができます。

映像と音声を一時的に消しユーザーロゴを投写する A/V Mute

音声と映像を一時的に消し、ユーザーロゴを投写する

ポイント

ユーザーロゴを投写するにはユーザーロゴの登録と設定が必要です。
参照 97, 100ページ

1 **A/V Mute ボタンを押します。**
（もう1度 A/V Mute ボタンを押すか、音量を調整すると解除されます。）

映像と音声を一時的に消したときの状態を変更することができます。「メニュー」→「設定」→「A/V Mute」で変更します。
参照 100 ページ

黒を選択したとき	青を選択したとき	ユーザーロゴを選択したとき
黒一色の映像になります。	青一色の映像（ブルーバック）になります	オリジナルロゴなどを投写できます

投写するユーザーロゴを編集する(ユーザーロゴメニュー)

現在表示されている映像をユーザーロゴとして使うことができます。

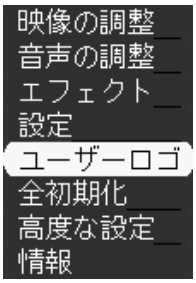
ポイント

- A/V ミュート時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」→「設定」→「A/V Mute」で「ロゴ」が選択されている必要があります。参照100ページ
- 電源オン時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」→「高度な設定」→「スタートアップスクリーン」で「ON」が選択されている必要があります。参照102ページ
- 映像信号が入力されていない時にユーザーロゴを表示するには、「メニュー」→「設定」→「メッセージ」で「ロゴ」が選択されている必要があります。参照107ページ

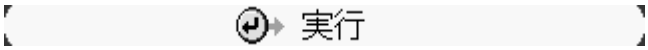
制限

映像信号が入力されていないときは、「はい」の選択はできません。

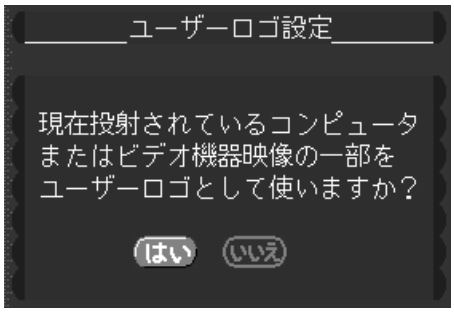
1. ユーザーロゴとして取り込みたい画面を表示します。
2. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「ユーザーロゴ」を選択します。



3. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押してサブメニューを表示します。



4. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンを動かして「はい」を選択します。

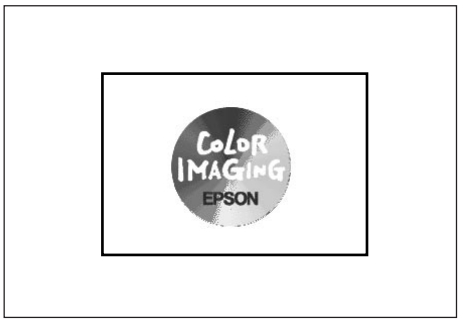


・ユーザーロゴとして使わないときは、「いいえ」を選択します。

5. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

ポイント
- 「映像として取り込めるサイズは400×300ドットです。
- ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。

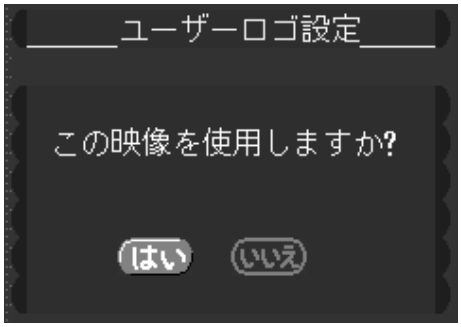
6 本体の Tracking+、− または Sync+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンを動かしてユーザーロゴとして使いたい位置を選択します。



7 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して位置を決定します。

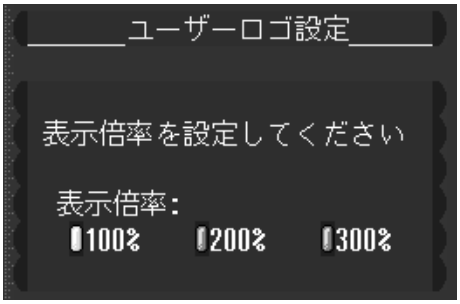
ポイント
「いいえ」を実行するとトップメニューに戻ります。

8 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで「はい」を選択します。



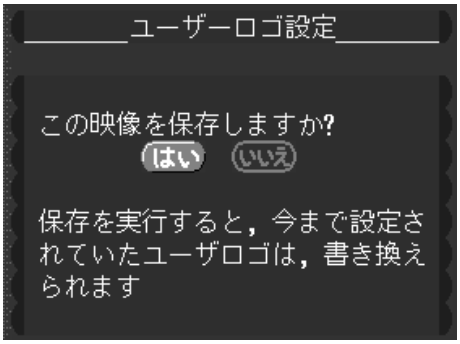
9 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

⑩ 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンをで「倍率」を選択します。



⑪ 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

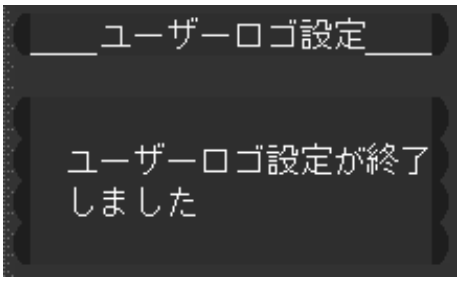
⑫ 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで「はい」を選択します。



ポイント
- 「いいえ」を実行すると保存しないでトップメニューに戻ります。
- 保存実行すると。今まで設定されていたユーザーロゴは復元できません。
- 保存にはしばらく時間がかかります。
- 保存中には砂時計が表示されます。
- 保存中はプロジェクターや接続している機器の操作は絶対にしないでください。故障の原因となります。

⑬ 本体の ↵(Enter) (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して実行します。

⑭ 保存が終了すると「ユーザーロゴの保存が終了しました」のメッセージが表示されます。



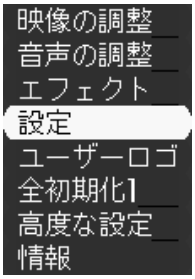
ポイント
Esc ボタンを押すと、トップメニューに戻ります。

⑮ Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●A/V Mute*時の画面設定（A/V Mute）

プレゼンテーション中に一時的に映像を消し発表者を注目させるときなどに使います。A/V Mute ボタンを押したときに有効になります。

1. **Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「設定」を選択します。**



2. **本体の Enter（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。**

3. **本体の Sync ＋、－（リモコンの場合は Enter ボタンで「A/V Mute」を選択します。**

ポイント

ロゴは「投写するユーザーロゴを編集する(ユーザーロゴメニュー)」をご覧ください。参照 97ページ

4 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、A/V Mute時の画面を選択します。

黒を選択したとき

黒一色の映像になります

青を選択したとき

青一色の映像（ブルーバック）になります

ロゴを選択したとき

オリジナルロゴなどを投写できます

ポイント

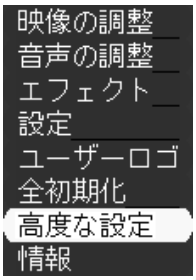
設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－）リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

●ウォームアップ時の映像設定(スタートアップスクリーン)

電源オン後、ウォームアップ状態時にユーザーロゴを約30秒間表示したいときに使います。

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync +、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで「高度な設定」を選択します。



2. 本体の Enter (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync +、− (リモコンの場合は Enter ボタンで「スタートアップスクリーン」を選択します。

4. 本体の Tracking+、− (リモコンの場合は Enter)ボタンで、選択します。

ON : 表示します。
OFF : 表示しません。

5. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− (リモコンの場合は Enter)ボタンでサブメニューを選択します。

ヘルプ機能を使う

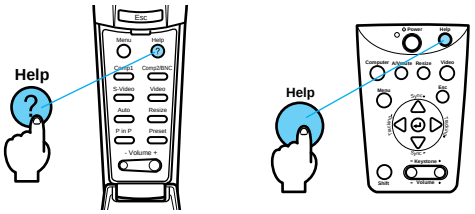
トラブルの解決方法を表示する Help

トラブル発生時の解決方法を、項目別に画面に表示することができます。困ったときにお使いください。

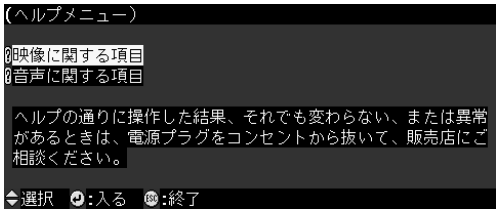
●映像のトラブルのとき

- 映像が表示されない

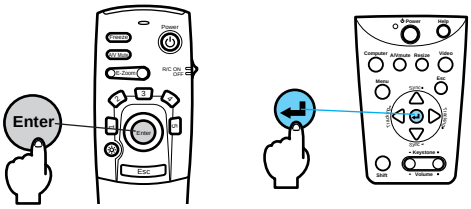
1 **Help ボタンを押すとヘルプを起動します。**
（もう一度 Help ボタンを押すと解除されます。）



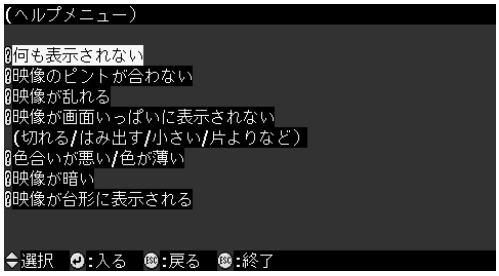
2 **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「映像に関する項目」を選択します。**



3 **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。**



4 **以下❷、❸の手順と同様に詳細項目を選択し、表示される内容に従って操作してください。**

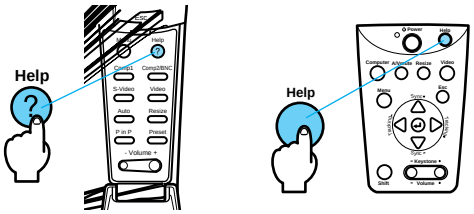


ポイント
Help 機能を使ってもわからないときは、本書「困ったときに」参照 143 ページをご覧ください。

●音声のトラブルのとき

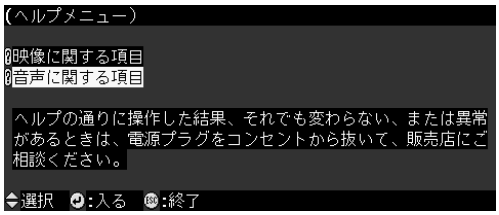
・音がでない
・小さい　　などのとき

1 **Help ボタンを押すとヘルプを起動します。**
（もう一度 Help ボタンを押すと解除されます。）

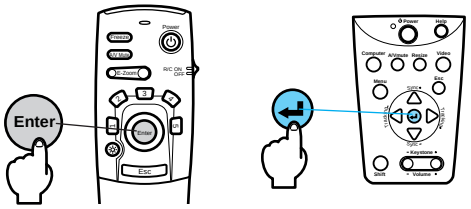


2 **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「音声に関する項目」を選択します。**

ポイント
Help 機能を使ってもわからないときは、本書「困ったときに」参照143ページをご覧ください。



3 **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。**



4 **以下❷、❸の手順と同様に詳細項目を選択し、表示される内容に従って操作してください。**

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

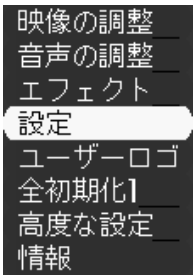
その他の設定

設定メニュー 106
高度な設定メニュー 111
情報メニュー 115
全初期化 117

設定メニュー

投写条件を変える

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「設定」を選択します。



2. 本体の (Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- 画面が台形に歪んだときの調整（キーストーン） 参照35 ページ
- 子画面の設定（P in P） 参照94 ページ
- 映像信号がない時の画面表示設定（メッセージ） 参照107ページ
- 入力機器を画面表示する / しないの設定（入力表示） 参照108ページ
- A/V Mute 時の画面設定（A/V Mute） 参照100ページ
- BNC 端子の入力モード設定（BNC） 参照26, 61ページ
- 映像信号がない時のパワーセーブ設定（DPMS） 参照109ページ
- 出荷時の初期値に戻す（初期化） 参照110ページ

●映像信号がないときの画面表示設定（メッセージ）

❶ 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。

OFF を選択したとき

メッセージは表示されません。

黒を選択したとき

黒地に「映像信号が入力されていません」
（言語が日本語のとき）と表示されます

青を選択したとき

青地に「映像信号が入力されていません」
（言語が日本語のとき）と表示されます

ロゴを選択したとき

オリジナルロゴなどを投写できます

ポイント

設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync＋、－（リモコンの場合はEnter）ボタンでサブメニューを選択します。

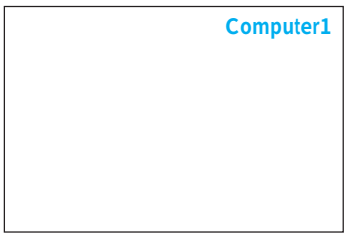
② Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

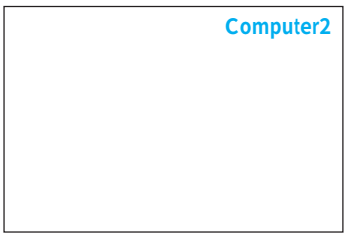
●入力機器を画面に表示する/しないの設定（入力表示）

現在の映像が、接続したどの機器のものかを表示させたいとき使います。

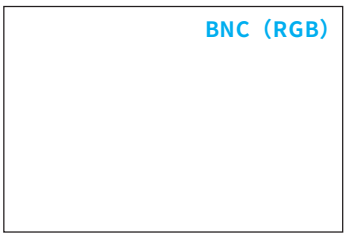
① **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。**

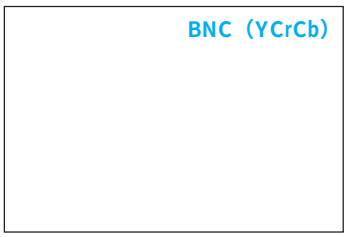
- 「ON」を選択すると、現在の画面がどの機器のものかを約 3 秒間表示します。
- 「OFF」を選択すると、入力機器の表示はしません。



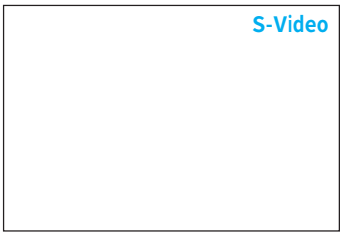


Computer1 端子または Computer2 端子に接続している機器の映像です。





BNC 端子に接続している機器の映像です。



Video 端子または S-Video 端子に接続している機器の映像です。

ポイント

設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− （リモコンの場合はEnter）ボタンでサブメニューを選択します。

② Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

- 映像を切り替えたときにも、ランプは自動的に点灯します。
- パワーセーブ状態中は、クールダウンが終了しても、ファンは回転します。

●映像信号がない時のパワーセーブ設定（DPMS）

コンピュータの省電力状態を感知して、自動的にランプを消灯します。コンピュータのマウス操作などで、省電力状態が解除され、映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。

① 本体のTracking+、−（リモコンの場合はEnter）ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

ON ： DPMS が有効
OFF ： DPMS が無効

ポイント

設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− （リモコンの場合はEnter）ボタンでサブメニューを選択します。

② Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

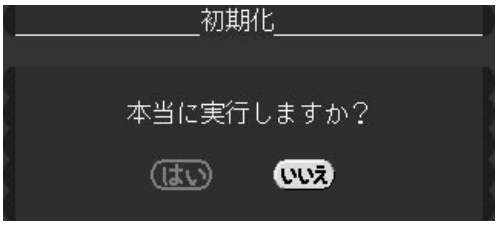
ポイント
- 設定のBNCは初期化されません。
- 出荷時の初期値は、118ページを参照してください。
- 映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

●出荷時の初期値に戻す（初期化）

設定機能の設定値を初期値に戻します。

1. 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2. 本体の [Tracking＋、－]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
   - 「はい」を実行すると、初期化を実行して初期値に戻ります。
   - 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



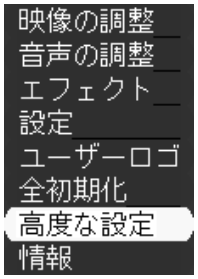
3. [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押して実行します。
4. [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント
設定の他のサブメニューを設定するときは、[Sync＋、－]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンでサブメニューを選択します。

高度な設定メニュー

メニューの言語や投写方法を変更する

1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「高度な設定」を選択します。



2. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して決定します。

3. 本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンでサブメニューを選択します。

これ以降は、以下の操作をおこなってください。

・メニューの言語の設定（言語） 参照112ページ
・ウォームアップ時の映像設定（スタートアップスクリーン） 参照102ページ
・カラー設定の自動 / 手動設定（カラー設定） 参照50, 73ページ
・使用するビデオ信号方式設定（ビデオ信号方式） 参照72 ページ
・リア投写時の設定（リア） 参照113ページ
・天吊り投写時の設定（天吊り） 参照113ページ
・コンピュータ制御端子設定（Mouse/Com） 参照80 ページ
・出荷時の初期値に戻す（初期化） 参照114ページ

●メニューの言語を設定（言語）

メニューの言語を変更したいとき使います。

・つぎの中から選択します。

日本語
English（英語）
Français（フランス語）
Deutsch（ドイツ語）
Italiano（イタリア語）
Español（スペイン語）
Portuguesa（ポルトガル語）
中文（中国語）

❶ 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。

❷ 使用する言語を本体の [Sync＋、－]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで、選択します。

❸ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

[Esc] ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

●リア投写時の設定（リア）

スクリーン後方から投写するとき使います。

1 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、「ON」を選択します。

ON ： 投写映像を左右反転します。
OFF ： 元に戻します。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

●天吊り投写時の設定（天吊り）

天井に取り付けて投写するときに使います。

1 本体の Tracking+、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンで、「ON」を選択します。

ON ： 投写映像を上下左右反転します。
OFF ： 元に戻します。

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、Sync +、− （リモコンの場合は Enter ）ボタンでサブメニューを選択します。

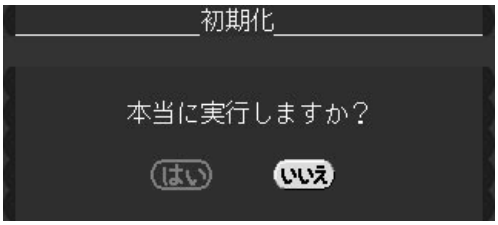
ポイント
- 出荷時の初期化および全初期化では、「言語」は初期化されません。
- 出荷時の初期値は、118ページを参照してください。
- 映像・音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

●出荷時の初期値に戻す（初期化）

高度な設定の調整値を初期値に戻します。

1. 本体の [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押してサブメニューを表示します。

2. 本体の [Tracking＋、－]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
   - 「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
   - 「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順4に進みます。



3. [↵(Enter)]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンを押して実行します。
4. [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

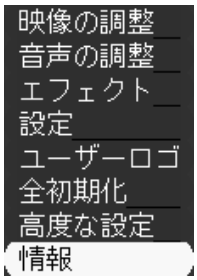
ポイント
高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、[Sync＋、－]（リモコンの場合は [Enter]）ボタンでサブメニューを選択します。

情報メニュー

ランプの累積使用時間や、投写映像の信号形式を見る

現在入力されている信号の種類やランプの累積使用時間を知ることができます。

1 Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「情報」を選択します。



●コンピュータ映像を選択しているとき

①ランプの累積使用時間を表示します。
②水平走査周波数を表示します。
③垂直走査周波数を表示します。
④同期の極性を表示します。
⑤同期の属性を表示します。
⑥入力解像度を表示します。
⑦リフレッシュレートを表示します。

●ビデオの映像を選択しているとき

①ランプの累積使用時間を表示します。
②ビデオの信号方式を表示します。（メニューでAutoに設定されているときは、「AUTO（NTSC）」と表示します。）

2 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

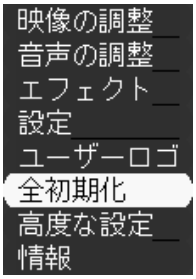
全初期化

調整値を初期設定（工場出荷時の値）に戻す

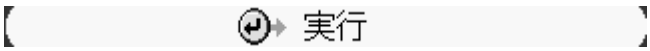
メニューの全設定を初期設定に戻します。（ユーザーロゴ、ランプ時間、言語、BNC は除く）

> ポイント
> 出荷時の初期値は、次ページを参照してください。

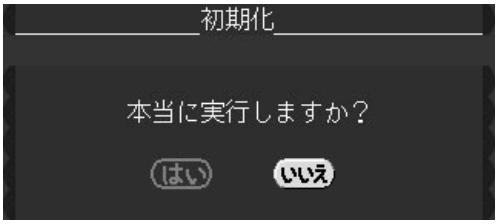
1. Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで、「全初期化」を選択します。



2. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押してサブメニューを表示します。



3. 本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
   - 「はい」を実行すると、全初期化を実行します。
   - 「いいえ」を実行すると、初期化を中止してトップメニューに戻ります。



4. 本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンを押して初期化を実行します。
5. Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

初期設定値一覧

メニュー	項目	初期設定値
映像 （コンピュータ）	表示位置　上下 左右	中心値 ↑
	トラッキング	接続信号による
	同期	0
	明るさ	中心値
	コントラスト	↑
	RGB（赤）	↑
	RGB（緑）	↑
	RGB（青）	↑
	シャープネス	↑
	入力解像度	AUTO
	プリセット	登録なし
映像 （ビデオ）	表示位置　上下 左右	中心値 ↑
	明るさ	中心値
	コントラスト	↑
	色の濃さ	↑
	色合い	↑
	シャープネス	↑
音声	音量	21
	高音	中心値
	低音	↑
	3D サウンド	3
エフェクト	カーソル / スタンプ	種類：1 形状： 倍率：100%
	四角	色：緑　トラック型：OFF
	マーカー	色：マゼンタ 線幅：4
	フリーライン	種類：1　色：赤 線幅：20
	ポインタ移動速度	M
設定	キーストーン	中心値
	P in P	コンポジット
	メッセージ	青
	入力表示	ON
	A/V Mute	黒
	BNC	RGB
	DPMS	OFF
高度な設定	言語	日本語
	スタートアップスクリーン	OFF
	カラー設定	Auto
	ビデオ信号方式	Auto
	リア	OFF
	天吊り	OFF
	Mouse/Com	1 ⇔ 2

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-7350/7250/5350

メニュー画面の操作

メニューを使う 120

メニューを使う

メニューを画面に表示することで、各種設定をおこなうことができます。

メニューの構成

ポイント

BNC 入力がコンポーネント(色差)映像信号のときは、「トラッキング」、「同期」、「入力解像度」「プリセット登録」の選択はできません。

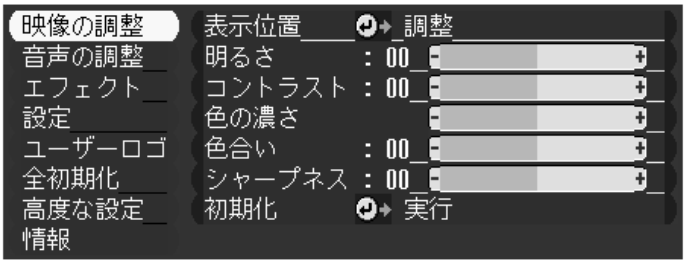
●映像の調整メニュー参照42, 67ページ

メニューは、コンピュータ映像を写しているときとビデオ映像を写しているときでは、サブメニューが異なります。

コンピュータ映像およびコンポーネントビデオ映像を入力しているとき

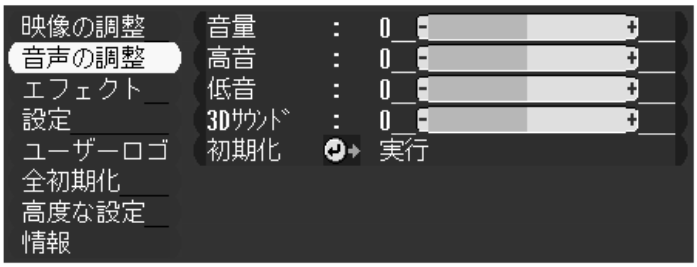
トップメニュー　　サブメニュー

ビデオ映像を入力しているとき



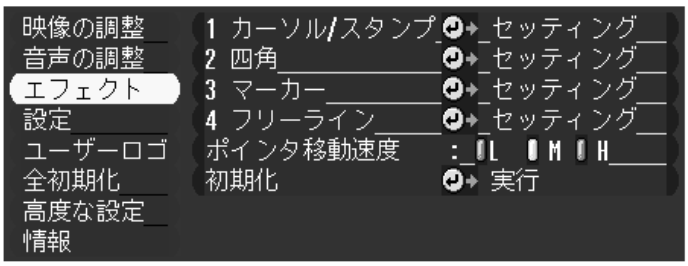
トップメニュー　　サブメニュー

●音声の調整メニュー　参照52ページ



トップメニュー　　サブメニュー

●エフェクトメニュー　参照86ページ



トップメニュー　　サブメニュー

●設定メニュー　参照106ページ

トップメニュー　　サブメニュー

●ユーザーロゴメニュー　参照97ページ

トップメニュー　　サブメニュー

●全初期化メニュー　参照117ページ

トップメニュー　　サブメニュー

●高度な設定メニュー 参照111ページ

トップメニュー　　サブメニュー

●情報メニュー 参照115ページ

情報メニューは、コンピュータ映像を写しているときとビデオ映像を写しているときでは、サブメニューが異なります。

コンピュータ映像およびコンポーネントビデオ映像を入力しているとき

トップメニュー　　サブメニュー

ビデオ映像を入力しているとき

トップメニュー　　サブメニュー

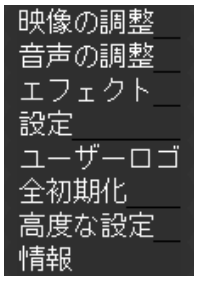
メニューの基本操作

メニューを使うときの基本的な操作です。

ポイント

ここではコンピュータ映像を写しているときの「高度な設定」の「カラー設定」を例にして説明しています。

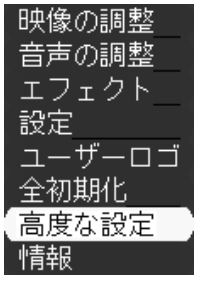
1 **Menu** ボタンを押し、トップメニューを表示します。



ポイント

選択されているメニューは、黄色のバーになります。

2 本体の **Sync+、−**（リモコンの場合は **Enter**）ボタンで「高度な設定」を選択します。



3 本体の **↵(Enter)**（リモコンの場合は **Enter**）ボタンを押して決定します。

黄色のバーがサブメニューに移動します。

❹ **本体の Sync＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「カラー設定」を選択します。**

❺ **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで「Auto」または「Manual」を選択します。**

- 「Auto」を選択すると、自動的にカラー調整します。手順❽に進みます。
- 「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

❻ **本体の ↵(Enter)（リモコンの場合は Enter）ボタンで決定します。**

❼ **本体の Tracking＋、－（リモコンの場合は Enter）ボタンで設定します。**

押したボタンに合わせてバーが動き、数値が変化します。

制限

- コンピュータ映像を投写しているときは、ビデオ映像メニューは調整できません。
- ビデオ映像を投写しているときは、コンピュータ映像メニューは調整できません。
- 映像信号が何も入っていないときは、コンピュータ映像・ビデオ映像ともに調整できません。

ポイント

- 他のメニューを設定するときは、Escボタンを押すとトップメニューに戻ります。
- 手順8の状態でMenuボタンで終了し、次にメニューを開いたときは、手順7の画面が表示されます。
- メニューを表示したまま、映像入力ソースを切り替えると、その入力ソースのメニューに自動的に切り替わります。

8 Menuボタンを押し、メニューを閉じます。

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

Projector Softwareを使う

はじめに 128
コンピュータとの接続 130
インストール 131

はじめに

CD-ROMの内容

Projector Software CD-ROM には以下のソフトウェアやユーティリティが収録されています。

●ELP LinkIV

プレゼンテーション支援ユーティリティELP LinkIVのインストールファイル一式が収録されています。

●PDFユーザーガイド

ELPLink IV の取扱いを説明した PDF ファイル一式が収納されています。

●Acrobat Reader

PDF ファイルを見るための Acrobat Reader のインストールファイル一式が収録されています。

ポイント

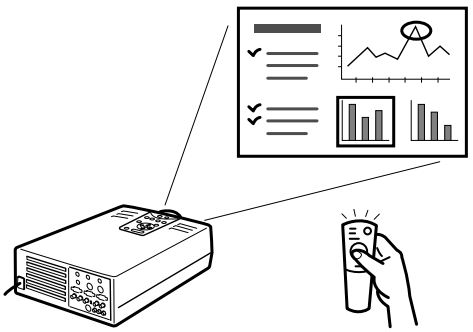
ELP Link IV、PDF ファイル、Acrobat Reader は、表示言語によって収録先フォルダが異なります。

ELP Link IV の概要

ELP Link IV の中には次の 2 つの機能が含まれています。

●装飾機能

プロジェクターに付属のリモコンを使用することで、様々な装飾効果をスクリーン上で実行することができます。

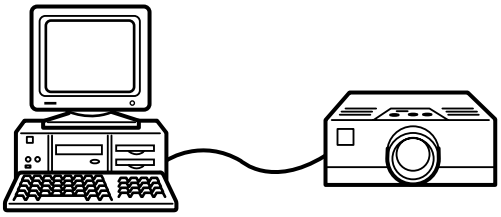


つぎの 11 つの機能で構成されています。

・直線　・スタンプ　・自由曲線
・楕円　・カーソル変更　・スポットライト
・四角　・サウンド　・画面クリア
・バー　・キー

●制御機能

接続したコンピュータから、プロジェクターの詳細な設定を実行することができます。



つぎの 4 つで構成されています。

プロジェクター制御

・コンピュータ映像調整　・オプション設定
・ビデオ映像調整　・カスタム設定
・音声調整

テストパターン設定

ユーザーロゴ設定

カラー特性設定

コンピュータとの接続

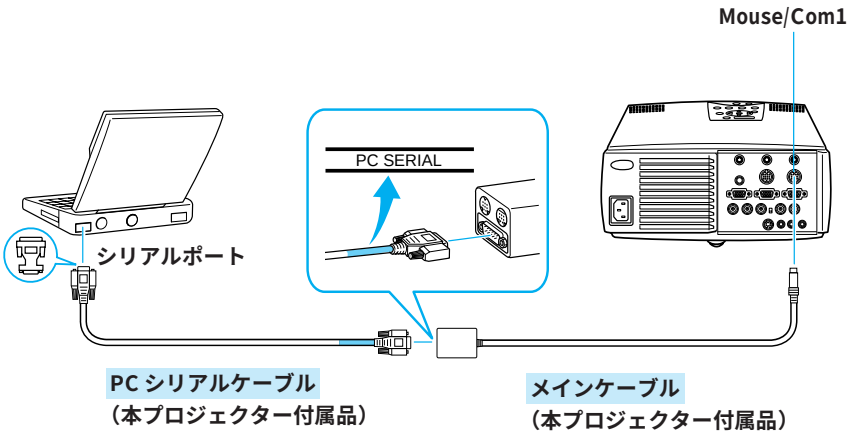
接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

ポイント

NEC PC98-NXシリーズまたはその互換機のときはコンピュータに付属または、市販品のアダプタ類が必要になることがあります。

●IBM PC/AT 互換機（DOS/V機）をお使いのかた
NEC PC98-NXまたはその互換機をお使いのかた

PC シリアルケーブルを使用します。

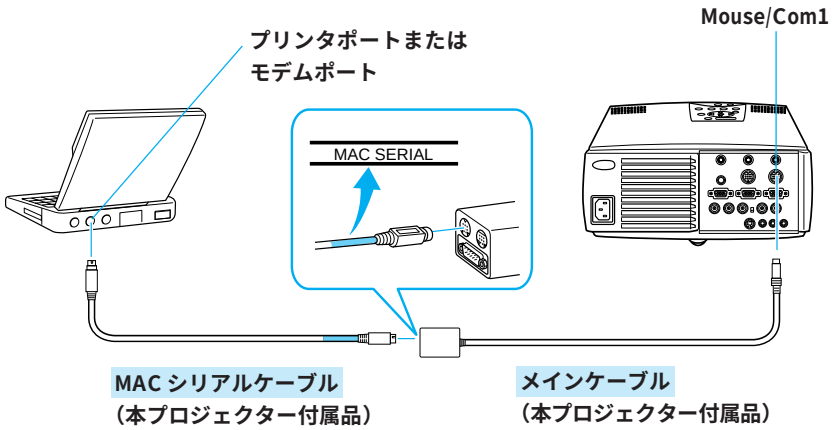


ポイント

- コンピュータケーブルはあらかじめ接続しておいてください。
- リモコンをワイヤレスマウスとして使うときは、マウスケーブルの接続をしておいてください。
参照79ページ

●Macintoshをお使いのかた

MAC シリアルケーブルを使用します。



インストール

動作環境

ここでは、CD-ROMをセットしてからインストールするプログラムを選択するまでの手順について説明します。

●Windowsの動作環境

Windows98/95	
動作可能コンピュータ	Windows95/98 が動作する NEC PC98-NX シリーズまたは DOS/V コンピュータ
搭載メモリ容量	16MByte 以上（Acrobat Reader 動作時 8MByte 増）
ハードディスク空き容量	・ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 6MByte 以上 ・Acrobat Reader 8MByte 以上
ディスプレイ	VGA（640x480）以上の解像度

WindowsNT4.0	
動作可能コンピュータ	WindowsNT4.0 が動作する NEC PC98-NX シリーズまたは DOS/V コンピュータ
搭載メモリ容量	16MByte以上（Acrobat Reader動作時16MByte増）
ハードディスク空き容量	・ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 6MByte 以上 ・Acrobat Reader 8MByte 以上
ディスプレイ	VGA（640x480）以上の解像度

●Macintoshの動作環境

Macintosh	
動作可能システム	Apple 漢字 Talk7.5.1 以上 Power Macintosh
主記憶メモリ空き容量	16MByte以上（AcrobatReader動作時22Mbyte以上）
ハードディスク空き容量	・ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 5MByte 以上 ・Acrobat Reader 8MByte 以上

Windowsへのインストール

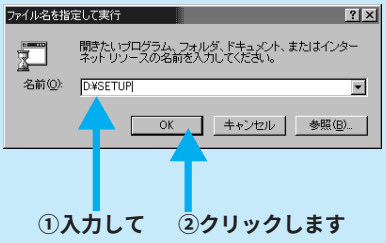
Windows98 でインストールした場合の画面を使用しています。

1. **コンピュータの電源をオンにし、Windowsを起動します。**
2. **CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**
3. **ELP Link IVのセットアッププログラムが自動起動します。リストボックスから「日本語」をクリックして選択します。**

上記の画面が自動的に表示されない場合

① **[ファイル名を指定して実行]ダイアログを開きます。**
タスクバーの スタート ボタンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

② **CD-ROMをセットした「ドライブ名」と「:\SETUP」を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。**



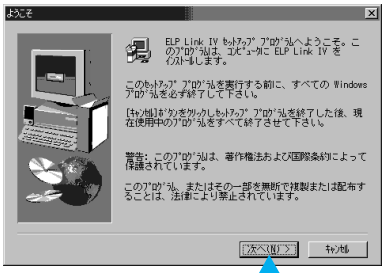
※画面はWindows98でCD-ROMをDドライブにセットした場合です。

ポイント

ELPLink IV を選択するとELPLink IVとELPLink PDFユーザーガイドがインストールされます。
Acrobat Readerをインストールしないと ELP Link PDFユーザーズガイドを見ることができません。

4 インストールするプログラムのチェックボックスをチェックし、**OK** ボタンをクリックします。

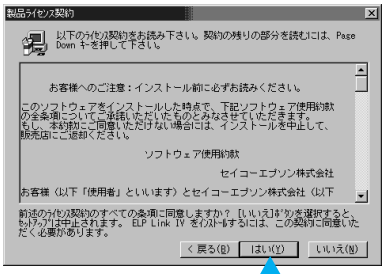
5 画面の内容をご確認の上、**次へ** ボタンをクリックしてください。



ポイント

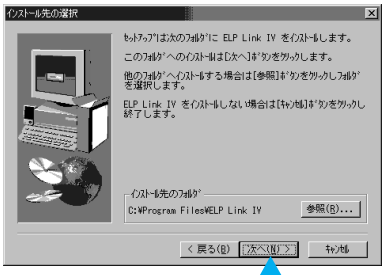
製品ライセンス約款について同意されない場合は **いいえ** をクリックしてください。インストールを終了します。

6 製品ライセンス約款をご確認のうえ、同意される場合は、**はい** ボタンをクリックします。



7 **次へ** ボタンをクリックします。
このダイアログには、ELP Link IVをインストールするときの注意事項が記載されています。必ず内容を確認してください。

8 **次へ ボタンをクリックします。**
インストール先を変更する場合は、参照 ボタンをクリックしてディレクトリを選択してください。



クリックします

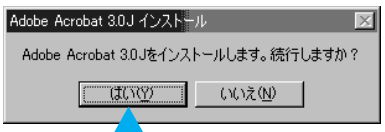
9 **次へ ボタンをクリックします。**
[プログラム] メニューに「ELP Link IV」フォルダを作成します。変更する場合は、任意の名称を入力するか一覧の中から選択してください。

クリックします

10 **完了 ボタンをクリックします。**
これで ELP Link IV のインストールは終了です。手順4で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、「Acrobat Reader」のインストールに進みます。

クリックします

11 **「Acrobat Reader」をインストールします。**
手順4で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、右の画面が表示されます。はい ボタンをクリックします。



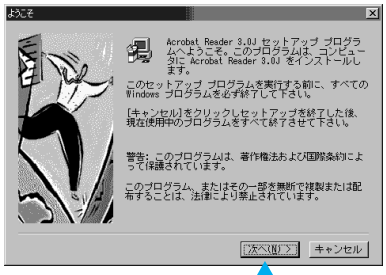
クリックします

ポイント

ELP LinkIV の起動方法、操作方法についての詳細は、PDF ユーザーズガイドをご覧ください。

参照 138 ページ

⑫ **次へ ボタンをクリックします。**



クリックします

後は、画面に従いインストールしてください。

Macintoshへのインストール

1. Macintoshを起動して、CD-ROMをコンピュータCD-ROMドライブにセットします。

2. ELP Link Installerアイコンをダブルクリックします。

ポイント

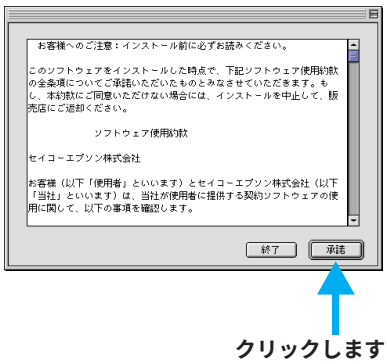
「日本語」が表示されていない場合、[⇕] をクリックし、表示されたプルダウンメニューから「日本語」を選択してください。

3. OK ボタンをクリックます。

ポイント

使用約款に同意されない場合は、終了 ボタンをクリックしてください。
インストールを終了します。

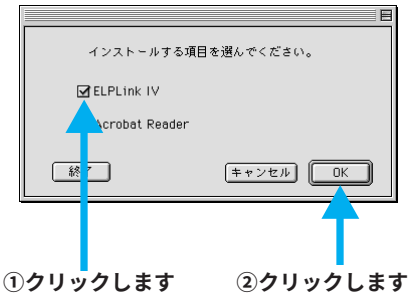
4. 使用約款をご確認いただき 承諾 ボタンをクリックします。



ポイント

ELP Link IVを選択するとELP Link IV と ELP Link PDF ユーザーガイドがインストールされます。
Acrobat Readerをインストールしないと ELP Link PDFユーザーズガイドを見ることができません。

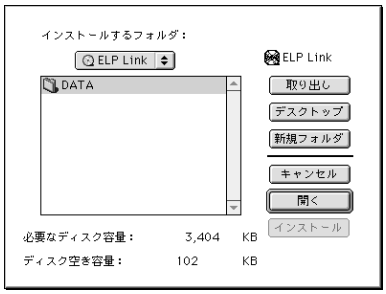
5. インストールする項目をチェックしてマークを付け OK ボタンをクリックします。



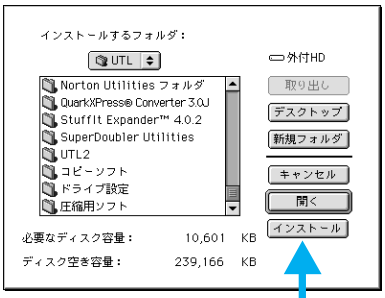
ポイント

新規にフォルダを作る場合は、新規フォルダボタンをクリックし、表示された画面でフォルダの名称を入力します。
新規にフォルダを作らない場合は、「ELP Link lV」のフォルダを自動的に作成します。

❻ インストール先のドライブおよびフォルダを選択します。



❼ インストール ボタンをクリックします。
インストールが始まります。



クリックします

❽ 「Acrobat Reader」をインストールします。
手順❺で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、右の画面が表示されます。
続行 ボタンをクリックします。

クリックします

後は画面に従いインストールしてください。

PDFユーザーズガイドとAcrobat Reader

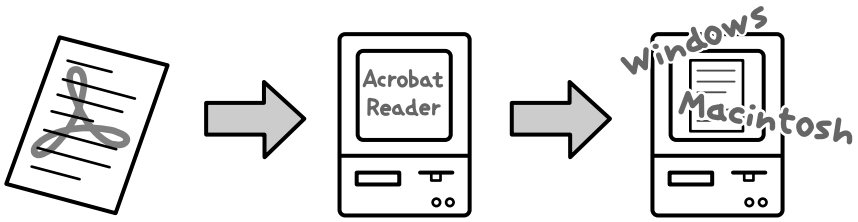
ELP Link IV の取り扱いについてはPDFユーザーズガイドをご覧ください。PDFユーザーズガイドを表示させるためには Adobe Acrobat Reader が必要です。

ポイント

「Adobe Acrobat Reader」がインストールされていないときは、「Adobe Acrobat Readerのインストール」を参照してください。
参照139ページ

●PDFファイルとAdobe Acrobat Readerについて

CD-ROM に収録されているオンラインマニュアルは、PDF（Portable Document Format）というファイル形式で作成されています。このPDFファイルを開くためには、「Adobe Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。



PDF ファイルは　Acrobat Reader を使用して　表示させます。

ポイント

PDFユーザーズガイドをお読みになる際は、Windows98/95/NT4.0、Macintoshをご利用になるか、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

●ご注意

Adobe Acrobat Readerの取り扱いにつきましては、Adobe社の使用約款に準じます。Acrobat Readerをインストールされる場合は、インストール時に表示される使用約款をよくお読みくださいますようお願いいたします。

ポイント

Acrobat Readerのバージョンが古い場合、PDFマニュアルが正確に表示されないことがありますので、同梱のAcrobat Readerをインストールされることをお薦めします。

●Acrobat Readerのインストール

すでにインストールされている場合は、この操作は不要です。
「インストールの手順」（Windows へのインストール手順❹、Macintosh へのインストール手順❺）の画面で ELP Link IV のチェックマークをはずし、「Adobe Acrobat Reader」をチェックし、OK ボタンをクリックします。この後は、画面の指示に従いインストールしてください。

●PDFユーザーズガイドの見かた

ここでは、PDF ユーザーズガイドファイルの開き方を説明します。ファイルを開く前にAcrobat ReaderとPDFユーザーズガイドがインストールされているかご確認ください。

Windows98/95/NT4.0

タスクバーの スタート ボタンをクリックし、表示されたポップアップメニューで［プログラム］-［ELP Link IV］にカーソルを合わせ、［User's Guide］をクリックします。

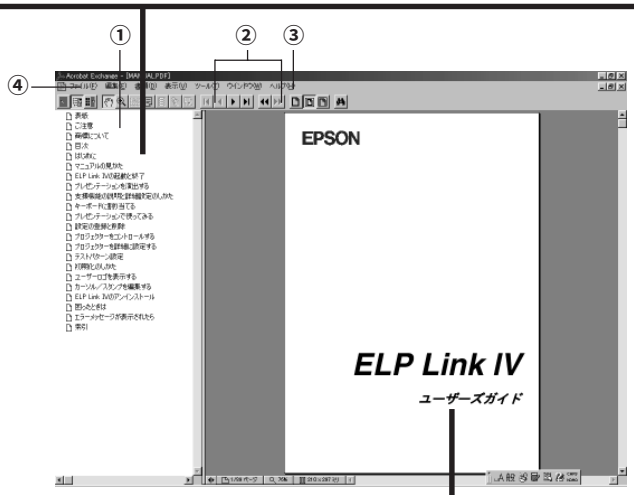
Macintosh

「ELP Link IV］」フォルダ内の「User's Guide」アイコンをダブルクリックします。

●Acrobat Readerの使い方

ここでは、Acrobat Readerの基本的な使い方を説明します。Acrobat Readerの詳細は、オンラインヘルプかAdobe社のホームページをご覧ください。
(http://www.adobe.co.jp)

確認したいページをクリックすれば、右側の画面表示がそのページへジャンプします。



ポインタのマークが変わる場所は、関連したページなどへのリンクが貼ってあります。クリックすれば、そのページへジャンプします。

①しおりとページ	ボタンをクリックすると、目次を表示します。 みたいページをクリックすると、右側の画面表示がそのページにジャンプします。
②表示切り替え	開始ページを表示します。前ページを表示します。 次ページを表示します。最終ページを表示します。
③ヘルプ	オンラインヘルプを表示するほか、インターネットに接続されている場合は、Adobe社のホームページの表示やユーザー登録などが実行できます。Acrobat Readerに関する詳細はこちらをご利用ください。
④印刷	表示されているマニュアルを印刷する場合は「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

●付録

◎各プログラムを「エクスプローラ」を使って直接インストールまたは起動するには

ELP Link IV のインストール

Windows　[DATA] - [Japanese] - 「Setup.exe」をダブルクリックします。

Macintosh　[DATA] - [Japanese] フォルダ内の [ELP Link4] フォルダをハードディスクへコピーします。

Acrobat Reader のインストール

Windows　[DATA] - [Japanese] - [AR] - [Win95] または [WinNT] フォルダ内の「Ar32j30.exe」をダブルクリックします。

Macintosh　[DATA] - [Japanese] - [AR] の「Installer」アイコンをダブルクリックします。

●プログラムのアンインストール

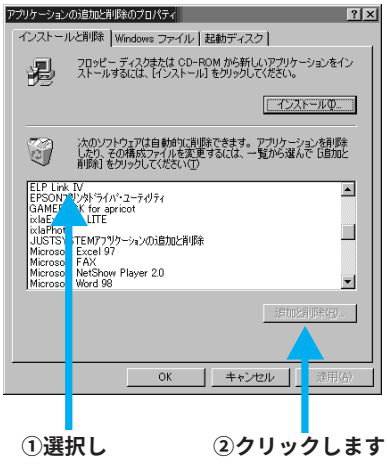
ELP Link IV をコンピュータから削除するときは、つぎの操作をおこないます。

Windows

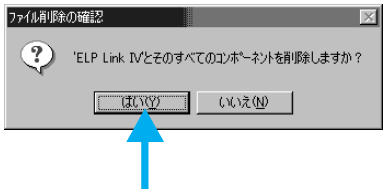
1 [マイコンピュータ] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] の順に選択します。

2 「ELP Link IV」をクリックし、[追加と削除] ボタンをクリックします。

「ファイル削除の確認」のダイアログボックスが表示されます。

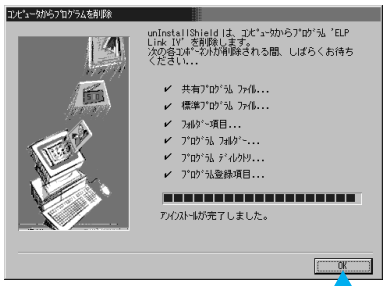


3 **はい** ボタンをクリックします。
アンインストールが始まります。



クリックします

4 アンインストールが終了したら
OK ボタンをクリックします。



クリックします

5 **OK** ボタンをクリックします。

クリックします

Macintosh

1 「ELPLink4」フォルダを「ごみ箱」にドラッグします。

2 「システム」フォルダ-「初期設定」フォルダの順に選択します。

3 「初期設定」フォルダ内の[ELPLink4]を「ごみ箱」にドラッグします。

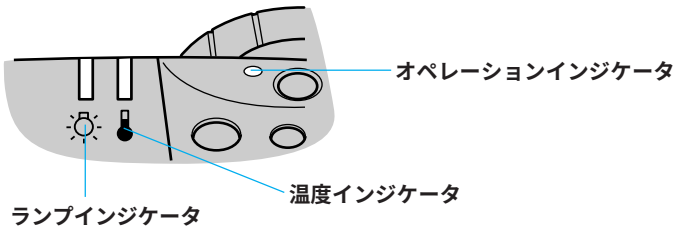
マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

困ったときに

故障かなと思ったら 144
インジケータを見てもわからないとき 146

故障かなと思ったら

**故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本プロジェクターには「オペレーションインジケータ」「ランプインジケータ」「温度インジケータ」があり、プロジェクターの状態を知らせています。**



オペレーションインジケータ

インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
オレンジ色に点灯	**スタンバイ状態です**	**（異常ではありません）** ・Power ボタンを押すと投写を開始します。	56
オレンジ色に点滅	**クールダウン中です**	**（異常ではありません）** ・そのまましばらくお待ちください。クールダウン*の時間は外気温等によって変わります。 ・クールダウン（ランプを冷やす動作）中は Power ボタンは操作できません。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	56
緑色に点灯	**投写中です**	**（異常ではありません）**	29
緑色に点滅	**ウォームアップ中または、ランプが一時消灯中です**	**（異常ではありません）** ・そのまましばらくお待ちください。ウォームアップの時間は約30秒間です。 ・ウォームアップ終了後、緑色の点滅が点灯に変わります。 ・映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。	29 109
赤色に点灯	**内部に異常があります**	・ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
消灯	**電源が入っていません**	**電源が入っていません** ・ランプの交換をおこなった場合は、ランプやランプカバーが確実 に取り付けられているか確認してください。ランプ及びランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。 ・電源ケーブルの接続を確認してください。 ・コンセントの電源を確認してください。	158 28 28

ランプインジケータ

インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
赤色に点滅	**ランプに異常が発生しています**	・新しいランプ(ELPLP09)と交換してください。 ・ランプが割れている場合は、破片でけがをしないように取り扱いに注意し、エプソンサービスセンターに修理を依頼してください。(交換しないと映像を投写することはできません。)	158
オレンジ色に点滅	**ランプの交換時期が近づいています**	・そろそろ新しいランプの用意をしてください。使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。	158
消灯		(異常ではありません) ・電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

温度インジケータ

インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	**内部が高温になっています** (オーバーヒート)	・本プロジェクターの使用温度範囲は5℃～40℃ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 ・吸気口・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 ・エアーフィルタの掃除をしてください。 ・赤色の点灯中は、内部温度を下げるためランプを消灯させてください。	173 161
赤色に点滅	**内部に異常があります**	・ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
オレンジ色に点滅	**高速冷却中**	(異常ではありませんが、更に高温になると投写を自動的に停止させます。) ・本プロジェクターの使用温度範囲は5℃～40℃ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 ・吸気口・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 エアーフィルタの掃除をしてください。	173 161
消灯		(異常ではありません) ・電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

ポイント

・インジケータは正常なのに投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご参照ください。

・各インジケータがこの表にない状態のときは販売店にお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

- 映像が写らない 参照146 ページ
- 映像が汚い 参照148 ページ
- 映像が切れる / 小さい 参照150 ページ
- 映像の色が悪い 参照151 ページ
- 映像が暗い 参照151 ページ
- 音がでない 参照152 ページ
- リモコンで操作ができない 参照153 ページ
- 終了しない 参照153 ページ
- ELP LinkIV が動作しない 参照154 ページ

映像が写らない

●何も表示されない

何も表示されない

●レンズキャップが付いたままではありませんか？

参照「投写する」28, 63 ページ

●電源を OFF にしてすぐ ON にしませんでしたか？

投写終了後（クールダウン中）は Power ボタンの操作はできません。クールダウン* が終了してから Power ボタンの操作が有効となります。

参照「終了する」56 ページ

●DPMS をオンにしていませんか？

DPMS を ON に設定した場合、映像信号が入らない状態になると、ランプが自動的に消灯します。マウス操作などで、省電力状態を解除してください。

参照「映像信号がない時のパワーセーブ設定」109 ページ

●［Power］ボタンを押しましたか？

参照「投写する」28, 63 ページ

●映像の明るさは正しく調整されていますか？

参照「明るさの調整」44, 68 ページ

●［A/V Mute］モードになっていませんか？

参照「映像と音声を一時的に消しユーザーロゴを投写する」96 ページ

●初期化してみてください。

参照「調整値を初期設定（工場出荷時の値）に戻す」117 ページ

●メッセージが出る

「この信号は本プロジェクターでは受けられないタイプです」と表示される

●コンピュータから出力されている映像信号の解像度がUXGA（1,600x1,200）より上になっていませんか？

参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21ページ

●コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更 は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。

参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21ページ

「映像信号が入力されていません」と表示される

●ケーブル類が正しく接続されていますか？

参照「コンピュータとの接続」23ページ、
「ビデオ機器との接続」60ページ

●接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？

本体の Computer または Video （リモコンの場合は Comp1 、Comp2/BNC 、Video または S-Video ）ボタンを押し、映像を切り替えてください。

参照「投写する」28, 63ページ

●接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？

参照「投写する」28, 63ページ

●接続されたコンピュータまたはビデオ機器から映像信号は出力されていますか？

●5BNC入力していて「メニュー」→「設定」→「BNC」の設定が「YCrCb」になっていませんか？

「RGB」にしてください。

参照「BNC端子の入力モード設定」26ページ

●ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。

通常は映像信号がLCD画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。

外部に映像信号を出力すると、LCD画面に映像が出せないモデルもあります。

接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などをよくご覧ください。

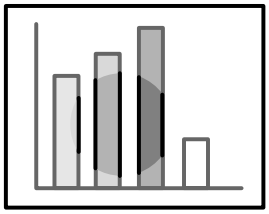
参照「ノートタイプや液晶一型タイプの設定」30ページ

●「コンポーネントビデオ（色差）」入力していて「メニュー」→「設定」→「BNC」が「RGB」になっていませんか？

「YCrCb」にしてください。

参照「BNC端子の入力モード設定」61ページ

映像が汚い



・画像がぼやける
・映像の一部しかピントが合わない

●ピントは正しく調整されていますか？

参照「フォーカス（ピント）の調整」33 ページ

●投写距離は最適ですか？

投写距離の推奨範囲は、1.2m～16.4m（ELP-7350/7250）、1.2m～16.7m（ELP-5350）です。この範囲で設置してください。

参照「スクリーンサイズと投写距離について」17 ページ

●レンズが汚れていませんか？

参照「レンズの掃除」156 ページ

●投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？

参照「設置時の注意」14 ページ

●レンズが結露していませんか？

寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがありますが、しばらくすると通常の映像に戻ります。

●「同期 * ・トラッキング * ・表示位置」の調整をしてみましたか？

本体の Tracking ボタン・ Sync ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

参照「画像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」36, 44 ページ、「映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」36, 43 ページ、「表示位置の調整」43, 68 ページ

●映像の信号形式の設定は合っていますか？

- コンピュータ映像の場合

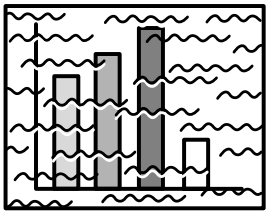
「メニュー」→「映像の調整」→「入力解像度」を開き、映像メニューを選択し、信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できないことがあります。

参照「入力解像度の設定」46 ページ

- ビデオ映像の場合

「メニュー」→「高度な設定」→「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。

参照「使用するビデオ信号方式設定」72 ページ



・画像が乱れる
・ノイズが入る

●ケーブルは正しく接続されていますか？

参照「コンピュータとの接続」23 ページ、
「ビデオ機器との接続」60 ページ

●解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

参照「接続できるコンピュータの対応表」21 ページ

●「同期*・トラッキング*・表示位置」の調整をしてみましたか？

本体の Tracking ボタン・ Sync ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

参照「画像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」36, 44 ページ、
「映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」36, 43 ページ、
「表示位置の調整」43, 68 ページ

●映像の信号形式の設定は合っていますか？

- コンピュータ映像の場合

「メニュー」→「映像の調整」→「入力解像度」を開き、映像メニューを選択し、信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できないことがあります。

参照「入力解像度の設定」46 ページ

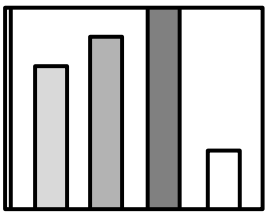
- ビデオ映像の場合

「メニュー」→「高度な設定」→「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。

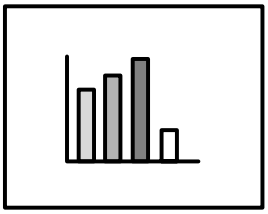
参照「使用するビデオ信号方式設定」72 ページ

●ケーブルを延長していませんか？

映像が切れる大きい/小さい



・映像が切れる
・小さい



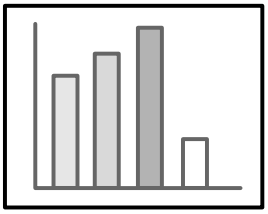
●**「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。**
「Resize」ボタンを押してください。
参照「入力映像をそのまま見たいとき」38, 40 ページ

●**「表示位置」の調整をしてみましたか？**
「メニュー」→「映像の調整」→「表示位置」を開き、調整してください。
参照「表示位置の調整」43, 68 ページ

●**解像度の選択は正しいですか？**
本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。
参照「接続できるコンピュータの対応表」21 ページ

●**ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。**
LCDいっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。
参照「ノートタイプや液晶一体型タイプの設定」30 ページ

映像の色が悪い



●**映像の明るさは正しく調整されていますか？**
参照「明るさの調整」44, 68 ページ

●**ケーブル類が正しく接続されていますか？**
参照「コンピュータとの接続」23 ページ、
「ビデオ機器との接続」60 ページ

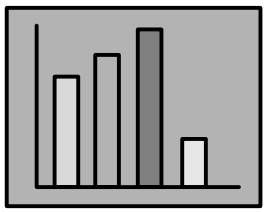
●**コントラスト * は正しく調整されていますか？**
参照「色の明暗の差を調整」45, 69 ページ

●**カラーは正しく調整されていますか？**
参照「色の強さ調整」45 ページ

●**色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？**
（コンピュータのモニタや LCD への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。）
参照「色の濃さ調整」69 ページ、
「色合いの調整」69 ページ

●**ランプの交換時期ではありませんか？**
ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。
参照「ランプの交換」158 ページ

映像が暗い

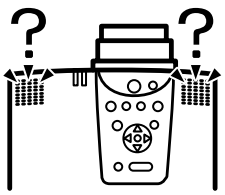


●**ランプの交換時期ではありませんか？**
ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。
参照「ランプの交換」158 ページ

●**映像の明るさは正しく調整されていますか？**
参照「明るさの調整」44, 68 ページ

●**コントラストは正しく調整されていますか？**
参照「色の明暗の差を調整」45, 69 ページ

音が出ない



●音声入力は正しく接続されていますか？

参照「コンピュータの音声をプロジェクターから出す」24 ページ、「外部オーディオ機器で音を出す」27, 62 ページ

●音声出力は正しく接続されていますか？

参照「コンピュータの音声をプロジェクターから出す」24 ページ、「外部オーディオ機器で音を出す」27, 62 ページ

●音声を出したい映像が選択されていますか？

参照「投写する」28, 63 ページ

●音量調整が最小になっていませんか？

参照「音声の調整」51, 53 ページ

●「A/V Mute」が ON のままではありませんか？

「A/V Mute」モードになっていることが考えられます。

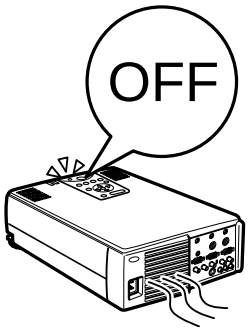
A/V Mute ボタンまたは本体の Shift ＋ Volume（リモコンの場合は、Volume ボタン）を押して「Mute」を解除してください。

参照「映像と音声を一時的に消しユーザーロゴを投写する」96ページ

リモコンで操作ができない

- **リモコンのR/C ON OFFスイッチが「ON」になっていますか？**
  参照「投写する」28, 63 ページ
- **正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？**
  操作可能範囲は、左右約 30°、上下約15° です。
  参照「リモコンで操作できる範囲」11 ページ
- **プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？**
  操作可能距離は、約 10m です。
  参照「リモコンで操作できる範囲」11 ページ
- **リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？**
- **プロジェクターのリモコン受光部がふさがれていませんか？**
- **リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？**
- **乾電池は入っていますか？**
  参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ
- **乾電池が消耗していませんか？**
  参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ
- **乾電池が逆にセットされていませんか？**
  参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ

終了しない(「POWER」ボタンを押した後…)



- **オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。**
  本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。
  コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。
- **ファンが止まらない。**
  Power ボタンを押して電源を切った後、クールダウン* (投写ランプを冷やす動作) をおこないます。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。

ELP Link IVが動作しない

ポイント

確認の結果、それでも異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

- **インストールのとき COM ポートの選択が正しかったですか？**
  COMポートはプリンタやモデムで使っていない番号を選んでください。
- **ケーブル類が正しく接続されていますか？**
- **電源を切ってから接続しましたか？**
- **信号の延長コードが長すぎませんか？**
- **インストールが正しく終了しましたか？**
  正しくないときは再度インストールしてください。
- **プロジェクターの電源は入っていますか？**
- **コンピュータを再起動してみてください。**

マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

メンテナンス

本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除 156
ランプの交換 158
エアーフィルタの交換 161

本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除

本体が汚れたり映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。また、エアーフィルタは100 時間ごとを目安に掃除をしてください。

⚠警告

●サービスマン以外の方はキャビネットを絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、感電の原因となります。内部の点検・修理・調整・清掃などは、お買い上げの販売店または、エプソンサービスセンターに依頼してください。
●電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、つぎの点を守ってください。
・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まないでください。
・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込んでください。
・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしないでください。

⚠注意

●使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。
・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。
・電源を切ってから約60分経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。
●お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。
・感電の原因となることがあります。

本体の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから掃除をしてください。

本体の掃除

・本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの掃除は、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどでおこなってください。レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

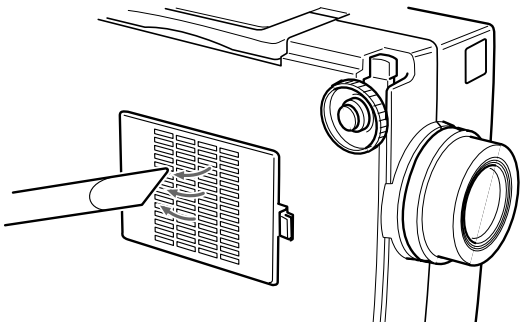
エアーフィルタの掃除

ポイント

- エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- 交換用ランプをお買い上げのとき、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアーフィルタのごみが中に入り込まないように、必ずプロジェクターを立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



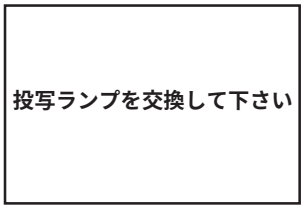
ランプの交換

次のときは、ランプを新しいものに交換してください。
交換用ランプはオプション品となっています。（型番 ELPLP09）

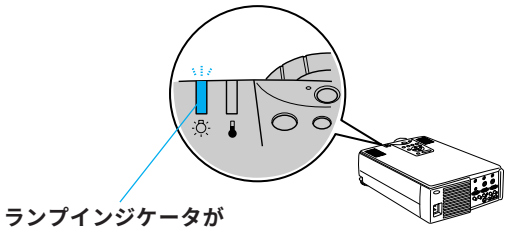
ポイント

- **ランプが点灯しないときは、交換時期にならなくてもランプの交換をしてください。**
- **初期の明るさや画質を維持するため、表示が出たら、なるべく早めにランプの交換をしてください。**
- **交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1500時間に設定されています。**
- **交換表示は約1500時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1500時間前に点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをおすすめします。**
- **交換用ランプは、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル（0120）251-528および、お近くのエプソン商品取扱店でお買い求めください。**

●投写を開始したときに「投写ランプを交換して下さい」の表示が30秒間されたとき



●ランプインジケータがオレンジに点滅したとき



●初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

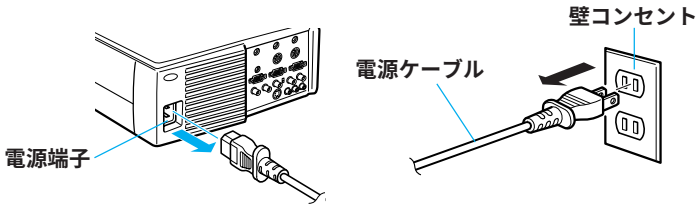
交換のしかた

ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。このプロジェクターは安全のため、ランプカバーを開けると自動的に電源が切れます。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源は入りません。
- ランプ交換時、エアーフィルタも交換用ランプに同梱されているエアーフィルタと交換してください。
- 新しいランプを取り付けると自動的にランプ累積使用時間はリセットされ、0になります。

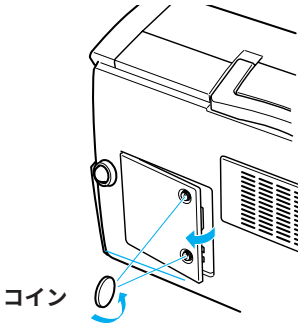
1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。

クールダウンの時間は外気温等によって変わります。



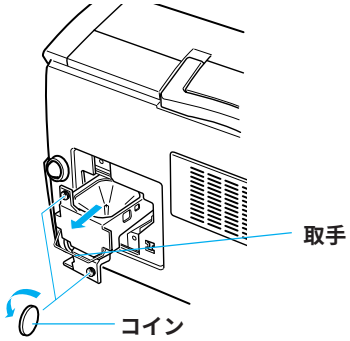
2 本体が十分冷えてからランプカバーをはずします。

- 本体が十分冷えるには約60分間必要です。
- ランプカバー固定ねじ 2 個をコインなどで回してゆるめ、はずします。



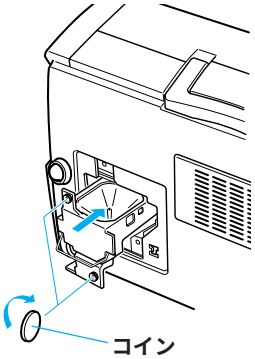
3 ランプを引き出します。

ランプ固定ねじ 2 個をコインなどで回してゆるめ、取手をおこしてランプを引き出します。

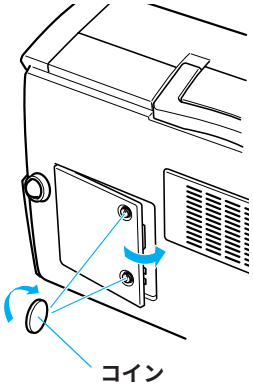


4 新しいランプを取り付けます。

方向を合わせ、奥に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ2個をコインなどで回してしっかりとしめます。



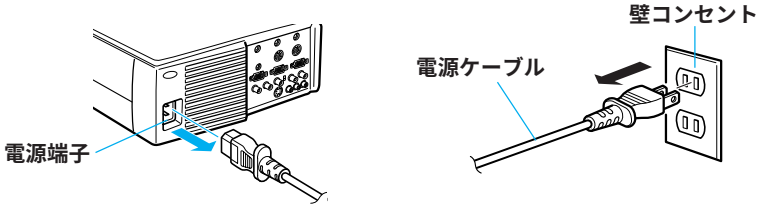
5 **ランプカバーを取り付けます。**
方向を合わせて差し込み、ねじ２個をコインなどでしっかりと回してしめます。



エアーフィルタの交換

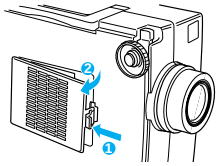
交換のしかた

1 **本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。**
クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。

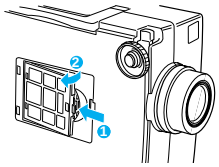


2 **エアーフィルタカバーをはずします。**

ポイント
エアーフィルタのごみが中に入り込まないように、必ず本体のハンドルを上にして立てた状態でおこなってください。

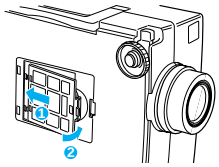


3 **エアーフィルタをはずします。**



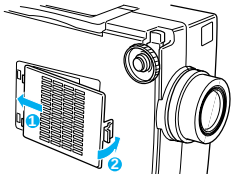
4 **新しいエアーフィルタをセットします。**

ポイント
つめの部分を先に入れてからひっかけ部を押し付けてセットします。



5 **エアーフィルタカバーを元に戻します。**

ポイント
つめの部分を先に入れてからひっかけ部を押し付けてセットします。



マルチメディア・プロジェクター
MULTIMEDIA PROJECTOR
ELP-7350/7250/5350

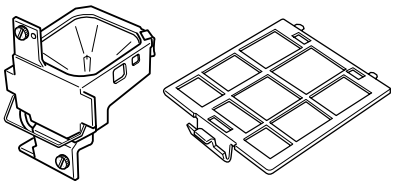
その他

オプション品 164
輸送方法について 166
用語解説 167
索引 169
仕様 173
保証とアフターサービス 174

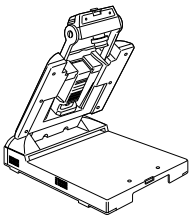
オプション品

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

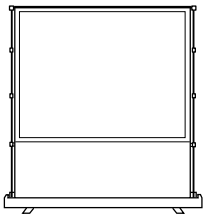
■交換用ランプ（ELPLP09）
交換時期になる前にお買い求めになることをおすすめします。（エアーフィルタが同梱されています。）



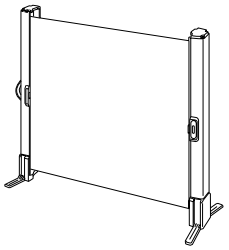
■マルチメディアビューワー（ELPDC01）
紙やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。



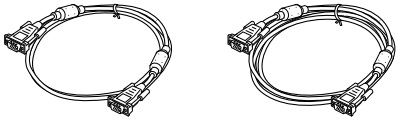
■ 60 インチスクリーン（ELPSC07）
■ 80 インチスクリーン（ELPSC08）



■ポータブルスクリーン（ELPSC06）
50 インチ用



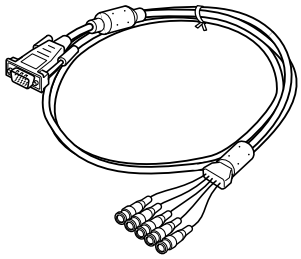
■コンピュータケーブル
本機にコンピュータを 2 台接続するときに使います。（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin）



ELPKC02 （1.8m）
（付属品と同等）

ELPKC09 （3m）

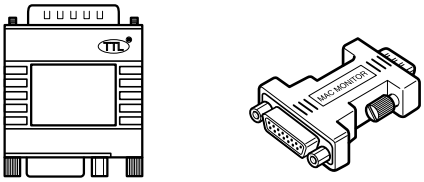
■コンピュータケーブル（1.8m）
（ミニ D-Sub15pin/5BNC 用）（ELPKC11）



■ ELP Link ケーブルセット（ELPKC17）
本機にコンピュータを 2 台接続し、ELP Link IV を 2 台のコンピュータで操作するときに使います。

メインケーブル（付属品と同等）
PS/2 マウスケーブル（付属品と同等）
シリアルマウスケーブル（付属品と同等）
MAC マウスケーブル（付属品と同等）
PC シリアルケーブル（付属品と同等）
MACシリアルケーブル（付属品と同等）
USB マウスケーブル（付属品と同等）

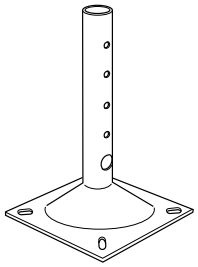
■ MAC アダプタセット（ELPAP01）
本機にMacintoshを2台接続するときに使います。



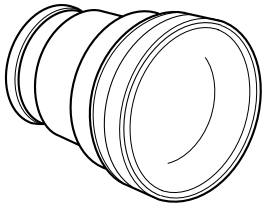
デスクトップアダプタ
（付属品と同等）

モニタアダプタ
（付属品と同等）

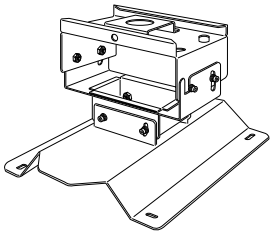
■天井プレート（ELPFC01）



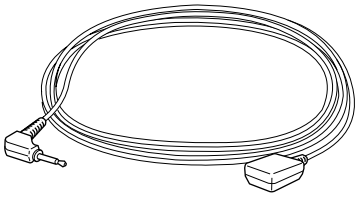
■ワイドコンバージョンレンズ（ELPCW01）



■天吊り金具（ELPMB02）
本機を天井に取り付けるとき使います。

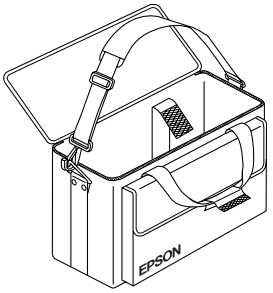


■リモコンレシーバー（ELPST02）

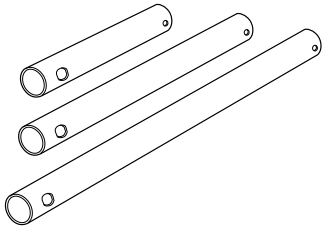


■ハードトラベルケース（ELPKS12）
表面は強靭なプラスチックでできています。

■ソフトキャリングケース（ELPKS10）



■パイプ **370（ELPFP01）**
570（ELPFP02）
770（ELPFP03）



輸送方法について

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、つぎのように取り扱ってください。

●修理などでメーカーに輸送する場合

・お買い上げいただいたときの輸送箱をご利用ください。
・輸送箱がない場合には、本機に衝撃が伝わらないように、本体の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて輸送してください。

●くり返し輸送する場合

・ハードトラベルケース（ELPKS12）に入れ、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、輸送を依頼してください。
・その際、ハードトラベルケースに付属の「取扱い注意シート」をお貼りいただくことをおすすめいたします。

●ハンドキャリングする場合

・オプション品のハードトラベルケース（ELPKS12）またはソフトキャリングケース（ELPKS10）をご利用ください。
・航空機での移動の場合には、手荷物として持ち込んでください。

※ **お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。**

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

A/V Mute

一時的に音声と映像を消すことをいいます。本プロジェクターでは A/V Mute ボタンを押すことにより音声と映像を消すことができます。再度 A/V Mute ボタンを押すか音量を調整すると解除されます。

Remote端子

リモートコントロールにより複数の機器を操作できる、オプションのリモコンレシーバーを接続することができます。

3Dサウンド

3次元音響システムです。広がりと奥行きのある音声を聞くことができます。

SVGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横800画素（Pix）×縦600画素（Pix）のものを呼びます。

SXGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,280画素（Pix）×縦1,024画素（Pix）のものを呼びます。

Sync（同期）

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

VGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横640画素（Pix）×縦480画素（Pix）のものを呼びます。

XGA

IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,024画素（Pix）×縦768画素（Pix）のものを呼びます。

USB

Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。

色温度

光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。

色差信号

ビデオ機器から赤-輝度（R-Y）、輝度（Y）、青-輝度（B-Y）の3つの信号を3本のケーブルで送る形式で、コンポジット信号（赤、緑、青の色信号とその輝度信号を1本のケーブルで送る方式）とくらべて、よりきれいに投写することができます。

オペレーティングシステム　コンピュータを動かすために必要なソフトウェアです。本プロジェクターに付属のELP Link IVは、Windows95（日本語版）・Windows98（日本語版）・WindowsNT4.0（日本語版）・Macintosh漢字Talk7.5.1以降のオペレーティングシステムを使用しているコンピュータで動作します。

クールダウン　Powerボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続きおこなわれています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、外気温等によって変わります。

コントラスト　色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。

盗難防止用ロック　プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定します。kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社電子映像事業部
〒 105-8456 東京都港区虎ノ門 3 丁目 2 番 2 号 第 30 森ビル
Tel: 03-3438-8879　Fax: 03-5473-1630

同期（Sync）　コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング　コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

索引

13w3 25
3D サウンド v,52,54
5BNC 25
60 インチスクリーン 164
80 インチスクリーン 164

アルファベット

A A/V Mute 96,100
A/V Mute ボタン 7,9
Acrobat Reader 128,138,139,140
Audio Out 端子 8
Audio1/2 端子 8
Auto ボタン 10,36
B BNC スイッチ 8
BNC 端子 8
BNC モードの入力モード設定 26,61
C CD-ROM 128
Comp 1 ボタン 10
Comp2/BNC ボタン 10
Computer Out 端子 8
Computer ボタン 7
D DOS/V 機 79,130
DPMS 109,146
E E-Zoom ボタン 9,81
Effect ボタン 9
ELP Link IV 128,129
ELPLink ケーブルセット 164
Enter ボタン 7,9
Esc ボタン 7,9
E ズーム機能 vi
F Freeze ボタン 9
H Help ボタン 7,10
I IBM PC/AT 互換機 79, 130
K Keystone ボタン 7,34
L L-Audio-R 端子 8
M Macintosh 131
Macintosh へのインストール 136
MAC アダプタセット 164
MAC シリアルケーブル 130
MAC デスクトップアダプタ 23,24
MAC マウスケーブル 79
MAC モニタアダプタ 23,24
Menu ボタン 7,10
Mouse/Com 80
Mouse/Com1/2 端子 8
N NEC PC98-NX 130
NTSC v
P P in P 93
P in P ボタン 10
PAL v
PC シリアルケーブル 130
PDF ファイル 128, 138
PDF ユーザーガイド 128,138,139
Power ボタン 7,9
PS/2 マウスケーブル 79
PS/2 マウスポート 79
R R/C ON OFF スイッチ 9,29,57,63
Remote 端子 8
Resize 38,66
Resize ボタン 7,10
RGB 26,30
RGB 調整 45
S S-Video 端子 8
S-Video ボタン 10
SECAM v
Shift ボタン 7
SVGA 38,40
Sync ボタン 7
S 映像信号 60
T Tracking ボタン 7
U USB 79

USB マウスケーブル 79
UXGA v
Ⓥ VGA v,38,40
Video 端子 8
Video ボタン 7,10
Volume ボタン 7,10
Ⓦ Windows NT4.0 131
Windows98/95 131
Windows へのインストール 132
Ⓧ XGA 38,39,41
Ⓨ YCrCb 26,40

アイウエオ

Ⓐ 明るさ 44,68
アンインストール 141
Ⓘ 色合い 69
色温度 51,74
色の濃さ 69
インストール 131
Ⓤ ウィンドウ表示 38,40
ウォームアップ中 144
Ⓔ エアーフィルターカバー 6
エアーフィルタの交換 161
エアーフィルタの掃除 156
映像が写らない 146
映像ソース 94
映像の調整メニュー 120
映像の調整 32
映像のトラブル 103
映像を最適化する 36
エフェクト機能 82
エフェクトメニュー 86,121
Ⓞ オプション品 164
オペレーションインジケータ 6,28,56,63,144
音声の調整 51,74
音声の調整メニュー 121
音声のトラブル 104
温度インジケータ 6,144,145
音量 52,53
Ⓚ カーソル / スタンプ 82,87
外部オーディオ 27,62
画像の調整 36,42,66,67
カラー設定 50,73
Ⓚ キーストーン 35
キーストーン補正 34,35
キーストーン補正機能 v
クールダウン 159,161
Ⓚ クリア（装飾のクリア） 85
Ⓚ 言語 112
Ⓚ 高音 53
交換用ランプ 164
高度な設定メニュー 111,122
子画面 93
子画面の表示サイズ 94
コントラスト 45,69
コンピュータケーブル 164
コンピュータとの接続 23
コンピータの対応モード表 21
コンポーネント（色差）信号 60
コンポジット映像信号 60
Ⓢ 四角 82,88
シャープネス 46,70
情報メニュー 123
終了する 56
省電力状態 109
情報メニュー 115
初期化 49,71,92,110,114
初期設定値一覧 118
Ⓢ ズームリング 6,33

スクリーンサイズと投写距離 17
スタートアップスクリーン 102
スタンバイ中 144
セ 制御機能 129
接続できるコンピュータ 20
設定メニュー 106, 121
全初期化 117
全初期化メニュー 122
ソ 操作パネル 6
装飾機能 129
ソフトキャリングケース 165,166
タ 縦の縞模様 36,43
単3形アルカリマンガン乾電池（LR6）.... 12
テ 低音 53
ディスプレイ 131
電源端子 6
天井プレート 165
電池カバー 10,12
電池の入れかた 12
天吊り 113
天吊り金具 164
ト 同期 36,44
投写位置の調整 32
投写映像の信号形式 115
盗難防止用ロック 6,168
トラッキング 36,43
ニ 入出力端子 6
入力解像度 46
ノ ノートタイプや液晶一体型タイプの設定 30
ノートパソコン 20
ハ ハードディスク空き容量 131
ハードトラベルケース 165,166
ハンドキャリング 166
ハンドル 6
ヒ ピクチャー・イン・ピクチャー機能 .. vi,93
ビデオ信号方式 72
ビデオポート 23
表示位置 43,68
表示位置の調整 43,68
フ ファン 6
フォーカスリング 6,33
フットレバー 6,32
フリーズ機能 95
フリーライン 85,90
プリセット 37,48
プレゼンター 78
プロジェクターからの距離 17
フロントフット 6,32
ヘ ヘルプ機能 103
ホ ポインタ移動速度 91
ポータブルスクリーン 164
本体の掃除 156
マ マーカー 84,89
マウス 78
マウスケーブル 79
マルチメディアビューワー 164
メ メインケーブル 130
メニューの基本操作 124
メニューの言語を設定 112
メニューの構成 120
メモリ空き容量 131
モ モニタポート 23
ユーザーロゴ 96
ユ ユーザーロゴ設定機能 vi
ユーザーロゴメニュー 97,122
輸送方法 166
ラ ランプインジケータ 6,144,145
ランプカバー 6
ランプの交換 158
リ リア 113
リアフット 6
リサイジング表示 38,40
リモコン受光部 6,11
リモコンの発光部 9,11

リモコンレシーバー 165
ル 累積使用時間 115
レ レンズカバー 6,28,58
レンズの掃除 156
ワ ワークステーション v,25
ワークステーションとの接続 25
ワイドコンバージョンレンズ 165
ワイヤレスマウス 78
ワイヤレスリモコン v

仕様

品名	マルチメディアプロジェクター	
型名	ELP-7350/ELP-7250/ELP-5350	
外形寸法	300［W］x129［H］x400［D］ mm（レンズ・フット含む）	
パネルサイズ	1.3 型（幅 27mmx 高さ 20mmx 対角 34mm）	
表示方式	ポリシリコン TFT	
駆動方式	〈ELP-7350/ELP7250〉フルライン 12 相ブロック順次書き込み方式 〈ELP-5350〉フルライン 6 相ブロック順次書き込み方式	
画素数	〈ELP-7350/7250〉2,359,296 個（［横］1,024 x［縦］768 ドット x3） 〈ELP-5350〉 1,440,000 個（［横］800 x［縦］600 ドット x3）	
フォーカス調整	手動式	
ズーム調整	手動式 1：約 1.3	
（光源）ランプ	リモコンによる E ズーム 1：約 4 UHE ランプ　型番 ELPLP09　定格 150W	
音声最大出力	3 W x2　ステレオ	
スピーカ	2 個	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	約 250W	
使用温度範囲	＋ 5℃　～＋ 40℃（結露のないこと）	
保存温度範囲	－ 10℃ ～＋ 60℃（　〃　）	
質量	約 6.2kg	
接続端子	Computer 端子	2 系統　ミニ D-Sub 15pin （メス）
	Computer Out 端子	1 系統　ミニ D-Sub 15pin（メス）
	Audio 端子（Computer 用）	2 系統　ステレオミニジャック
	Mouse/Com 端子	2 系統　DIN ジャック 13pin
	Video 端子	1 系統　RCA ピンジャック
	S-Video 端子	1 系統　ミニ DIN 4pin
	Audio 端子（Video 用）	2 系統　RCA ピンジャック x2（L、R）
	Remote 端子	1 系統　ステレオミニジャック
	BNC 接続端子	1 系統　5BNC（メス）
	Audio Out 端子	1 系統　ステレオミニジャック

・仕様は予告なしに変更するときがあります。

保証とアフターサービス

●保証書（別に添付してあります）

この製品は保証書の内容によって保証されますので、よくお読みになり、記入事項をご確認のうえ大切に保管してください。

●保証期間

プロジェクター本体ご購入日から1年間です。この期間に本製品に保証範囲内での故障があった場合、無償で修理いたします。

●修理を依頼されるとき

1.修理を依頼される前に

この取扱説明書の「困ったときに」の表に従って調べていただき、それでも直らないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
修理を販売店に依頼するときは、下記のことをお知らせください。

商品名　　：マルチメディア・プロジェクター
故障状況　：
型番　　：ELP-7350/7250/5350(お買い上げ型番をご連絡ください。)
購入年月日：
ご氏名　　：
お電話番号：

※危険ですから、ご自分では絶対に修理しないでください。

2.修理内容

本製品は持ち込み修理となっております。本製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ちいただくか送付していただき、いったんお預かりして修理いたします。なお、技術者の派遣はございませんのでご了承ください。
※保証期間中のとき、必ず保証書を添付してください。
※輸送方法に関しては、166 ページ「輸送方法について」をご覧ください。

●修理依頼先･アフターサービスお問い合わせ先

お買い上げの販売店
エプソンサービスセンター（裏表紙の一覧表をご覧ください）

●部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（性能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

商標について

NEC, PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM, DOS/V, PS/2 は、International Business Machines Corporation の商標または 登録商標です。
Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows は米国マイクロソフト社の商標です。
Adobe, Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

セイコーエプソン株式会社　1999

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約申込先
修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)までご連絡下さい。

拠点名	電話番号	住　所	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1丁目 札幌フコク生命ビル10階	北海道全域
仙台FC	(022)214-7625	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル4階	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
松本FC	(0263)54-7302	〒399-0785 塩尻市広丘原新田80 セイコーエプソン㈱ 広丘事業所内エプソンシステムプラザ3階	長野・山梨・新潟
東京FC (出張修理・保守契約)	(042)354-0750	〒183-0055 東京都府中市府中町1-14-1 朝日生命府中ビル8階	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城
名古屋FC	(052)202-9510	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16-15 名古屋フコク生命ビル4階	愛知・岐阜・三重
静岡FC	(054)251-1360	〒420-0851 静岡市黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル8階	静岡
金沢FC	(076)224-7084	〒920-0031 金沢市広岡1-1-35 金沢第ニビル8階	石川・富山・福井
大阪FC	(06)6397-0930	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル6階	大阪・奈良・和歌山
神戸FC	(078)332-9905	〒650-0034 神戸市中央区京町69 三宮第一生命ビル2階	兵庫
京都FC	(075)255-6891	〒604-8187 京都市中京区御池東洞院西入る笹屋町435 京都御池第一生命ビル4階	京都・滋賀
広島FC	(082)222-3482	〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビル11階	山口・広島
岡山FC	(086)223-3331	〒700-0904 岡山市柳町1-12-1 三井海上岡山ビル2階	鳥取・島根・岡山・広島(福山市)
四国FC	(087)851-6728	〒760-0023 高松市寿町2-3-11 高松丸田ビル6階	香川・愛媛・高知・徳島
福岡FC	(092)622-8626	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3階	福岡・佐賀・長崎・大分
北九州FC	(093)541-3155	〒802-0003 北九州市小倉北区米町1-1-21 大銀明生小倉ビル8階	福岡北部
熊本FC	(096)326-4519	〒860-0806 熊本市花畑町12-24 フコク生命熊本ビル3階	熊本
鹿児島FC	(099)254-5913	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1 西鹿児島第一生命ビル3階	鹿児島・宮崎
沖縄FC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル4階	沖縄

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　在　地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10Fエプソンサービス㈱	同　右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同　右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル2F エプソンサービス㈱	同　右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570－00－4110(ナビダイヤル)※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定日を除く)
※プロジェクターインフォメーションセンターへは携帯電話・PHSからはご利用頂けません。携帯電話・PHSのお客様は、(0263)54-5800にお問い合わせください。
※ナビダイヤルとは、全国どこからでも同一の電話番号でかけることができるNTTの電話サービスの名称です。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221－7911　東京(042)585－8500　名古屋(052)202－9532　大阪(06)6397－4359　福岡(092)452－3305

●エプソンデジタルカレッジ(スクール)に関するお問い合わせ・お申し込み
東京　TEL(03)5295-4169　FAX(03)5295-4168【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)
大阪　TEL(06)6634-8570　FAX(06)6634-2570【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30(弊社指定休日を除く)
※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム ※詳細はホームページでもご確認できます。
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア秋葉原　〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】 毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア大阪日本橋　〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
【開館時間】 毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120－251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2000.6.1

Printed in Japan
75417687